

大臨技会報

The Osaka Association of Medical Technologists

2013
OCT

目 次

報 告

平成 24 年度	事業報告	1
	事務局 総務部 (庶務・広報)	
	会計部	
	渉外部	
	事業局 情報組織部	
	地区事業部	
	各支部役員・区長・副区長名簿 (平成 23 年度)	
	学術部	

平成 24 年度	学術部会報告	20
----------	------------------	----

予算総会

平成 24 年度	第 2 回定期総会 (次第・議事録)	35
----------	------------------------------	----

決算総会

平成 25 年度	第 1 回定期総会 (次第・議事録)	40
平成 24 年度	財務諸表	47

理事会報告

理事会議事録 (平成 24 年度 第 1 回～12 回)	51
--	----

賛助会員名簿	109
------------------	-----

編集後記	110
----------------	-----

平成 24 年度事業報告

事務局

総務部

庶務

1. 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会関係

1. 平成 24 年度 定時総会

日 時：平成 24 年 5 月 26 日(土) 午前 10 時～午後 1 時

会 場：大森東急イン 5 階フォレストルーム（東京都）

2. 第 61 回日本医学検査学会

会 期：平成 24 年 6 月 9 日(土)・10 日(日)

会 場：三重県総合文化センター、メッセウイング・みえ（三重県）

学会長：小林圭二

担 当：一般社団法人 三重県臨床検査技師会

参加者：4,044 名

3. 関西支部医学検査学会(第 52 回)

会 期：平成 24 年 9 月 29 日（土）・30 日（日）

会 場：南紀白浜コガノイベイホテル（和歌山県白浜町）

担 当：一般社団法人 和歌山県臨床検査技師会

学会長：玉置 達紀

参加者：975 名

4. 全国幹事連絡会議

期 日：平成 25 年 1 月 26 日（土）

会 場：日臨技会館会議室

5. 平成 24 年度 役員委員等（大阪府関係）

【理事】	運天 政五郎	（橘会東住吉森本病院）
【渉外委員会・医療安全対策委員会委員】	運天 政五郎	（橘会東住吉森本病院）
【関西支部（現近畿支部）監事】	清水 隆之	（市立豊中病院）
【関西支部（現近畿支部）学術協力委員】	高田 厚照	（関西医科大学香里病院）
【精度管理調査委員会 血液 WG 委員】	久保田 浩	（大阪市立大学医学部附属病院）
【認定一般検査技師試験 WG 委員】	堀田 真希	（大阪大学医学部附属病院）

II. 社団法人 大阪府臨床検査技師会関係

1. 会員数 (平成 25 年 3 月 28 日現在)

正 会 員	3,071 名
重複会員	13 名
名誉会員	12 名
賛助会員	69 社

2. 平成 23 年度役員

【役 職】 【役 割】

会 長	運 天 政五郎	(橘会東住吉森本病院)
副 会 長 (事業局長)	竹 浦 久 司	(きつこう会多根総合病院)
副 会 長 (事務局長)	吉 本 勝 美	(仁真会白鷺病院)
常務理事 (学術部長)	高 田 厚 照	(関西医科大学香里病院)
常務理事 (会計部長)	荒 木 年 夫	(株式会社大阪血清微生物研究所)
常務理事 (地区事業部長)	田 畑 泰 弘	(育和会記念病院)
理 事 (渉外部長)	清 水 隆 之	(市立豊中病院)
理 事 (情報組織部長)	井戸田 篤	(大阪府立成人病センター)
理 事 (総務部長)	栗 本 幸 司	(竹村医学研究会 小阪産病院)
理 事 (地区事業部)	出 野 憲 由	(大阪労災病院)
理 事 (総務部)	山 田 真規子	(サイトサポート・インスティテュート株式会社)
理 事 (学術部)	宮 野 章	(大阪府立母子保健総合医療センター)
理 事 (情報組織部)	酒 井 正 容	(生長会府中病院)
理 事 (学術部)	山 西 八 郎	(天理医療大学)
理 事 (渉外部・情報組織部)	杉 山 昌 晃	(市立岸和田市民病院)
理 事 (渉外部)	増 田 詩 織	(近畿大学医学部附属病院)
理 事 (渉外部・会計部)	久保田 芽 里	(大阪府立泉州救命救急センター)
理 事 (地区事業部)	後 藤 真理子	(大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター)
監 事	栗 本 誠 一	(日本医学株式会社)
監 事	山 中 俊 郎	(浅田会計事務所)

3. 顧問

森 嶋 祥 之	(近畿大学医学部附属病院)
今 井 宣 子	(自宅)

4. 各種委員会委員

1) 選挙管理委員会委員

辻 義 則 (結核予防会大阪府支部大阪病院)
黒 川 和 男 (大阪警察病院附属臨床検査センター)
西 時 男 (市立枚方市民病院)
矢羽田 一 信 (大阪府医師会保健医療センター)
北 中 直 行 (ほくとクリニック病院)

2) 役員推薦委員会委員

小 林 紀 崇 (自宅)
東 野 健 一 (自宅)
朝 山 均 (株式会社日本医学臨床検査研究所)
村 上 澄 子 (大阪医科大学附属病院)
小 林 喜志郎 (自宅)

3) 審査委員会委員

山 内 孝 臣 (結核予防会大阪府支部大阪病院)
各 部 部 長
監 事

5. 名誉会員

前 田 宏 明 (自宅) (元 大臨技会長)
松 永 清 輝 (自宅) (元 大臨技会長)
小 寺 健 一 (自宅) (元 大臨技副会長)
西 嶋 正 純 (自宅) (元 大臨技副会長)
阿波島 清 (自宅) (元 大臨技副会長)
伊 藤 学 (自宅) (元 大臨技副会長)
川 原 浩 二 (自宅) (元 大臨技会長)
城 尾 定 廣 (自宅) (元 大臨技副会長)
柳 瀬 彦 三 (自宅) (元 大臨技会長)
小 林 紀 崇 (自宅) (元 大臨技会長)
朝 山 均 (株式会社日本医学臨床検査研究所) (元 大臨技会長)
今 井 宣 子 (自宅) (元 大臨技会長)

6. 事務員

岩 崎 和 子

出 口 由紀子

7. 定期総会

1) 平成 24 年度 第 1 回定期総会(平成 23 年度決算総会)

日 時 平成 24 年 5 月 24 日(木) 午後 7 時～8 時 30 分

会 場 社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所

2) 平成 24 年度 第 2 回定期総会(平成 25 年度予算総会)

日 時 平成 25 年 3 月 28 日(木) 午後 7 時～8 時 30 分

会 場 社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所

8. 会議

1) 理事会

大臨技事務所において、12 回開催した。

2) 常務理事会

大臨技事務所において、12 回開催した。

3) 総務・会計部会

大臨技事務所において、12 回開催した。

9. 事業

1) 地域医療関係

【衛生検査所精度管理専門委員】

大阪府 石田 繁則 (大阪市立大学医学部附属病院)

井戸田 篤 (大阪府立成人病センター)

田畑 宏道 (田附興風会北野病院)

村瀬 幸生 (パナソニック健康保険組合松下記念病院)

山本 章史 (大阪府立成人病センター)

吉村 英雄 (大阪大学医学部附属病院)

大阪市 宇津野美弥子 (景岳会南大阪病院)

久保田 芽里 (大阪府立泉州救命救急センター)

佐藤 かおり (近畿大学医学部附属病院)

宮野 章 (大阪府立母子保健総合医療センター)

山西 八郎 (天理医療大学)

吉本 勝美 (仁真会白鷺病院)

堺市 酒井 正容 (生長会府中病院)
田畑 泰弘 (育和会記念病院)
東大阪市 上田 一仁 (市立芦屋病院)
大倉 ひろ枝 (関西医科大学附属枚方病院)
田畑 宏道 (田附興風会医学研究所北野病院)
豊中市 清水 隆之 (市立豊中病院)
高田 厚照 (関西医科大学香里病院)
竹浦 久司 (きつこう会多根総合病院)

- 2) 平成 23 年度事業報告書の作成および大阪府への報告
- 3) 公益社団法人化への準備
- 4) 臨床検査教育機関との連携
- 5) 大臨技会員管理システムの管理
- 6) 大臨技会員証の発行
- 7) 平成 25 年度からの大臨技会費納入方法変更に伴う対策および広報
- 8) 大臨技臨床検査技師賠償責任保険の管理

広報

I. 事業

1. 会報の発行

「大臨技会報 通巻 第 198 号 平成 24 年 9 月 1 日 (WEB 版)」を発行。

2. 大臨技ニュース (年間・月間行事予定表含む) の発行

「大臨技ニュース 通巻 第 279 号～第 290 号」(12 回) を毎月 1 日に発行。

3. 大臨技ホームページの管理

- 1) 大臨技ホームページを随時更新した。
- 2) 公益社団法人向けにリニューアルした (平成 24 年 7 月 3 日)。
- 3) 求人掲示板への掲載依頼に対応した。

II. 大臨技ニュース掲載広告企業名 (アイウエオ順)

アルフレッサ株式会社

和光純薬工業株式会社

会計部

1. 月次収支計算書の作成
2. 第 27 期（平成 23 年度）確定決算報告書の作成
3. 平成 25 年度予算案の作成
4. 会議 総務・会計部会を大臨技事務所において、12 回開催した。

渉外部

Ⅰ 事業

1. 献血推進活動

① 第 38 回献血活動推進活動

日 時: 平成24年8月25（土）10:00～16:30

会 場: 難波グリーンガーデン、まいどなんば献血ルーム

参加人数：献血受付 182名 献血者 143名

② 第 39 回献血推進活動

日 時: 平成25年3月9日（土）10:00～16:30

会 場: 難波グリーンガーデン、まいどなんば献血ルーム

参加人数：献血受付 190名 献血者 165名

2. 他団体との連携交流

① 大阪府「看護の日」記念行事

日 時: 平成24年5月12日（土）13:00～16:00

世話人数：22名

血糖値測定169件、頸部エコー104件、尿定性検査54件

② 第8回 府民健康フォーラム

日 時: 平成24年10月28日（日）13:00～16:00

会 場: 大阪YMCA国際文化センター

テーマ：「肝臓を大切にしていますか？」

参加人数：246名（大臨技 26名 薬剤師会 146名 栄養士会 62名 府民 30名）

③ 平成24年度大臨技・大放技合同フォーラム

日 時: 平成25年1月19日（土）14:00～17:00

会 場: 大阪府医師共同組合会館

テーマ：胸痛！！まさか わたしの心臓が・・・？

参加人数：151名（大臨技81名、大放技44名、府民26名）

④ 子宮ガン検診啓発活動

日 時: 平成24年4月14日（土）14:00～17:00

会 場: 高島屋大阪店周辺路上、まいどなんば献血ルーム

参加人数：大臨技6名、細胞検査士会11名

3. 手話講演会

日 時: 平成25年2月2日（土）15:00～16:45

会 場: 近畿医療技術専門学校

テーマ:「医療におけるバリアフリーコミュニケーション」

参加人数：47名

4. 日臨技公益委託事業

① がん検診啓発推進活動（がん予防啓発に関する事業）

平成24年度がん検診フォーラム

子宮頸がん検診-つなごう命のリレー

日 時: 平成24年10月13日（土）14:00～17:00

会 場: 大阪府医師協同組合会館

参加人数：30名（府民6名）

② HIV予防啓発講演会（エイズ、STI 予防に関する事業）

日 時: 平成25年1月26日（土）17:30～19:30

会 場: 近畿医療技術専門学校

参加人数：42名

II 会議

大臨技事務所において12回開催した。

事業局

情報組織部

I 事業

1. 事業名：新入会員研修会

日 時: 平成24年8月4日（土）14:30～17:00

会 場: 大阪府臨床検査技師会事務所

テーマ:『認定士取得の必要性和感染予防の重要性』

- 内 容：(1)「臨床検査技師会紹介」
(2)「認定資格のあれ・これ」
(3)「知っておきたい感染対策の一般常識」
(4) ディスカッション&クイズ大会

参加人数： 39名

2. 事業名：多職種合同ICT研修会

日 時: 平成24年9月15日（土） 14：30～17：00

会 場: 大阪府医師会協同組合本館 8階大ホール

テーマ：「チーム医療における口腔ケアの重要性」

- 内 容：(1)「口腔ケアにおける看護師の役割 ～がん患者の嚥下障害における口腔ケア」
(2)「口腔内細菌」
(3)「歯周病について」
(4)「口腔ケアについて」
(5)「総合討論」

参加人数： 49名

3. 事業名：第29回技師長会

日 時: 平成25年2月23日（土） 14：00～17：00

会 場: 関西医科大学附属 滝井病院 南館 2階臨床講堂

テーマ：「卒前・卒後教育」

- 内 容：(1)「卒前教育の現状」
(2)「卒後教育（－基本的な考えからリーダー育成まで－）」
(3)「企業における新人教育」

参加人数：39名

4. 情報組織部会議

定例部会12回を大臨技事務所にて開催

II チーム医療部門 糖尿病療養指導部会

1. 事業名：第21回糖尿病療養指導士講演会

日 時: 平成24年7月16日（月祝） 13：20～17：00

会 場: 大阪大学中之島センター 10階ホール

テーマ：糖尿病患者さんのところに寄り添うために

内 容：講演 1 部

(1)「患者さんの人生に寄り添う臨床検査技師のお仕事

—心を持った支援者のプロとして責任を負い続けること—

(2)「雑談からヒントをもらう服薬指導—街の薬局から—

情報提供「胆汁排泄型選択的 DPP-4 阻害剤トラゼンタ錠 5mg」

講演 2 部

「臨床心理からみた糖尿病患者のこころのテーマ」

参加人数：90 名

2. 事業名：第 22 回糖尿病療養指導士講演会

日 時：平成 25 年 2 月 10 日（日）13：20～17：00

会 場：大阪大学中之島センター 10 階ホール

テーマ：これからの糖尿病療養指導に望むこと望まれること

内 容：講演 1 部

(1)「当院における糖尿病ケアチームの活動」

(2)「チームで取り組む糖尿病療養指導—患者さんをエンパワーメントするために—

情報提供 「持効型インスリン製剤 ランタス注ソロスター」

講演 2 部 「検査の情報を如何に糖尿病診療・療養に活かすか！！」

参加人数：111 名

3. 事業名：第 29 回定例勉強会

日 時：平成 24 年 4 月 11 日（水）18：30～20：00

会 場：大阪鉄道病院 3 階講堂

内 容：糖尿病療養指導士受験対策 —自験例の書き方を学ぼう—

参加人数：27 名

4. 事業名：第 30 回定例勉強会

日 時：平成 24 年 6 月 13 日（水）18：30～20：00

会 場：大阪鉄道病院 3 階講堂

内 容：糖尿病教室の紹介 シリーズその 3 「尿中アルブミンは何を語っているの？」

参加人数：60 名

5. 事業名：第 31 回定例勉強会

日 時：平成 24 年 9 月 12 日（水）18：30～20：00

会 場：大阪鉄道病院 3 階講堂

内 容：「糖尿病専門クリニックでの臨床検査技師の役割」

「糖尿病ワーキンググループで取り組んできたこと」

参加人数：37名

6. 事業名：第32回定例勉強会

日時：平成24年12月12日（水）18：30～20：00

会場：大阪鉄道病院 3階講堂

内容：「大阪労災病院での糖尿病教室の取り組み」

「症例を通して学ぶ糖尿病知識のあれこれ」

参加人数：27名

III チーム医療部門 ICT部会

1. 事業名：ICT講習会

日時：平成24年9月14日（金）18:30～20:00

会場：阪急ターミナルスクエア

内容：(1) 情報提供「VIDASを用いたウイルス感染症の検査について」

(2) 定期講義「院内感染対策に重要な耐性菌について」

(3) 特別講演「感染防止対策地域連携における臨床検査技師の役割」

参加人数：63名

2. 事業名：第2回ICT講習会

日時：平成25年2月28日（木）18:30～20:00

会場：阪急ターミナルスクエア

内容：(1) 情報提供『感染症迅速診断について』

(2) 講演『IGRAを用いた結核の診断と院内感染対策への活用について』

参加人数：44名

IV チーム医療部門 NST・褥瘡部会

1. 事業名：NST・褥瘡部会講演会

日時：平成24年10月20日（土）14：30～17：00

会場：多根総合病院 4階講堂

内容：(1) 「NSTにおける臨床検査技師のかかわりかた～当院におけるかかわりかた～」

(2) 「経腸栄養で悩みの多い下痢について」

(3) 「栄養サポートチーム認定試験対策」

参加人数：21名

V チーム医療部門 生殖医療部会

1. 事業名：生殖医療技術部門講演会（大臨技・奈良臨技合同開催講演会）

日 時: 平成 25 年 2 月 20 日（水）18：45～20：00

会 場: 大阪鉄道病院 3 階会議室

内 容: 「婦人科がんについて学ぼう！！-診断から治療まで-」

参加人数：47 名

VI チーム医療部門 内視鏡検査部会

1. 事業名：第 8 回内視鏡検査部会

日 時: 平成 24 年 10 月 29 日（月）18：30～20：30

会 場: 大阪産業創造館 5 階研修室 E

内 容：(1) はじめに「HIV 同意書の顛末」

(2) なんでも相談&質問

(3) 「胃潰瘍とピロリ菌」

参加人数：25 名

2. 事業名：第 9 回内視鏡検査部会

日 時: 平成 24 年 11 月 30 日（月）18：30～20：30

会 場: 大阪産業創造館 6 階会議室 E

参加人数：11 名

3. 事業名：第 10 回内視鏡検査部会

日 時: 平成 25 年 2 月 25 日（金）18：30～20：30

会 場: 大阪産業創造館 5 階研修室 E

内 容：(1) 新しい経口腸管洗浄剤「モビプレップ配合内用剤」

(2) 病理検査の ABC（内視鏡編）

参加人数：22 名

4. 事業名：第 11 回内視鏡検査部会

日 時: 平成 25 年 3 月 9 日（土）13：00～16：00

会 場: 大阪労災病院 管理棟 2 階大会議室 他

内 容：(1) 「病棟での急変事例に対応する」

(2) 「内視鏡体験実習」

参加人数：12 名

地区事業部

I 事業

マタニティーカーニバル 2012 体験コーナー

日 時: 平成 24 年 7 月 7 日 (土)、8 日 (日) 10:00~17:00

会 場: 大阪南港 A T C ホール

来場者数: 21,708 名

体験コーナー件数 総計 3,155 名

4Dエコー 803 名、骨密度測定 852 名、パパのマタニティ体験 516 名

脳年齢 535 名、内臓脂肪測定 449 名

ボランティア数

7 日 (土) 45 名 (正会員 30 名、正会員以外 15 名)

8 日 (日) 47 名 (正会員 30 名、正会員以外 17 名)

▶ 北支部関係

1) 第 30 回北支部自由集会

日 時: 平成 23 年 7 月 9 日 (土) 15:00~18:00

テーマ: 「臨床検査技師が知っていて損はない画像診断の読み方」～白・黒はつきりさせます～

① X 線検査の基礎 ② CT 検査の基礎 ③ MRI 検査の基礎

会 場: 大阪医科大学 PA 会館 (新講義実習棟) 1 階 P-101 講堂

参加人数: 222 名 (正会員 195 名、正会員以外 27 名)

2) 第 2 回北支部地域オープンセミナー

日 時: 平成 25 年 1 月 26 日 (土) 15:00~18:00

テーマ: 『ICT (Infection Control Team) 活動の現状と課題』

医師、薬剤師、看護師、検査技師の立場から、それぞれの取り組みを発表、討論

会 場: 大阪医科大学 臨床第 II 講堂

参加人数: 48 名 (正会員 42 名、正会員以外 6 名)

▶ 中央支部関係

1) 第 30 中央支部自由集会

日 時: 平成 24 年 7 月 27 日 (金) 18:30~20:00

テーマ 1: 「HbA1C の国際標準値 (NGSP 値) 移行後の現状報告」

テーマ 2: 「各メーカーにおける HbA1C の汎用試薬での各自動分析装置の評価」

会 場: 大阪医療技術学園専門学校

参加人数：84名（正会員39名、正会員以外45名）

2) 第2回中央支部地域オープンセミナー

日 時: 平成25年3月9日（土） 14:00～17:00

テーマ:「検査技師と看護師から見たICTと感染防止対策」

<院内感染対策における感染対策チーム（ICT）の役割と感染防止対策加算>

1. ICT（感染対策（制御）チーム）と感染防止対策加算の現況報告
2. 臨床検査技師から見た院内感染のICT活動と感染防止対策加算における現状報告
3. 看護師から見た院内感染のICT活動と感染防止対策加算における現状報告

会 場: 大阪府病院年金会館 コンベンションルーム（地階）

参加人数：77名（正会員54名、正会員以外23名）

▶ 南支部関係

1) 第30回南支部自由集会

日 時: 平成24年9月1日（土） 15:00～18:00

テーマ:「匠のエコー技師から学ぼう」

1. 心エコー
2. 腎動脈エコー
3. 体表エコー
4. 造影エコー

会 場: 市立岸和田市民病院 3階 講堂

参加人数：146名（正会員124名、正会員以外22名）

2) 第2回南支部地域オープンセミナー

日 時: 平成25年2月16日（土） 14:30～17:00

テーマ:「～ 日常臨床に役立つ睡眠学 ～」

会 場: 市立岸和田市民病院 3階 講堂

参加人数：39名（正会員26名、正会員以外13名）

その他

1. 施設連絡者会

日 時: 平成25年3月16日（土） 14:30～17:00

テーマ:「どこまでするの 時間外緊急検体検査！！」

『当直・夜間帯における検査対応について』

- ① 直体制編

- ②2 交代制編
- ③常勤技師を含めたランチ対応編
- ④アンケート集計報告
- ⑤パネルディスカッション

会 場: 大阪産業創造館 6階 会議室

参加人数: 57名 (正会員 50名、正会員以外 7名)

2. 会員交流会

日 時: 平成 24 年 10 月 6 日 (土) 13:00~16:00

内 容: 大阪湾クルージング、海鮮バーベキュー、
30kg マグロの解体ショー

会 場: 堺とれとれ市

参加人数: 35名 (正会員 24名、正会員以外 11名)

3. 健康展

吹田市

日 時: 平成 24 年 9 月 8 日 (土) 13:00~17:00
9月9日 (日) 9:00~16:30

会 場: 吹田市文化会館 (メイシアター)

来場者数: 3,072名

体験コーナー件数 総計 1,792名

ボランティア数: 37名

コンテンツ: 血管年齢、頸動脈エコー、骨密度

豊中市

日 時: 平成24年9月30日 (日) 10:00~16:00

会 場: 中央公民館・アクア文化ホール

摂津市

日 時: 平成24年11月11日 (日) 9:00~15:30

会 場: 摂津市立保健センター

コンテンツ: 骨密度160名 血管年齢160名

ボランティア: 12名 (正会員 11名 正会員以外 1名)

II 地区事業部（会議）

1. 部会会議12回
2. 支部長会3回

北支部役員・区長・副区長名簿（平成25年3月現在）

役職	氏名	施設名
支部長	竹下 仁	大阪府三島救命救急センター
副支部長	前田 富士子	ガラシア病院
	東山 智宣	大阪医科大学附属病院
会計	岩津 浩子	MI クリニック
	濱田 宏輝	大阪府三島救命救急センター
庶務	厚東 良輔	市立吹田市民病院
	谷口 真樹子	大阪医科大学附属病院
委員	田野 孝則	大阪府済生会茨木病院
	藤原 拓樹	関西医大香里病院 三菱化学メディエンスラボ
	大塚 千代美	市立豊中病院
	船越 あゆみ	阪大微生物病研究会
	竹山 佳織	大阪府済生会吹田病院
	村上 誠司	上山病院
	木村 圭吾	大阪大学医学部附属病院
	角間 彩美	高槻赤十字病院
	藤原 明寛	国立循環器病研究センター病院
相談役	鈴木 侑子	大阪大学歯学部附属病院
	村上 澄子	大阪医科大学附属病院
担当理事	佐野 道孝	国立循環器病研究センター病院
	出野 憲由	大阪労災病院

地区名	区長および副区長		施設名
第1地区	区長	竹下 仁	大阪府三島救命救急センター
	副区長	田野 孝則	大阪府済生会茨木病院
第2地区	区長	船越 あゆみ	阪大微生物病研究会
	副区長	厚東 良輔	市立吹田市民病院
第3地区	区長	前田 富士子	白鷺病院
	副区長	岩津 浩子	MI クリニック

中央支部役員・区長・副区長名簿（平成25年3月現在）

役職	氏名	施設名
支部長	森 啓悟	済生会野江病院
副支部長	山城 久和	大阪船員保険病院
	浅沼 晴雄	東住吉森本病院

	津田 喜裕	大阪府立中河内救命救急センター
副支部長 兼会計	桑山 和哉	南大阪病院
会計	久保 清夏	済生会野江病院
庶務	大西 正信	大阪市立成人病センター
	桑名 佑佳	東住吉森本病院
	山本 吉裕	東大阪市立診療所
	奥村 友香	上山病院
委員	西 時男	市立枚方市民病院
	戸井 史治	国家公務員共済組合連合会枚方共済病院
	白川 瑞恵	関西医科大学附属滝井病院
	星宮 房恵	特定医療法人有隣会 東大阪病院
	長島 弘之	大阪市立総合医療センター
	福島 成之	淀川キリスト教病院
	吉野 知治	住友病院
	小田嶋 康雄	北野病院
	大西 正信	大阪市立成人病センター
	池口 範子	育和会記念病院
	下瀬 雅士	結核予防会大阪府支部相談診療所
	市川 晴彦	大阪赤十字病院
	水口 洋一	日生病院
	髭野 康博	大阪市立大学医学部附属病院
久保 恵子	河内総合病院	
相談役	山本 吉裕	東大阪市立診療所
	福田 哲夫	大阪市立大学医学部附属病院
担当理事	大倉 ひろ枝	関西医科大学附属枚方病院
	田畑 泰弘	育和会記念病院

地区名	区長および副区長		施設名
第4地区	区長	西 時男	市立枚方市民病院
	副区長	戸井 史治	国家公務員共済組合連合会枚方共済病院
		白川 瑞恵	関西医科大学附属滝井病院
第5地区	区長	森 啓悟	済生会野江病院
	副区長	星宮 房恵	特定医療法人有隣会 東大阪病院
第6地区	区長	長島 弘之	大阪市立総合医療センター
	副区長	福島 成之	淀川キリスト教病院
第7地区	区長	吉野 知治	住友病院
	副区長	小田嶋 康雄	北野病院
第8地区	区長	大西 正信	大阪市立成人病センター
	副区長	池口 範子	育和会記念病院
第9地区	区長	下瀬 雅士	結核予防会大阪府支部相談診療所
	副区長	市川 晴彦	大阪赤十字病院
第10地区	区長	水口 洋一	日生病院
	副区長	山城 久和	大阪船員保険病院
第11地区	区長	桑山 和哉	南大阪病院
	副区長	浅沼 晴雄	東住吉森本病院
		髭野 康博	大阪市立大学医学部附属病院
第12地区	区長	津田 喜裕	大阪府立中河内救命救急センター
	副区長	久保 恵子	河内総合病院
		山本 吉裕	東大阪市立診療所

南支部役員・区長・副区長名簿（平成25年3月現在）

役職	氏名	施設名
支部長	櫛引 健一	岸和田徳洲会病院
副支部長	貴舎場 智之	阪南中央病院
	前田 岳宏	近畿大学医学部附属病院
会計	水島 さゆり	岸和田徳洲会病院
	鷹家 優美子	近畿大学医学部附属病院
庶務	山中 良之	岸和田徳洲会病院
	石川 隆司	市立岸和田市民病院
委員	谷川 崇	府中病院
	小林 司	市立岸和田市民病院
	森 智也	市立藤井寺市民病院
	濱田 匡樹	高石藤井病院
	福田 隆広	大阪労災病院
	上野 宏徳	富田林病院
	永長 健	浅香山病院
	渡利 武志	永山病院
	福田 篤久	大阪府立泉州救命救急センター
相談役	中江 健市	近畿大学医学部附属病院
	杉山 昌晃	市立岸和田市民病院
担当理事	後藤 真理子	大阪府立呼吸器・アレルギー-医療センター

地区名	区長および副区長		施設名
第13地区	区長	貴舎場 智之	阪南中央病院
	副区長	森 智也	市立藤井寺市民病院
第14地区	区長	前田 岳宏	近畿大学医学部附属病院
	副区長	永長 健	浅香山病院
第15地区	区長	櫛引 健一	岸和田徳洲会病院
	副区長	谷川 崇	府中病院
第16地区	区長	福田 篤久	大阪府立泉州救命救急センター
	副区長	渡利 武志	永山病院

学術部

Ⅰ 学術部会関係

1. 学術部会会議

大臨技事務所において11回開催(第2火曜日)した

- 1) 各部門が開催する講習会等の調整を行った。
- 2) 生涯教育としての学術講演会の準備・調整。
2. 他事業部の事業に協力した。
3. 他団体との学術交流に参加した。
4. 教育施設懇談会を大臨技事務所において1回共催(2012.3.30)した。

II 講習会

1. 第7回大臨技教育セミナー

日 時：平成24年7月19日(土) 14:00～17:00

会 場：関西医科大学附属滝井病院本館6階臨床講堂

I. 教育講演

『新たな取り組みである患者情報室の果たす役割』

II. ワークショップ

「いろいろな職場で活躍する先輩が抱負を語る」

1. 企業の一員として
2. 検査センターで採用する立場として
3. 医療を対象にしない職場として
4. 病院に勤務して
5. 職場のスペシャリストとして

参加者：178名

2. 第7回学術部講演会

日 時：平成24年10月20日(土)

会 場：関西医科大学附属滝井病院本館6階臨床講堂

テーマ：The 呼吸器疾患～四方山話で解りやすく～

参加者：86名

3. 第8回学術部講演会

日 時：平成25年3月9日(土)

会 場：関西医科大学附属滝井病院南館2階臨床講堂

テーマ：白血病を理解・克服するために

参加者：104名

III 日臨技学会・近臨技学会関係

1. 第61回日本医学検査学会

社団法人三重県臨床検査技師会の担当で開催された。

日 時：平成23年6月9日(土)～10日(日)

開催地：三重県

会 場：三重県総合文化センター、メッセウイング・みえ

メインテーマ：命の重み・重なる技術・重ねる想い

一般演題数：584題

(大臨技会員の座長・司会、発表演題数：表)

2. 第52回日臨技関西支部医学検査学会

日 時：平成24年9月29日(土)～30日(日)

開催地：白浜町

会 場：南紀白浜コガノイベイホテル、HOTEL古賀の井

メインテーマ：新たなる旅立ち～Learning & Healing～

一般演題数：166題

(大臨技会員の座長・司会、発表演題数：表)

IV 部門・分野関係

10部門で各種講演会等を100回開催した。

学術部 平成24年度学会発表者数

	第 61 回日本医学検査学会		第 52 回近畿医学検査学会	
	司会・座長	演題数	司会・座長	演題数
シンポジウム等	2	3	2	17
微生物	0	7	1	7
免疫・血清	0	7	2	6
血液	1	3	1	3
臨床化学	1	0	2	8
病理	0	2	1	1
細胞	0	0	0	0
生理	1	11	2	17
公衆衛生	0	1	1	1
一般	0	2	0	2
輸血	1	2	1	1
情報システム	1	0	0	0
遺伝子・染色体	0	1	1	1
管理運営	0	1	1	3
教育	0	0	0	0
チーム医療	0	1	0	1
その他	0	0	0	1
合計	7	41	15	69

平成 24 年度学術部部会活動報告

臨床化学検査部門

1) 講演会

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所属)	参加 人数	共催
H24.4.12	18:30～ 20:00	大阪市立大学医学部	ペプシノゲンとピロリ抗体による胃の健康度チェック	関根 和人 (栄研化学 (株))	51	なし
H24.5.10	18:30～ 20:00		基礎から学ぶ臨床化学検査	川上 りみ (日立ハイテクノロジーズ) 金田 幸枝 (積水メディカル)	78	
H24.6.14	18:30～ 20:00		骨粗鬆症における骨代謝マーカーの役割	石井 重延 (ヤマサ醤油 (株))	20	
H24.7.12	18:30～ 20:00		CRP 検査の今後の展望と新しい炎症マーカーSAA のご紹介	阿部 雅仁 (栄研化学 (株))	44	
H24.9.13	18:30～ 20:00		管理血清の使い方 ー精度管理データの見方と注意点ー	長尾 健次 (和光純薬工業 (株)) 山本 慶和 (天理医療大学)	50	
H24.10.11	18:30～ 20:00		脂質検査の基礎と最近の話題	今田 貴之 (協和メデックス (株)) 中島 康仁 (松下記念病院)	39	
H24.11.8	18:30～ 20:00		新規項目導入へのステップ ～生化学自動分析装置での院内測定	坂東 雅彦 (大阪中央病院) 木本 純也 ((株) シノテスト)	54	
H25.1.10	18:30～ 20:00		投与薬剤が検査値へ及ぼす影響	金田 幸枝 (積水メディカル)	56	
H25.2.14	18:30～ 20:00		TP・ALBの2試薬系における基準値の設定について	宿屋 敬 ((株) カイノス)	35	

免疫血清部門

1) 定期講演会

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所属)	参加人数	共催
H24.6.23	15:00～ 18:00	大阪医科大学	「いまさら聞けない免疫血清検査の基本～感染症検査	中島 俊彦(アボット・ジャパ(株))	52	なし
			「いまさら聞けない免疫血清検査の基本～ホルモン検査	澤上 直也(ロシュ・ダイアグノスティックス(株))		
H24.8.11	15:00～ 18:00	大阪医科大学	いまさら聞けない免疫血清検査の基本～腫瘍マーカー	江川 孝則(富士レビオ(株) 学術サービス部 営業支援)	67	
			いまさら聞けない免疫血清検査の基本～自己抗体検査	新井 次郎(MBL(株) 学術部)		
			いまさら聞けない免疫血清検査の基本～血漿蛋白解析	中里 功((株)ヘレナ研究所 大阪支社)		

2) 府民公開講座

年月日	時 間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加人数	共催
H24.10.27	15:00～ 18:00	大阪医科大学	「乳がんを考えよう～早期発見・早期治療で克服する！」 血液検査で乳がんは捉えられるか？ 乳腺エコーで早期発見！ 「マンモグラフィ」ってどんな検査？ 乳がん治療の最前線！	江川 孝則 (富士レビオ(株) 学術サービス部 営業支援) 尾羽根 範員 (住友病院 診療技術部) 木下 真由美 (市立芦屋病院 放射線科) 岩本 充彦 (大阪医科大学附属病院 一般・乳腺・内分泌外科)	80	なし

3) 特別講演会

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加人数	共催
H25.1.26	15:00～ 18:00	大阪医科大学	尿を分析する！ ～真・生体情報宝物殿へのいざない～ 尿を解析する！ ～未知なる驚きとの出会いを求めて～ 総合討論 ～「尿」が我々に与えてくれるもの～	中山 亜紀 (文京学院大学保健医療技術学部) 山西 八郎 (天理医療大学医療学部) 山本 憲司 (大阪医科大学附属病院 検査部)	74	なし

生理機能部門
1) 定期講習会

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加人数	共催
H24.4.26	18:30～ 20:00	学 大 医 阪 学 市 部 立 大	危険、緊急を要する心電図の読み方 ～見落とさないためのポイントを学ぶ～	松井 由美恵 (済生会泉尾病院 循環器内科)	212	なし
H24.5.24	18:30～ 20:00	大 阪 医 療 技 術 学 園 専 門 学 校	考える神経伝導検査	佐々木 一朗 (神戸市立医療センター中央市民病院)	92	
H24.6.28	18:30～ 20:00		心・血管領域のソノグラファーが知っておきたいエビデンス～心筋マーカーから冠血流まで～	川崎 俊博 (大阪掖済会病院)	73	
H24.7.26	18:30～ 20:00		重症化する先天性心疾患～メカニズムと早期発見のポイント～	稲村 昇 (大阪府立母子保健総合医療センター 小児循環器科)	89	
H24.9.27	18:30～ 20:00		腹部超音波検査に役立つCT・MRIの読み方～肝臓領域を中心に～	関 康 (市立池田病院 放射線科)	132	
H24.10.25	18:30～ 20:00		古くて新しい検査「呼吸抵抗測定」～スパイログラフイーも絡めて～	永島 智正 (チェスト (株))	65	
H25.1.24	18:30～ 20:00		ホルター心電図を基礎から学ぶ	安保 浩二 (大阪市立大学医学部附属病院)	145	

2) 心電図判読講座

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加人数	共催
H24.6.1	18:30～ 20:00	大 阪 医 療 技 術 学 園 専 門 学 校	心電図判読講座 (第一回)	山崎 功次 (馬場記念病院) 山内 一浩 (市立豊中病院) 安保 浩二 (大阪市立大学医学部附属病院)	127	なし
H24.6.8	18:30～ 20:00		心電図判読講座 (第二回)	山崎 功次 (馬場記念病院) 山内 一浩 (市立豊中病院) 安保 浩二 (大阪市立大学医学部附属病院)	127	
H24.6.22	18:30～ 20:00		心電図判読講座 (第三回)	山崎 功次 (馬場記念病院) 山内 一浩 (市立豊中病院) 安保 浩二 (大阪市立大学医学部附属病院)	127	
H24.7.6	18:30～ 20:00		心電図判読講座 (第四回)	山崎 功次 (馬場記念病院) 山内 一浩 (市立豊中病院) 安保 浩二 (大阪市立大学医学部附属病院)	127	
H24.7.20	18:30～ 20:00		心電図判読講座 (第五回)	山崎 功次 (馬場記念病院) 山内 一浩 (市立豊中病院) 安保 浩二 (大阪市立大学医学部附属病院)	127	

3) 大阪超音波技術研究会

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加人数	共催
H24.4.20	18:30～ 20:15	住友病院	春の特別研究会 －事例から読み解くピットフ ォール克服法－	田上 展子 (住友病院)	63	なし
H24.6.15	18:30～ 20:15		春の特別研究会 －事例から読み解くピットフ ォール克服法－ 続編 とおまけの症例クイズ	田上 展子 (住友病院) 川端 聡 (住友病院)	50	
H24.8.17	18:30～ 20:15		体表部会・特別企画「これ何 ですか？ ～静止画1枚の腹部・体表症 例判読会～」	尾羽根 範員 (住友病院)	94	
H24.10.19	18:30～ 20:15		閉塞性黄疸について ～診断から治療まで～	永井 均 (浅香山病院)、他	43	
H24.12.21	18:30～ 20:15		腹部エコー その場で症例判読会	尾羽根 範員 (住友病院)、他	38	
H25.2.15	18:30～ 20:15		紫グループ発表:腫れるや(腹 部領域)	喜舎場 智之 (阪南中央病院) 小椋 智美 (四条烏丸クリニック)	34	

4) 実技研修会

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加人数	共催
H24.8.5	9:00～ 17:30	大阪府医師協同組合	第3回血管エコー実技研修会	部会世話人 他	99	なし
H24.10.7 ～8	9:00～ 17:40 9:00～ 16:40		第9回心エコー実技研修会	部会世話人 他	100	
H24.11.25	9:00～ 17:20	波切ホール	第2回腹部エコー実技研修会	部会世話人 他	89	

病理細胞検査部門
1) 細胞診定期講習会

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加 人数	共催
H24.4.14	14:00～ 17:15	北野病院	細胞診総論・子宮頸部細胞診 婦人科細胞診 (子宮体部・卵巣)	三村 明弘 (大阪労災病院) 浦岡 孝子 (大阪警察病院)	65	なし
H24.5.25	18:45～ 20:15		呼吸器細胞診	寺本 友昭 (近畿中央胸部疾患センター)	52	
H24.6.22	18:45～ 20:15		消化器細胞診	竹中 明美 (大阪府立成人病センター)	49	
H24.7.20	18:45～ 20:15		泌尿器・体腔液細胞診	佐々木 伸也 (市立堺病院)	41	
H24.9.28	18:45～ 20:15		乳腺細胞診 甲状腺細胞診	龍 あゆみ (大阪府立成人病センター) 延岡 由梨 (隈病院)	41	
H24.10.7	14:00～ 17:30		スライド模擬試験	世話人	65	

2) 病理技術ジュニア講習会

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加 人数	共催
H24.6.17	10:00～ 16:30	近畿医療 専門学校	初心者講習会 二級臨床検査士試験対策	世話人	34	なし

3) 病理特別講習会 (他職種公開講座)

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所属)	参加 人数	共催
H25.1.18	18:45～ 20:15	住友 病院	呼吸器領域の病理組織標本の見方と考 え方 ～肺癌と悪性中皮腫を中心に～	河原 邦光 (大阪府立呼吸器・ アレルギー医療センター)	51	なし

4) 病理技術研究会

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加 人数	共催
H25.2.23	13:30～ 18:00	日生 病院	1 アミロイド染色ミニサーベイ 2 ポリエチレン製使い捨てピペットと 袋オブラートを利用した簡単なセルブ ロック作製法 (ピペット・オブラート法) 3 医療安全を目指して ～病理組織標 本作製におけるWEBカメラの活用～ 4 改正女性則と病理検査現場における 暴露対策 5 病理診断業務における感染対策 6 遺伝子検査の基礎と現状 7 乳癌と胃癌において HER2 遺伝子増 幅を検出するための CISH 法 免疫組織化学 酵素抗体法の精度管理 とは ～染色の落とし穴～	佐々木 政臣 (大阪市立大学附属病院) 藤中 浩樹 (大阪府立急性 期・総合医療センター) 林 久志 (株) ファルコ バイオシステムズ) 中島 幸哉 (盛和工業 (株)) 平澤 浩 (藤田保健衛生大 学附属病院) 延原 崇之 (アークイメージング (株)) 今野 佳祐 (株) 常光) 柳田 絵美衣 (神戸大学医学部附属病院)	103	なし

一般検査部門
1) 定期講習会

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加 人数	共催
H24.4.22	18:30 ~ 20:00	近畿 医療技術 専門学校	1.「尿検査における検体の取り扱い」 2.「一般検査から考える疾患」 ～腎臓の基礎と臨床～	豊政 圭未 (国立循環器病研究センター) 村田 良一 (大阪労災病院)	97	なし
H24.5.16	18:45～ 20:45	クレオ大阪中央 セミナー ホール	1.「尿検査の現状と課題」 ～日常検査で遭遇する異常値について～ 2.「血液浄化のしくみと腎機能検査」	延原 崇之 (アークイメージング (株)) 山西 八郎 (天理医療大学)	126	マー ケ テ ィ ン グ (株) ア ー ク レ イ
H24.5.30	18:45～ 20:45		「血球類の考えかたと意義」	堀田 真希 (大阪大学病院)	159	なし
H24.6.13	18:30～ 20:30		「円柱類の分類と鑑別法」 ～円柱が形成される理由～	村田 良一 (大阪労災病院)	140	
H24.6.27	18:30～ 20:30		「上皮細胞類の分類と鑑別法」 ～上皮細胞をマスターしよう！～	滝沢 恵津子 (大阪市立大学病院)	157	
H24.7.11	18:30 ~ 20:30		1.「結晶・塩類の考えかた」 2.「尿中の異型細胞の鑑別法」 ～尿沈渣検査法 2010 を踏まえて～	堀田 真希 (大阪大学病院) 川辺 民昭 (京都市立病院)	164	
H24.7.25	18:30～ 20:30		1.「髄液検査法」 ～基礎から症例までをしっかりと学ぶ～ 2.「髄膜炎の治療」 ～細菌性髄膜炎を理解する～	寺西 広樹 (住友病院) 山本 裕之 (大阪赤十字病院)	143	

2) 尿沈渣実習

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所属)	参加人数	共催
H24.9.2	9:00 ～17:00	大阪医療技術学園専門学校	<p>「京阪神尿沈渣実習」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Aコース (初心者向け) <ol style="list-style-type: none"> 1.尿沈渣の基礎 <ol style="list-style-type: none"> ①「血球類」 ②「上皮細胞類」 ③「円柱類」 2.一歩踏み込む！尿沈渣の見方 3.穿刺液の基礎 ランチョンセミナー「全自動尿化学分析装置 クリニテック ノーバス」～クレアチニン補正の意義およびCKD 診療ガイド 2012 の変更点について ・ Bコース (中級者向け) <ol style="list-style-type: none"> 1.尿沈渣症例検討 2.髄液・穿刺液症例検討 	仲間 美乃 (桂病院) 滝沢 恵津子 (大阪市立大学病院) 大沼 健一郎 (神戸大学病院) 奥村 恵美 (府中病院) 石川 正美 (神戸社会保険中央病院) 渡辺 浩 (シーメンスヘルスカア・ダイアグノスティクス (株)) 堀田 真希 (大阪大学病院) 佐伯 仁志 (国立滋賀病院)	111	京臨技一般検査分野 シーメンスヘルスカア・ダイアグノスティクス (株) 兵臨技一般検査研究班

3) 他職種公開講座

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加人数	共催
H25.1.27	10:00 ～ 17:30	関西医科大学滝井病院	<ol style="list-style-type: none"> 1.「尿中有形成分分析装置 U-SCANNER シリーズについて」 2.「尿中有形成分分析装置 アイキュー-200 ～特長と画像利用の有用性～」 3.「オーションハイブリッド AU-4050 特徴と活用について」 ランチョンセミナー「臨床の要求する尿沈渣情報～各種ガイドラインに準拠した UX-2000～」 4.「尿中異型細胞鑑別のポイント」 5.「再生医療の現状 ～幹細胞を用いた腎臓再生の可能性～」 6.「一般検査の知識を広げよう！ その① 精液検査について その② 関節液検査について」 	舩岡 正二郎 (東洋紡 (株)) 山口 哲史 (富士レビオ (株)) 延原 崇之 (アーケイマーケティンク (株)) 宮前 英治 (シスメックス (株)) 西 国広 ((株)エスアールエル) 津田 秀年 (大阪大学先端移植基盤医療学 (国立循環器病研究センター)) 山下 美香 (廣島総合病院)	91	シスメックス (株)
H25.2.9	10:00 ～ 17:00	近畿医療技術専門学校	<ol style="list-style-type: none"> 1.「臨床に必要な尿沈渣とは？ ～成分の鑑別法と臨床的意義～」 2.「スライドカンファレンス」 	滝沢 恵津子 (大阪市立大学病院) 佐伯 仁志 (国立滋賀病院)	61	なし

血液検査部門

1) 形態セミナージュニアコース

年月日	時間	場所	内 容	講 師(所 属)	参加人数	共催
H24.5.12	14:30~ 17:00	大阪医療技術学園専門学校	血液検査担当技師として/血液像の見方(概論)	世話人	48	なし
H24.5.18	18:00~ 20:30		血液形態標準化/検鏡実習		48	
H24.5.20	9:30~ 15:30		午前:顆粒球・リンパ球・単球/検鏡実習		48	
			午後:赤血球・赤芽球/検鏡実習			
H24.5.25	18:00~ 20:30		血液疾患と生化学検査/検鏡実習		48	
H24.6.3	9:30~ 15:30		午前:凝固検査/検鏡実習		48	
			午後:遺伝子・染色体検査、細胞性免疫検査/検鏡実習			
H24.6.15	18:00~ 20:30		骨髓像の見方/検鏡実習		48	
H24.6.24	9:30~ 15:30	午前:F A B分類/検鏡実習	48			
		午後:検鏡実習				

2) 形態セミナーシニアコース

年月日	時間	場所	内 容	講 師(所 属)	参加人数	共催
H24.6.14	18:30~ 20:00	済生会中津病院	フォトサーベイ結果報告	多川 弘 (長吉総合病院)	50	なし
H24.7.5	18:30~ 20:00		Acute myeloid leukemia with minimal differentiation:最未分化型急性白血病	早水 徳良 (近畿大学医学部附属病院)	50	
H24.8.2	18:30~ 20:00		AML with inv(16)(p13.1q22)あるいはt(16;16)(p13.1q22); CBF/ MYH11を有するAML	鬮橋 進吾 (京都第一赤十字病院)	50	
H24.9.6	18:30~ 20:00		Adult T-cell Leukemia / lymphoma: 成人T細胞白血病 / リンパ腫	戸井 晶代 (市立堺病院)	50	
H24.10.4	18:30~ 20:00		Acute megakaryoblastic leukemia: 急性巨核芽球性白血病	梁本 省仁 (住友病院)	50	
H24.11.1	18:30~ 20:00		認定試験に向けての動画模擬試験 1.悪性腫瘍の多発性転移 2.MDS - RCMD	多川 弘 (長吉総合病院)	50	
H24.12.6	18:30~ 20:00		B-ALL/LBL,not otherwise specified(NOS)	関口 桃子 (市立池田病院)	50	
H25.1.10	18:30~ 20:00		diffuse Large B-cell lymphoma	岩谷 浩美 (近畿大学医学部堺病院)	50	
H25.2.7	18:30~ 20:00		t(6;9)(p23q34); DEK-NUP214を有するAML	櫻原 雅美 (関西医科大学附属滝井病院)	50	

3) 血液形態セミナー・特別編

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加 人数	共催
H24.8.25	14:30~ 17:00	あべのメ ディックス	白血球分類の自動化の歴史	長井 孝明 (シスメックス (株) ヘマトロジー開発部)	124	シ ス メ ク ス (株)
			症例から考えよう。ちょっと変わった白血病	根来 利次 (高知医療センター)		

3) 血液形態セミナー・特別編

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加 人数	共催
H24.8.25	14:30~ 17:00	あべのメ ディックス	白血球分類の自動化の歴史	長井 孝明 シスメックス (株) ヘマトロジー開発部)	124	シ ス メ ク ス (株)
			症例から考えよう。ちょっと変わった白血病	根来 利次 (高知医療センター)		

4) 凝固セミナー基礎講座

年月日	時 間	場 所	内 容	講 師 (所 属)	参加 人数	共催
H24.9.8	14:30~ 17:00	あべのメ ディックス	近年承認された抗凝固薬と凝固データについて 標準採血法 (JCLLS ガイドラインを中心に)	鈴木 浩一 (ロシュ・ダイアグノステ ィックス (株)) 舟久保 博文 (ロシュ・ダイアグノステ ィックス (株))	127	ロ シ ユ ・ ダ イ ア グ ノ ス (株)

5) 特別講演会

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加人数	共催
H24.10.27	13:30～ 17:00	あべの メディックス	自動血球分析装置の歴史と最新技術について	内橋 欣也 (シスメックス(株) ヘマトロジー開発部)	114	シスメックス(株)
			血液形態学からみた白血病・悪性リンパ腫	坂場 幸治 (防衛医科大学校病院)		
H25.1.12	14:30～ 17:00		ADVIA2120iの血小板解析と臨床的有用性	秋葉 俊一 (シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス(株)) 稲葉 亨 (京都府立医科大学 感染制御・検査医学講師) (同 附属病院臨床検査部副部長)	77	ダイアグノスティクス(株) シーメンスヘルスケア
			血液検査技師が知っておきたい遺伝子検査の基礎と臨床	(同 輸血・細胞医療部副部長)		

微生物検査部門

1) 定期講習会

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加人数	共催
H24.4.24	18:30～ 20:00	大阪医療技術専門学校	院中八策 ～未来の微生物検査に向けて～	中村 竜也 (関西医科大学附属 枚方病院)	26	なし

2) 基礎講座 (他職種公開講座)

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加人数	共催
H24.6.7	18:30～ 20:00	大阪医療技術専門学校	ゼロからの塗抹鏡検	李 相太 (浅香山病院)	39	なし
H24.6.14			ゼロからの培養同定検査	市村 佳彦 (大阪赤十字病院)	34	
H24.6.21			ゼロからの薬剤感受性検査	宇都宮 孝治 (近畿大学医学部附属病院)	32	

3) 定期講習会 (他職種公開講座)

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加人数	共催
H24.5.22	18:30～ 20:00	大阪医療技術学園専門学校	培地学を基礎から学ぼう！ ① 非選択培地を中心に ② 震災復興と福島工場の精度管理体制について	①上妻 光禎 (日本ベクトン・ディッキンソン (株)) ②広瀬 教志 (日本ベクトン・ディッキンソン (株))	48	なし
H24.6.26	18:30～ 20:00		集中治療領域での感染症診療	西 憲一郎 (関西医科大学枚方病院 総合集中治療部)	44	
H24.9.25	18:30～ 20:00		抗菌薬ブレイクポイントの解釈 ～CLSI、EUCAST 完全解説～	小松 方 (天理医療大学 医療学部 臨床検査学科)	57	
H24.10.23	18:30～ 20:00		微生物検査の創意工夫 ～感染症治療・感染対策に貢献するために～	幸福 知己 (兵庫県立西宮病院)	38	
H24.11.27	18:30～ 20:00		薬剤耐性菌、一問一答！ ～日常の疑問、大募集～	部会世話人	39	
H25.1.22	18:30～ 20:00		知的微生物検査のすすめ	豊川 真弘 (大阪大学医学部附属病院)	39	
H25.2.26	18:30～ 20:00		2012 年度総括・微生物ミニ学会 1. 微生物検査総括 2012！ 2. 微生物ミニ学会 ① Capnocytophaga canimorsus による髄膜炎の 1 症例 ② 有鉤囊虫感染の 1 症例 ③ アメーバ性肝膿瘍の 1 症例 ④ 定常期抗酸菌にみられるイソニアジド抵抗性獲得メカニズムの解析 ⑤ 白血病治療中に Linezolid 耐性 E.faecium が検出された肛門周囲膿瘍の 1 症例 ⑥ 血液培養からの ESBL 産生腸内細菌の検出状況について ⑦ 血液培養ボトルから直接同定・感受性測定への試み	1. 中村 竜也 (関西医科大学附属枚方病院) 2. ①宇都宮 孝治 (近畿大学医学部附属病院) ②市村 佳彦 (大阪赤十字病院) ③木村 麻友美 (西淀病院) ④仁木 誠 (大阪市立大学医学部附属病院) ⑤小林 由佳 (大阪市立大学医学部附属病院) ⑥夏目 聖子 (関西医科大学附属滝井病院) ⑦竹田 真未 (国立病院機構大阪医療センター)	35	

4) 基礎技術講座（他職種公開講座）

年月日	時間	場所	内 容	講 師（所 属）	参加人数	共催
H24.7.14	14:00～ 17:00	大阪医療技術学園 専門学校	微生物基礎技術講座	部会世話人	29	なし
H24.7.15	9:00～ 17:00					
H24.7.16	9:00～ 15:30					

5) その他

年月日	時間	場所	内 容	講 師（所 属）	参加人数	共催
H25.2.9	10:00～ 17:00	大阪市立大学医学部	はじめてのグラム染色、これからのグラム染色	部会世話人	19	なし

輸血検査部門

1) 輸血学基礎講座 1

年月日	時間	場所	内 容	講 師（所 属）	参加人数	共催
H24.4.14	14:00～ 17:00	大阪医科大学	輸血検査の基礎（ABO、Rh 血液型を中心に）を講義	藤野恵三 （大阪市立大学医学部附属病院） 深田 恵利奈 （大阪府済生会中津病院） 藤田 往子 （近畿大学医学部附属病院）	101	なし

2) 輸血学基礎講座 2

年月日	時間	場所	内 容	講 師（所 属）	参加人数	共催
H24.5.12	14:00～ 17:00	大阪医科大学	輸血検査の基礎（不規則抗体、交差適合試験を中心に）を講義	楢引 健一 （岸和田徳洲会病院） 木村 恵子 （近畿ブロック血液センター） 清川 知子 （大阪大学医学部附属病院）	133	なし

3) 輸血基礎実技講習会

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加人数	共催
H24.6.3	9:00~ 17:00	大阪市立大学医学部	輸血検査の基礎技術の習得を目指した実習	進行：鴨川 康代 (大阪大学医学部附属病院) 進行：藤田 往子 (近畿大学医学部附属病院)	57	なし

4) 輸血学中級講座

年月日	時 間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加人数	共催
H24.7.7	14:00~ 17:00	大阪医科大学	輸血検査で関心の高いオモテ・ウラ不一致、複合抗体、自己抗体について講義	阿部 操 (関西医科大学附属枚方病院) 林 恵美子 (大阪船員保険病院) 大西 修司 (関西医科大学附属枚方病院)	166	なし

5) 輸血症例検討会

年月日	時 間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加人数	共催
H24.11.10	14:00~ 17:00	大阪府赤十字血液センター	対応に苦慮する症例について参加者のディスカッション形式で解説	藤野 恵三 (大阪市立大学医学部附属病院) 清川 知子 (大阪大学医学部附属病院) 藤田 往子 (近畿大学医学部附属病院)	73	なし

6) 輸血学術講演会

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加人数	共催
H25.1.12	14:00~ 15:30	大阪医科大学	大阪で拡がりや止まらない HIV 感染症について	白坂 琢磨 (独立行政法人国立病院機構大阪医療センター)	42	なし

7) 輸血セミナー2013

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加人数	共催
H25.2.9	10:00~ 17:00	大阪医科大学	第1部は、血小板関連の HIT 抗体や洗浄 PC、輸血副作用についての講演。第2部は、輸血業務で問題が生じた場合、どうするか症例を基に受講者参加型の形式で対応策を考える。	野村 昌作 (関西医科大学第1内科) 阿蘇 秀樹 (近畿ブロック血液センター) 清川 知子 (大阪大学医学部附属病院) 志磨 美緒 (大阪医科大学附属病院) 深田 恵利奈 (大阪府済生会中津病院) 林 恵美子 (大阪船員保険病院) 大西 修司 (関西医科大学附属枚方病院)	91	なし

検体管理システム部門

1) 特別講演会

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加人数	共催
H24.6.16	14:30~ 17:00	大阪医科大学	検体管理システム部門・生理検査部門 合同特別講演会(多職種公開講座)生理検査のシステム化--現状と問題点 疑問がいっぱい!!何でこの装置、システムと接続できないの?	井口 健 (大阪医大) 池田 有利 (大阪医大) 六尾 哲 (市立岸和田市民病院) 高田 厚照 (関西医大香里病院)	85	生理検査部会
H25.2.2	14:00~ 17:00	あべのメディックス	平成24年度 大臨技臨床検査データ標準化推進事業報告会 「大臨技標準化推進委員会・検体管理システム部門共催講演会」	竹村 真俊 (大阪厚生年金病院) 山本 裕之 (大阪赤十字病院) 杉山 昌晃 (市立岸和田市民病院) 白上 篤 (シスメックス(株))	70	大臨技標準化推進委員会
H25.2.16	14:00~ 19:00	大阪医科大学	大阪臨床検査 ISO15189 研究会	藤岡 克徳 (岡山旭東病院) 浅田 高至 (国立循環器病研究センター) 井口 健 (大阪医科大学) 下田 勝次 (公益財団法人 日本適合性認定協会)	68	大阪臨床検査 ISO15189 研究会

2) 実技講習会

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加人数	共催
H24.9.8	14:00～ 17:00	大阪医療技術専門学校	データベース初級編 「データベースの基礎を学ぼう」	大比良 ひとみ (大阪医大病院)	17	なし
H24.9.29	14:00～ 17:00		プレゼンテーション初級編 「初めての学会 プレゼンテーション」	角田 昌子 (小阪産病院)	16	
H24.10.13	14:00～ 17:00		データベース中級編 「DWH から症例検索を行ってみよう」	真鍋 史朗 (大阪大学病院)	14	

緊急検査部門

1) 講演会

年月日	時間	場所	内 容	講 師 (所 属)	参加人数	共催
H24.5.7	18:30～ 20:00	住友病院	なるほど! 救急初期診療における臨床検査のかかわり	山本 衣美 (加納総合病院) 宇都宮 康裕 (中河内救命救急センター) 前田 岳宏 (近畿大学医学部附属病院)	49	なし
H24.6.29	14:30～ 16:30	あべのメディックス	THE 急性冠症候群	濱田 匡樹 (高石藤井病院) 増田 詩織 (近畿大学医学部附属病院) 北口 勝司 (枚方共済病院)	176	

社団法人 大阪府臨床検査技師会 平成 24 年度第 2 回定期総会（平成 25 年度予算総会）議事録

- 日時 平成 25 年 3 月 28 日（木） 午後 7 時 00 分～同 8 時 00 分
場所 社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所
次第
1. 開会の辞
 2. 表彰
 - 1) 感謝状表彰
 - 2) 永年会員表彰
 3. 議長選出
 4. 議長挨拶
 5. 総会役員選任
 - 1) 資格審査委員兼議事運営委員任命
 - 2) 書記任命
 6. 会長挨拶
 7. 資格審査報告
 8. 議案審議
 - 1) 第 1 号議案 平成 25 年度各部事業計画案に関する件
 - 2) 第 2 号議案 平成 25 年度予算案に関する件
 - 3) 第 3 号議案 その他
 9. 議事録署名人選任
 10. 総会役員解任
 11. 閉会の辞

議事録（概要）

1. 開会の辞

定刻どおり、司会の吉本副会長より平成 25 年度予算総会開会の辞があった。

2. 表彰

1) 感謝状表彰

運天会長より、感謝状として夏秋知佳氏（自宅会員）、北川富規子氏（浅香山病院）、前田富士子氏（白鷺病院）、脊古和人氏（第 2 なぎさクリニック）に表彰が授与された。4 名の代表として、脊古和人氏が謝辞を述べた。

2) 永年会員表彰

永年会員表彰対象者 75 名を代表して竹山佳織氏(大阪府済生会吹田病院) に、運天会長より永年会員表彰が授与された。

3. 議長選出

議長の選出については総会出席者の中から立候補がなかったため、執行部に一任され、司会の吉本副会長より、松倉嘉士氏（(株)大阪血清微生物研究所）、夏秋知佳氏（自宅会員）の 2 名の提案があり出席者の挙手をもって承認された。

4. 議長挨拶

松倉議長より、議長就任の挨拶。

5. 総会役員選出

1) 資格審査委員兼議事運営委員任命

松倉議長より、資格審査委員兼議事運営委員として、理事から荒木常務理事、田畑常務理事 2 名と、出席者から北川富規子氏（浅香山病院）、本多あずさ氏（近畿大学医学部附属病院）、浅田 薫氏（北野病院）の 3 名が選任され、両委員会の委員長に荒木常務理事が選任された。

2) 書記任命

松倉議長より、社団法人大阪府臨床検査技師会事務所職員の岩崎和子氏、出口由紀子氏が任命された。

6. 会長挨拶

理事会において平成 25 年度の事業計画と予算について議案書を作成しました。

本日の総会にてご審議をお願いします。事業計画は、1 月大臨技ニュース「年頭所感」に掲載した次の目標を達成すべく設定をしました。

1. 臨床検査技師の学術技能の研鑽のための事業を行う

2. 会員への情報提供を密にする

3. 公益法人への移行

1 月に申請手続きを終了。答申が出次第、登記等の準備をすすめる。

4. 日臨技と都道府県技師会が協力して臨床検査の職域拡大に尽力する

1) 近畿支部を介して近畿の技師会の要望を反映させる。

2) 業務認証に向けての政治的アプローチを強化する。

臨床検査技師会と臨床検査技師連盟を表裏一体の関係にして、臨床検査技師の目的達成の手段として臨床検査技師連盟を位置づける。平成 25 年度の事業の基本計画は公益法人の事業に絞りこみ、予算を立てました。

7. 資格審査報告

荒木資格審査委員長より資格審査報告があり、本日の会員出席者数 34 名、委任状数 2200 名、計 2234 名で、平成 25 年 3 月 28 日現在の正会員数 3,071 名の過半数を超えており、本総会は成立するとの報告があった。当報告を受け、松倉議長より定款 22 条に基づき本総会の成立宣言がなされた。

ここで、議長を夏秋氏に交代した。

8. 議案審議

1) 第 1 号議案 平成 25 年度各部事業計画案に関する件

1. 総括

1. 府民を対象にした府民の健康増進に寄与する公開講座やイベント事業の開催

府民健康フォーラム、大臨技・大放技合同フォーラム、マタニティカーニバル、看護の日、市民健康展、その他の公益事業を行う。

2. チーム医療の精神に貢献できる事業の開催

栄養サポート、院内感染防止、糖尿病療養、その他多職種でチーム医療を行う公益事業を行う。

3. 臨床検査技師の知識・技術の向上を目指す専門的な研修会の開催

4. データ標準化事業の推進

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会とタイアップして大阪府下の検査施設の標準化を行う。

5. 卒前教育と卒後教育の橋渡しの事業の開催

教育機関の先生と連携して大臨技教育フォーラム等の事業を行う。

ご審議、よろしく申し上げます。

2. 事務局計画案について

平成 25 年度は、公益社団法人としての組織体制の確立を目指します。

1. 各種規程の改訂

理事会において、組織運営規程や総会運営規程など現行の各種規程を公益社団法人に準拠したものに改訂するとともに必要とされる新たな規程を制定する。

2. 組織運営の充実

総務部においては、新たな規程制定後、それに準じた、総会、理事会および各種委員会を開催する。平成 25 年度からの新たな委員会として、平成 27 年度日臨技近畿支部医学検査学会の担当が大臨技となるため、4 月から学会準備委員会の立ち上げが決定した。

会員等への各種表彰については、感謝状表彰、永年会員表彰等に関連する細則の見直しも含め充実したものとする。

会員の広報については、大臨技ニュース、大臨技ホームページの内容を逐次更新し、有益な情報をリアルタイムで正確に提供する。

各教育機関との連携については、臨床検査教育機関懇談会の開催や各教育機関の学生に対し大臨技活動の啓発を目的に大臨技ニュースの配布や、卒業式時に大臨技会長賞の授与を行う。

3. 事務体制の強化

事務体制については、会員管理の強化を図るため平成 23 年度から導入した大臨技会員管理システムの運用を始め、大臨技会員証の発行、大臨技のみの会員のための大臨技臨床検査技師賠償責任保険の管理を行う。平成 25 年度からの大臨技会員証については、会費納入方法の変更に伴い作成および発送に遅延が生じるため、発送されるまで平成 24 年度会員証が有効であることを大臨技ニュース、大臨技ホームページで広報し、研修会受付担当者への周知徹底を図った。

財務管理については、公益社団法人に準拠した適正な財務管理を行い、主務官庁の大阪府へ当該年度財務管理関連報告ならびに事業報告を行う。

4. 府民ならびに関連団体との交流の推進

府民ならびに関連団体との交流については、府民ならびに他職種の方々に対して積極的にホームページ等で公開講座の広報を行い、参加する府民の健康保持・増進への貢献や他職種の方への情報提供を行う。府民公開講座については、渉外部が担当し、大阪府薬剤師会ならびに大阪府栄養士会と共催の「府民健康フォーラム」を 10 月に、大阪府放射線技師会と共催の「大臨技・大放技合同フォーラム」を 1 月に、大阪府看護協会に協力する「看護の日」は 5 月に開催を予定している。

また、これらの他団体とはホームページ上での相互リンク等で情報の共有化を図り、その他の団体とも大阪府地域医療推進協議会への参画により連携を図る。

5. 社会貢献活動の推進

社会貢献活動の推進については、医療関連団体である当会が率先して輸血用血液製剤確保に街頭で献血の呼びかけを行う「献血推進活動」は、適正在庫の確保が最も困難である時期 8 月と 2 月の 2 回予定している。

障がい者に対する理解と協力については、医療現場における視聴覚障害者とのコミュニケーションを目的として「手話講演会」を府民公開講座として 12 月に開催を予定している。

予防啓発事業の推進については、街頭キャンペーンや府民公開講座としての講演会による「がん予防検診事業」や府民公開講座としての講演会による「HIV 予防啓発事業」を予定している。

以上、ご審議の程、よろしくお願い致します。

3. 事業局計画案について

1. 学術部は、4つの目標を立てて事業を進めていきたいと考えています。

- I. 主事業である部門別研修会・講演会の開催は、例年100を超える事業を展開しています。今年度も各部門世話人の方々の積極的な活動により、公益事業を中心に例年通り、又それ以上にと考え公益事業である学術部講演会開催を1回、医療職として必要な話題をテーマとして臨床検査技師だけでなく多くの医療関係者や市民の方が参加できるものを企画します。
- II. 他の事業部への協力は、具体的な事業の共催ではなく部門を超えた講師の交流により各事業に貢献できるようなものを企画します。
- III. 他団体との学術交流活動への対応は、大臨技・大放技合同フォーラム、薬剤師会・栄養士会と合同開催である府民健康フォーラム、看護協会の看護の日にも積極的に関わり、少しでも事業の発展に関与したいと思えます。
- IV. 教育セミナーの開催も回を重ね第8回を迎え、毎年各学校の教務の先生方のご尽力で多くの学生の参加があり、各校OBの方の体験談や教育講演、特別講演を織り交ぜて学生に対し多くの情報を発信し、技師会をアピールできる場として定着させたいと思えます。
学術部は25年度も会員と医療関係の方が興味を持って積極的に参加できるような事業展開をしていきたいと考えています。

2. 情報組織部は、新入会員研修会を8月3日、技師長会は2月15日、他職種合同研修会を9月21日に予定し、チーム医療に関しては、糖尿病療法指導部会は4月10日、6月5日、9月11日、11月13日に定期勉強会を予定し、講演会を7月と2月を予定しています。ICT部会は定期講演会を①院内感染データの集計方法について6月14日、②感染対策プレゼンテーション方法を12月13日に開催予定。NST部会は講演会6月、10月に開催予定。生殖医療技術部会は講演会を2月に開催予定。内視鏡検査部会は検査技師からみた内視鏡を他職種合同で5回開催を予定しております。

3. 地区事業部は、1) 地域の会員相互の交流強化、2) 各支部における自由集会及び地域オープンセミナーの開催、3) 府民参加型健康啓発事業に関する協力 を予定しています。

事業としては、マタニティカーニバル2013を7月6日および7日に、大阪南港ATCで開催を予定しています。会員交流会は9月、施設連絡者会は3月、各地区(北・中央・南)それぞれ1回の自由集会と1回の地域医療フォーラムを開催する予定です。健康展は例年どおり、吹田市、摂津市で開催予定です。

以上、学術、情報組織、地区の事業案についてご審議の程、宜しく願いいたします。

以上の第1号議案「平成25年度各部事業計画案に関する件」について、挙手多数をもって承認された。

2) 第2号議案 平成25年度予算案に関する件

「平成25年度予算案に関する件」については別紙「収支予算案」をもとに前年度比較増減を中心に説明があった。収入の部では、会費収入について増減なしで1,920万円。事業収入は、日臨技生涯教育収入76万円減、学術部講演収入100万円増で24万円増の1,338万円。補助金収入は、日臨技助成金0円とその他補助金20万円減により156万円減で40万円。雑収入は、資料収入40万円増で243万円。収入合計3,541万円を計上した。支出の部1では、人件費の交通費11万円減で705万円。会議費18万円減で57万円。事務経費25万円減で374万円。事務所費増減なしで299万円。支出の部1小計で1,435万円を計上した。支出の部2では、学術研究費140万円増で1,132万円。広告費増減なしで299万円。情報組織費は増減なし

で 149 万円。渉外費は、15 万円減で 136 万円。地区事業費は増減なしで 119 万円。各種研修会費 2 万円減で 43 万円。各種委員会費 16 万円減で 118 万円。諸経費は近臨技分担金が 0 円、雑費が会費振込手数料 50 万円減により 110 万円。支出の部 2 小計で 2,106 万円を計上した。本年度は支出の部 1,2 を合計した当期支出は 92 万円減額の 3,541 万円を計上した。

以上の第 2 号議案「平成 25 年度予算案に関する件」について、挙手多数をもって承認された。

3) 第 3 号議案 その他

以上の第 3 号議案「その他に関する件」は意見なく上程なしと判断した。

9. 議事録署名人選任

夏秋議長より、議事録署名人として本日出席者の中から、川井和久氏（大阪府茨木保健所）、北川篤氏（多根総合病院）の 2 名が選任された。

10. 総会役員解任

夏秋議長より、平成 24 年度第 2 回定期総会の議案審議の終了が宣言され、総会役員は解任された。

11. 閉会の辞

竹浦副会長より会員一人ひとりが満足するような技師会の企画、新入会員を得るための施策を考えていきたいと述べ、平成 24 年度第 2 回定期総会閉会の辞とした。（午後 8 時 00 分閉会）

平成 25 年 3 月 28 日

社団法人 大阪府臨床検査技師会 平成 25 度 第 1 回定期総会（平成 24 年度決算総会）議事録

日 時 平成 25 年 5 月 23 日（木）午後 7 時 00 分～8 時 00 分

場 所 社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所

- 次 第
1. 開会の辞
 2. 議長選出
 3. 議長挨拶
 4. 総会役員選出
 - 1) 資格審査委員兼議事運営委員任命
 - 2) 書記任命
 5. 会長挨拶
 6. 資格審査報告
 7. 議案審議
 - 1) 第 1 号議案 平成 24 年度各部事業報告に関する件
 - 2) 第 2 号議案 平成 24 年度決算に関する件
 - 3) 第 3 号議案 その他
 8. 議事録署名人選任
 9. 総会役員解任
 10. 閉会の辞

議事概要

1. 開会の辞

定刻どおり吉本副会長より平成 25 年度第 1 回定期総会開会の辞があった。

2. 議長選出

議長選出について、総会出席者中より立候補者がいないため、執行部から議長候補者として安江智美氏（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター）ならびに松倉嘉士氏（株式会社 大阪血清微生物研究所）の 2 名の提案があり、出席会員の挙手をもって承認された。

3. 議長挨拶

安江議長より議長就任の挨拶があった。

4. 総会役員選出

1) 資格審査委員兼議事運営委員任命

安江議長より、資格審査委員兼議事運営委員として理事から荒木常務理事ならびに田畑常務理事の 2 名と、出席者より武岡真由美氏（松下記念病院）、和田恭典氏（大阪赤十字病院）、下本知子氏（小阪産病院）の 3 名が任命され、両委員会の委員長に荒木常務理事が任命された。

2) 書記任命

安江議長より、書記として大臨技事務所職員の岩崎和子氏ならびに出口由紀子氏の 2 名が任命された。以上の総会役員任命について、出席会員の挙手をもって承認された。

5. 会長挨拶

新役員体制になって1年が経ちました。まず、平成24年度に承認された事業計画は、役員、各部世話人の尽力のおかげで、達成する事が出来ました。平成24年度の事業は公1事業、公2事業、公3事業、共益事業の4つに分類して実施しました。

公1事業では府民も対象にした公開講座、公2事業では多職種を対象にしたチーム医療や学術研修、公3事業ではデータ標準化、共益事業では臨床検査技師を対象にした研修を行いました。詳細については各事業部の担当部長から報告があります。

費用配分からみると公益事業費率は61.9%で、公1事業12.4%、公2事業44.4%、公3事業5.1%、共益事業20.2%、法人会計17.9%でした。昨年4月に理事会で承認された所信表明した4項目、①学術技能研鑽 ②情報提供を密にする ③日臨技との連携強化 ④公益法人への移行 についても着実に成果が出ています。以上の報告させていただいてご挨拶とさせていただきます。

6. 資格審査報告

荒木委員長より、本日の会員出席者数30名、委任状によるもの2,158名、計2,188名で、平成25年5月23日現在の正会員総数3,107名の過半数を超えており、本総会は成立すると資格審査報告があった。この報告を受け、安江議長より定款22条に基づき本総会の成立宣言があった。

ここで、議長を松倉議長に交代した。

7. 議案審議

1) 第1号議案 平成24年度各部事業報告に関する件

各部から議案書に沿って平成24年度の事業報告が行われた

①総務部

栗本理事より、庶務および広報の2つの部会について順に報告があった。

庶務部会：

1. 定期総会の開催

- 1) 平成24年度第1回定期総会(平成23年度決算報告)を平成24年5月24日に開催した。
- 2) 平成24年度第2回定期総会(平成25年度予算総会)を平成25年3月28日に開催した。

2. 会議の開催準備および開催

- 1) 常務理事会を大臨技事務所にて12回開催した。
- 2) 理事会を大臨技事務所にて12回開催した。
- 3) 総務・会計部会を大臨技事務所にて12回開催した。

3. 平成23年度事業報告の作成および大阪府への報告

4. 公益社団法人化への準備

5. 教育施設との連携

6. 大臨技会員管理システムの充実

7. 大臨技会員証の発行

8. 平成25年度大臨技会員納入案(日臨技一括引き落とし制度開始に伴う変更)策定

9. 大臨技臨床検査技師賠償責任保険の管理

広報部会：

1. 会報の発行

大臨技会報(通巻第198号)平成24年9月1日(Web版のみでの公開)を発行した。

2. 大臨技ニュース(月間行事予定表含む)の発行

大臨技ニュース通巻 第 279 号～大臨技 290 号(12 回)を毎 1 日発行した。

3.大臨技ホームページの更新

- 1) 公益社団法人向けに大臨技ホームページのリニューアルをした(平成 24 年 7 月 3 日)
- 2) データを随時更新した。

以上、ご審議、宜しくお願い致します。

②渉外部

清水理事より、渉外部の事業について報告があった。

平成 24 年度は、地域医療推進と臨床検査の普及啓発に関する事業として、大阪府民の健康増進と福祉の向上、関係団体と協力し地域医療を推進することを目的に、

1. 献血推進活動。
2. 他団体との連携交流
3. 障害者への理解と協力を目的に手話講演会および講習会の開催。また、日臨技公益委託事業の 2 事業および新たな事業として、大阪府細胞検査士会とともに子宮がん検診啓発活動を行った。
 - 1) 献血推進活動について、第 38 回献血推進活動を平成 24 年 8 月 25 日(土)10:00～16:30、難波グリーンガーデン、まいどなんば献血ルームにおいて開催し、献血受付 182 名、献血者 143 名の協力があった。第 39 回献血推進活動は、平成 25 年 3 月 9 日(土)10:00～16:00、難波グリーンガーデン、まいどなんば献血ルームにおいて開催し、献血受付 190 名、献血者 165 名の協力があった。
 - 2) 他団体との連携交流について、大阪府「看護の日」記念行事として、平成 24 年 5 月 12 日(土) 13:00～16:00 看護協会桃谷センターにて、世話人 22 名の協力により、血糖値測定 169 件、頸部エコー104 件、尿定性検査 54 件の検査を行った。第 8 回府民健康フォーラムは、平成 24 年 10 月 28 日(日)13:00～16:00 大阪 YMCA 国際文化センターにて、「肝臓を大切にしていますか？」をテーマとして開催し、246 名の参加があった。第 12 回大臨技・大放技合同フォーラムは、平成 25 年 1 月 19 日(土)14:00～17:00 大阪府医師協同組合会館にて、「胸痛！！まさか私の心臓が・・・？」をテーマとして開催し、151 名の参加があった。子宮がん検診啓発活動は、平成 24 年 4 月 14 日(土)14:00～17:00 まいどなんば献血ルーム周辺において大阪細胞検査士会と協同で献血の呼びかけとリーフレット配布を行った。
 - 3) 障害者への理解と協力については、手話講演会を近畿医療技術専門学校にて、平成 25 年 2 月 2 日(土)15:00～16:45 「医療におけるバリアフリーコミュニケーション」をテーマに徳永京子先生を講師に迎え開催し、47 名の参加があった。
 - 4) 日臨技公益委託事業の 2 事業は、①がん検診啓発推進活動(がん予防啓発に関する事業)として、「子宮頸がん検診一つなごう命のリレー」を平成 24 年 10 月 13 日(土) 14:00～17:00 大阪府医師協同組合会館にて開催し、30 名(府民 6 名)の参加があった。②エイズ・STI 予防に関する事業として、「HIV 予防啓発講演会」を、平成 25 年 1 月 26 日(土)17:30～19:30 近畿医療技術専門学校にて開催し 42 名の参加があった。

以上、ご審議、宜しくお願い致します。

③情報組織部

井戸田理事より、情報組織部の平成 24 年度事業報告があった。

情報組織部では技師間における組織の強化ならびに新人の教育研修および技師会への入会斡旋、またチーム医療部門との連携により、技師のチーム医療への参画とスキルアップ、他職種との情報共有を目的に事業を開催した。

1. 新入会員研修会を平成 24 年 8 月 4 日に開催し、新人の技師会活動について理解を深めるための研修と交流を行ない 39 名の参加があった。
2. 第 29 回技師長会を平成 25 年 2 月 23 日に、「卒前・卒後教育」をテーマに、内容は卒前教育として学校教育の現状と問題点、卒後教育として基本教育の考え方とリーダー育成、さらに企業における新人教育方法などについて講義を行い、39 名の参加があった。
3. 多職種合同研修会を平成 24 年 9 月 15 日に開催し「チーム医療における口腔ケアの重要性」をテーマに嚥下障害口腔ケア、口腔内細菌、歯周病などについて、看護師、医師、臨床検査技師ならびに歯科衛生士による教育研修会を開催し、他職種を含め 49 名の参加があった。
4. チーム医療部門：(1)糖尿病療養指導部会では糖尿病治療と糖尿病療養指導についての特別講演会を平成 24 年 7 月 16 日と平成 25 年 2 月 10 日に開催し、各々の参加者数は 90 名および 111 名でした。また、定例勉強会を 4 回開催し、各々 27 名、60 名、37 名、27 名の参加があった。(2)ICT 部会では平成 24 年 9 月 14 日および平成 25 年 2 月 28 日に院内感染対策に関する内容で定期講習会を開催し、それぞれ 63 名、44 名の参加があった。(3)NST・褥瘡部会では平成 24 年 10 月 20 日に NST 活動・NST 教育・栄養サポートチーム認定試験対策に関する講演会を開催し、21 名の参加があった。(4)生殖医療部会では平成 25 年 2 月 20 日に奈良県臨床検査技師会と合同で婦人科がんについての講演会を開催し、47 名の参加があった。(5)内視鏡検査部会では平成 25 年 3 月 9 日に病棟での急変事例対応などについて講演会を開催し、12 名の参加があった。

以上、ご審議の程よろしく申し上げます。

⑤地区事業部

田畑常務理事より、地区事業部の平成 24 年度事業について報告があった。

平成 24 年度は、次の 3 事業を行った。

1. 地域の会員相互の交流強化
 2. 各支部における自由集会及び、地域医療フォーラムの開催、
 3. 府民参加型健康啓発事業に関する協力
1. 会員相互の交流強化の事業として、
 - 1) 会員交流会を平成 24 年 10 月 6 日に堺とれとれ市にて開催し、大阪湾クルージング、海鮮バーベキュー、マグロの解体ショー、ゲーム等を行い、親睦を深めた。
 - 2) 施設連絡者会を平成 25 年 3 月 16 日に大阪産業創造館にて、「どこまでするの 時間外緊急検体検査!!」、「当直・夜間帯における検査対応について」をテーマに、当直体制編、2 交代制編、常勤技師を含めたランチ対応編、アンケート集計報告についての内容で開催した。
 2. 自由集会及び、地域フォーラムの開催事業として、

北、中央、南の 3 支部において、それぞれ 1 回の自由集会と地域オープンセミナーを開催した。

 - 1) 北支部では、平成 24 年 5 月 26 日に大阪医科大学にて、「臨床検査技師が知っていて損はない画像診断の読み方 ～白・黒はつきりさせます～ (X 線検査の基礎 CT 検査の基礎 MRI 検査の基礎について)」をテーマに自由集会を開催し、平成 25 年 1 月 26 日に「ICT (Infection Control Team) 活動

の現状と課題」をテーマに、医師、薬剤師、看護師、検査技師の立場から、それぞれの取り組みを発表する内容で、地域オープンセミナーを開催した。

2) 中央支部では、平成 24 年 7 月 27 日に大阪医療技術専門学校にて、「HbA1C の国際標準値 (NGSP 値) 移行後の現状報告」、「各メーカーにおける HbA1C の汎用試薬での各自動分析装置の評価」をテーマに自由集会を開催、平成 25 年 3 月 9 日に大阪府病院年金会館にて、「検査技師と看護師から見た ICT と感染防止対策」をテーマに臨床検査技師および看護師から見た院内感染の ICT 活動と感染防止対策加算における現状報告についての内容で、地域オープンセミナーを開催した。

3) 南支部では、平成 24 年 9 月 1 日に市立岸和田市民病院にて、「匠のエコー技師から学ぼう (心エコー、腎動脈エコー、体表エコー、造影エコー)」をテーマに自由集会を開催。平成 25 年 2 月 16 日に岸和田市民病院にて、「日常臨床に役立つ睡眠学」をテーマに、地域オープンセミナーを開催した。各支部とも充実した内容の自由集会およびオープンセミナーであった。

3. 府民参加型健康啓発事業に関する協力として、

豊中、吹田、摂津の各市にて行われている健康展に協力した。各健康展とも、多数の市民の方が参加され盛況で、地域の方々が中心となり、充実したものであった。また、4 年目の協力事業として、マタニティーカーニバル 2012 (平成 24 年 7 月 7 日・8 日、大阪南港 A T C ホール) において体験コーナーを運営した。マタニティーカーニバル 2012 は、2 日間で 21,000 人を超える来場者があり、体験コーナーも充実したもので、今後も府民のための公益活動として参加協力したいと思う。

以上、平成 24 年度地区事業部活動内容について、報告申し上げます。ご審議、宜しくお願い致します。

⑥学術部

高田常務理事より、平成 24 年度の学術部事業報告があった。

学術部の平成 24 年度の事業活動は、学術部会として、学術部各事業を開催するための準備会議や企画会議を大臨技事務所で 8 月を除き毎月第 2 火曜日に、計 11 回開催した。他の事業部や他団体との交流協力として「看護の日」には生理検査部門および一般検査部門よりボランティアを、「大臨技・大放技合同フォーラム」では講師の推薦および派遣を行い、「府民健康フォーラム」では司会を担当した。学術部が担当する平成 25 年度 (第 8 回) 大臨技教育セミナーの準備会議である各臨床検査技師養成学校ならびに大学の担当者との懇話会を 25 年 3 月 27 日に大臨技事務所で開催、事業部各部長も出席して意見の交換を行った。

講習会関係では、平成 24 年度 (第 7 回) 大臨技教育セミナーを、平成 24 年 7 月 19 日に関西医大附属滝井病院で開催した。教育講演では、患者とのコミュニケーションをはかるために阪南中央病院の北田淳子氏に「新たなる取り組みである患者情報室の果たす役割」をテーマに講演をお願いし、ワークショップでは例年通り大阪府下の臨床検査技師学校ならびに大学の先輩諸氏に「いろいろな職場で活躍する先輩が抱負を語る」をテーマに現状や今後の希望等を講演して頂いた。毎年病院や企業に勤務する方の講演で、平成 24 年度は大阪府監察医事務所に勤務される方の講演も有り参加者 178 名の大部分を占める学生の方にとっては実社会に進む時の一助になるような講演になったと考えている。これに参加された学生の感想は大臨技ニュースにも掲載されている。

学術部が主催する学術講演会を関西医大附属滝井病院で開催し、平成 24 年 10 月 20 日に臨床化学・生理・微生物・病理細胞・緊急部門担当の第 7 回「THE 呼吸器疾患～四方山話で解りやすく～」をテーマに 5 部門からの講演であり、内容も盛りだくさんであったため予定時間を 1 時間もオーバーしたが、86 名の参加者の多くが最後まで残っていた。平成 25 年 3 月 9 日に臨床化学・一般・血液・輸血部門担当の第 8 回「白血病を理解・克服するために」をテーマに 7 回の反省を踏まえ時間厳守で開催したが、104 名の方

の参加があり分野を越えた白熱した討論が行われた。2回の講演会は、事前に綿密な打ち合わせを行うことにより満足な結果となった。

日臨技および近臨技に関しては、大臨技ニュース第292号に掲載されているように、三重県で開催された第61回日本医学検査学会に一般演題およびシンポジウム等の座長・司会者として7名を推薦し、会員からはシンポジウム等に3題、一般演題に38題の発表があった。和歌山白浜町での第52回近畿医学検査学会には15名の座長推薦を行い、52題の一般演題とシンポジウム等に17題の会員の方の発表があった。座長・司会の推薦は前年と同様の数であり、一般演題発表者数も昨年度同様に大臨技会員が全一般演題の1/3を占める結果となった。

各部門の学術研究活動については、講演会、研修会、実技講習会等の事業を実施した。平成24年度も昨年度とほぼ同じ約100回の開催で、昨年度を超える参加者があり、平成24年度も公益法人化に向け多くの学術部事業を他職種公開講座（公2事業）としたため他の医療職種の方の参加もあり、また、公1事業の府民公開講座も開催し一般の方々にも参加頂き、各部門の世話人の方の工夫により開催される各事業が会員の方のスキルアップと新しい知識の習得に少しでも寄与していると確信している。

以上のように学術部としては平成24年度も予算総会で承認された計画案で事業を展開し、ほぼ満足すべき成果を残せたと考えている。

以上、ご審議の程よろしく申し上げます。

「平成24年度各部事業報告に関する件」で岡本秀雄氏（住友病院）から常務理事会と理事会の役割の違いについて質問があった。

運天会長から、「理事会は会を運営し決定権があり、常務理事会は理事会に向け事前に審議をする場である」との答弁があった。

その他質問ならびに意見がなく、出席会員の挙手をもって承認された。

2) 第2号議案 平成24年度決算に関する件

「平成24年度決算に関する件」について別紙「収支計算書」に沿って荒木常務理事より報告があった。

1. 収入に関する報告

会費収入は継続会費増で328,000円の増収、事業収入は日臨技収益1,310,000円減と部会収入470,000円増で985,400円の減収。補助金収入は日臨技助成金収入が無くなり1,360,000円の減で1,146,000円の減収。雑収入は各事業での協賛金を見込んだが無く1,854,468円の減収。当期予算額に対し3,622,018円減の32,707,982円を計上した。

2. 支出に関する報告

人件費：51,928円の減、会議費：104,702円の減、事務経費：722,845円の減、事務所費：29,909円の減、支出1の小計13,780,616円で909,384円の減。学術研究費：406,997円の増、広報印刷費：95,724円の増、渉外費：428,258円の減、情報組織費：284,186円の減、各種研修会費：25,836円の減、各種委員会費：143,879円の減、地区事業費：58,032円の減、諸経費：911,187の減、支出2の小計20,353,230円で1,286,770円減。支出1足プラス支出2で当期予算額に対し2,196,154円減の34,133,846円を計上した。当期収支差額は1,425,864円と合わせ、556,8244円を次期繰越収支差額とした。

以上、ご審議の程よろしく申し上げます。

続いて栗本監事より、定款36条の規定により平成24年度の監査を、栗本監事ならびに山中監事で実施した結果について会計監査報告があった

【会計監査報告】

1. 会務について

平成 24 年度定期総会において、決議された事業計画については、円滑に遂行されていることを認めます。事務局および事業部の各部署は、府民への有益で積極的な医療情報提供、会員への迅速で適切な情報公開そして会員ニーズに適合した教育、研修の実施および公益法人移行を見据えた公益事業の充実や定款、規定、会計報告、会員管理の変更対応など迅速かつ適正に会務を遂行されており高く評価いたします。

2. 会計について

損益計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録をはじめ各帳簿ならびに各証拠書類の整理および備品管理は指摘事項なく適正に行われていると認めます。

3. 意見及び要望事項

平成 25 年度は公益社団法人移行の年になると思われまますので、技師会会員および大阪府民から親しまれる身近な存在感のある技師会として評価を得られるよう、一層努力されることを希望いたします。

また公益法人移行後は公益法人の基準に適合した事業管理、予算作成および予算執行管理が継続的に求められます。特に、赤字決算が生じないよう損益管理に十分留意をして、正味財産を適正に維持することが重要となります。今後、大臨技役員・世話人がより一層協力して公益法人にふさわしい会務を遂行されることを期待します。

第 2 号議案について、喜舎場智之氏（阪南中央病院）から、人件費は何名の事務員に対する費用であるかとの質問があった。

荒木常務理事から 2 名の事務員の人件費であるとの答弁があった。

その他の質問、意見がなく「平成 24 年度決算に関する件」および「会計監査報告」は出席会員の挙手をもって承認された。

3) 第 3 号議案 その他

第 3 号議案「その他」について、上程無しと判断した。

8. 議事録署名人選任

松倉議長より、議事録署名人として本日出席者の中から、高田裕子氏（明生病院）、喜舎場智之（阪南中央病院）が選任された。

以上の議事録署名人の選任について、出席会員の挙手をもって承認された。

9. 総会役員解任

松倉議長が、本総会の役員および書記を解任し、議長退任の挨拶をした。

10. 閉会の辞

吉本副会長より、平成 25 年度第 1 回定期総会閉会の辞があり、午後 8 時 00 分閉会となった。

以上

平成 25 年 5 月 23 日

平成24年度
財務諸表

社団法人 大阪府臨床検査技師会

貸借対照表

平成 25 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	971,688	4,562,413	△ 3,590,725
預金	20,402,334	17,612,374	2,789,960
前払金	228,375	228,375	-
流動資産合計	21,602,397	22,403,162	△ 800,765
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
預金	15,000,000	15,000,000	-
基本財産合計	15,000,000	15,000,000	-
(2) その他固定資産			
電話加入権	74,984	74,984	-
その他固定資産合計	74,984	74,984	-
固定資産合計	15,074,984	15,074,984	-
資産合計	36,677,381	37,478,146	△ 800,765
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	15,698,000	15,174,000	524,000
預り金	210,185	184,124	26,061
仮受金	135,091	86,090	49,001
流動負債合計	16,043,276	15,444,214	599,062
負債合計	16,043,276	15,444,214	599,062
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	15,000,000	15,000,000	-
(うち基本財産への充当額)	(15,000,000)	(15,000,000)	(-)
(うち特定資産への充当額)	(-)	(-)	(-)
2. 一般正味財産	5,634,105	7,033,932	△ 1,399,827
(うち基本財産への充当額)	(-)	(-)	(-)
(うち特定資産への充当額)	(-)	(-)	(-)
正味財産合計	20,634,105	22,033,932	△ 1,399,827
負債及び正味財産合計	36,677,381	37,478,146	△ 800,765

正味財産増減計算書

平成 24 年 4 月 1 日 から 平成 25 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	1,588	18,334	△ 16,746
受取会費			
会員会費	15,560,000	15,260,000	300,000
入会金	458,000	474,000	△ 16,000
賛助会員費	3,450,000	3,300,000	150,000
重複会員費	60,000	65,000	△ 5,000
事業収益			
健康展収益	140,000	140,000	0
生涯教育講座収益	-	1,908,400	△ 1,908,400
学術講演会収益	10,231,500	9,750,800	480,700
各種研修会収益	923,100	713,500	209,600
会誌広告収益	410,000	480,000	△ 70,000
受取補助金等			
受取日臨技助成金	1,264,000	1,356,300	△ 92,300
その他	-	730,000	△ 730,000
雑収益			
雑収益	173,944	342,200	△ 168,256
経常収益計	32,672,132	34,538,534	△ 1,866,402
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	4,477,818	4,378,114	99,704
福利厚生費	725,241	651,075	74,166
旅費交通費	2,519,335	134,872	2,384,463
会議費	2,704,984	208,553	2,496,431
通信運搬費	1,781,565	2,053,861	△ 272,296
賃借料	1,781,225	1,797,118	△ 15,893
光熱水料費	126,676	129,455	△ 2,779
学術研究費	-	11,319,406	-
消耗品費	1,136,407	-	1,136,407
印刷製本費	3,006,191	-	3,006,191
会場費	2,068,774	-	2,068,774
広報費	149,110	3,002,647	△ 2,853,537
情報組織費	-	1,175,006	-
渉外費	-	998,060	-
地区事業費	-	1,148,082	-
各種研修会費	1,017,356	384,222	633,134
各種委員会費	-	954,285	-
支払負担金	-	904,500	-

諸謝金	5,680,565	-	-
雑費	1,211,758	420,633	791,125
管理費			
給料手当	1,492,606	1,459,371	33,235
福利厚生費	241,747	217,025	24,722
旅費交通費	42,665	44,958	△ 2,293
会議費	488,874	574,772	△ 85,898
通信運搬費	327,455	541,799	△ 214,344
消耗品費	439,735	467,925	△ 28,190
印刷製本費	503,420	647,620	△ 144,200
賃借料	1,187,483	1,198,079	△ 10,596
光熱水料費	84,450	86,303	△ 1,853
諸謝金	533,500	601,035	△ 67,535
支払手数料	105,439	-	-
広報費	39,240	-	-
雑費	198,340	68,808	129,532
経常費用計	34,071,959	35,567,584	△ 1,495,625
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,399,827	△ 1,029,050	△ 370,777
基本財産評価損益等	-	-	-
特定資産評価損益等	-	-	-
評価損益等計	-	-	-
当期経常増減額	△ 1,399,827	△ 1,029,050	△ 370,777
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	-	-	-
(2) 経常外費用	-	-	-
当期経常外増減額	-	-	-
当期一般正味財産増減額	△ 1,399,827	△ 1,029,050	△ 370,777
一般正味財産期首残高	7,033,932	8,062,982	△ 1,029,050
一般正味財産期末残高	5,634,105	7,033,932	△ 1,399,827
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	-	-	-
当期指定正味財産増減額	-	-	-
指定正味財産期首残高	15,000,000	15,000,000	-
指定正味財産期末残高	15,000,000	15,000,000	-
III 正味財産期末残高	20,634,105	22,033,932	△ 1,399,827

注) 事業費の科目について、その内容をより明瞭に表すため形態別科目に変更している。

平成 24 年度 第 1 回 (4 月) 理事会 議事録

- ◇ 日 時： 平成 24 年 4 月 12 日 (木) 午後 18 時 30 分～20 時 45 分
- ◇ 会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、井戸田、出野、宮野、酒井、栗本、清水、増田、山西、杉山、山田、久保田、栗本監事、事務員 (出口)
- ◇ 欠席者： 後藤、山中幹事
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

1. 行動報告 (3 月分)

- 3 月 3 日 中央支部自由集会
運天、栗本、出野
- 3 日 大臨技標準化推進委員会
井戸田、竹浦
- 6 日 学術部会
高田、宮野
- 7 日 大阪府内合同衛生検査所精度管理委員会
運天、田畑、井戸田、
- 8 日 理事会
今井、運天、竹浦、吉本、高田、大垣、清水、荒木、田畑、井戸田、山田、宮野、酒井、栗本、山西、栗本監事
- 10 日 第 6 回学術講演会
高田、宮野
- 13 日 支部長会
田畑、出野、
- 13 日 学術部会
高田、宮野、山西
- 15 日 情報組織部会
井戸田、杉山、酒井、山西、竹浦
- 17 日 地区事業部会
田畑、出野、栗本、
- 17 日 平成 23 度大臨技施設連絡者会
今井、運天、吉本、荒木、田畑、山田、栗本
- 18 日 日臨技総会議案の検討会
運天
- 21 日 渉外部会
清水

- 21日 総務・会計部会
運天、吉本、荒木、山田
- 22日 平成23年度第2回定期総会
今井、運天、竹浦、吉本、高田、大垣、清水、荒木、田畑、井戸田、山田、宮野、酒井、出野、山西、杉山、増田、栗本監事、山中監事
- 24日 日臨技代議員会
今井、運天、竹浦、吉本
- 24日 日臨技23年度第2回定期総会
今井、運天、竹浦、吉本
- 27日 大臨技会員受付システム打合せ会
吉本
- 28日 常務理事会
今井、運天、竹浦、吉本、高田、荒木
- 28日 臨床検査教育機関懇談会
今井、運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、井戸田、山田、増田

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・ 3月24日に代議員会議と平成23年度第2回定期総会、日臨技連盟会議が開催された。
- ・ 代議員会議…平成23年度事業概要報告と決算概要報告があった。
今井前会長、運天会長、竹浦副会長、吉本副会長が参加した。
日臨技は4月1日から一般社団法人に移行した。移行後に公益認定の取得を目指すとの報告があった。大阪（運天）からの代議員制度と内部留保金残高についての質問に対し、次の回答があった。廃止になった大議員会議に代わる会議を今後検討する。23年度決算概要報告の運営基盤強化特別会計において、特定資産の取り崩し額が約2億円計上されているが、現在の内部留保金の残高については後日報告する。
- ・ 定期総会…出席者数と委任状数の合計が過半数に満たなかったため、流会となった。
全会員数50,199名中 出席者131名、委任状数19,868票
参加していた会員より流会になった責任について高田会長に詰問があった。
- ・ 連盟会議…日臨技の連絡責任者会議に運天会長が参加した。
会費収入1,936,000円で、活動費は前期繰越を合算すると23,020,000円ある。
大阪から提案したチーム医療の推進による職域拡大を連盟の今年度事業に取り入れることになった。

2. 近臨技

- ・ 4月14日（土）近臨技会議を開催予定している。

3. 事務局

〈総務部〉3月21日（水）に部会を開催した。

- ・ 会員受付システムについて検討した。
- ・ 大臨技総会について検討した。
- ・ 大臨技会員証について検討した。2月締めで3月中に約2,050枚発送した。
- ・ 賛助会員への対応について検討した。
- ・ 大臨技発行物の送付先について検討した。
- ・ 大臨技ニュース3月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉3月21日（水）に部会を開催した。

- ・ 2月度収支決算書を作成した。
- ・ 3月分事務員給料を送金した。

〈渉外部〉3月20日（火）に部会を開催した。

- ・ 子宮がん検診啓発活動（4月14日（土）14時～17時）について検討した。
- ・ 日臨技公益委託事業について検討した。
- ・ 定期総会について検討した。
- ・ 来年度の事業について検討した。

4. 事業局

〈情報組織部〉3月15日（木）に部会を開催した。

- ・ 多職種合同研修会についての内容を検討し、本年度はテーマを「口腔ケアに関連するチーム医療」に決定した。
- ・ 第28回技師長会の反省を行い、次回の検討材料とした。
- ・ 新入会員研修会について担当者を決め、今後のスケジュールを確認した。

〈地区事業部〉3月17日（土）に部会を開催した。

- ・ 来年度事業について話し合った。
- ・ 施設連絡者会の参加人数は71名（正会員64名、正会員以外7名）であった。

〈学術部〉3月6日（火）に部会を開催した。

- ・ 3月10日（土）に、第6回学術部講演会を開催した。参加者80名超。
- ・ 会員区分について検討した。

III. 他、報告

1. 平成24年度大臨技運営について（運天会長）

1) 所信表明

- 1.代表理事として定款に掲げている当会の目的（会員の学術技能研鑽を進め、会員の資質向上につなげ、府民の健康保持増進に寄与する。）を遂行する。
- 2.会員への情報提供を更に密にしていく。ホームページ、ニュースに理事会での決定事項を理事會情報として記載して行く。
- 3.平成24年度中に公益法人に移行する。
- 4.日臨技と都道府県技師会が一体化して、日臨技の目的である会員の身分の確立、職域拡大に協力する。

2) 役員体制

平成 24・25 年度 大臨技役員の担当一覧表を作成、公表した。

2. 大臨技 OB との意見交換会について（吉本副会長）

5 月 24 日（木）定期総会終了後に新旧役員交流会として開催する。参加人数は約 35 名の予定。

3. その他

- 1) 大臨技事業の参加費の取決めについて、他職種対象事業における参加費の広報に関し、変更事項の説明があった。（吉本副会長）
- 2) 日臨技の「生涯教育推進研修会助成金について」（別紙参照）の説明があり、登録・申請等の対応について検討した。（吉本副会長）
 - ・日臨技推進事業の申請登録（JAMTIS 上）については、学部部に一任する。
 - ・4 月から携帯端末が使用不可となっていることについて、早急に確認する。
- 3) 4 月 14 日（土）14：00～17：00 LOVE49 関連事業（別紙資料）を実施する。（清水理事）
- 4) 7 月 7 日（土）大阪府放射線技師会が開催する女性に関するがん検診についての府民公開講座に子宮がん検診の担当講師として清水恵子氏を推薦する。（清水理事）

IV. 議 題

1. 平成 24 年度第 1 回定期総会（平成 23 年度決算総会）について（吉本副会長）

スケジュール案に沿って説明があった。

- ・日時：5 月 24 日（木）19 時～20 時 30 分
- ・会場：社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所
- ・議長選出：第 1 議長 夏秋 知佳氏（自宅会員）
第 2 議長 伊東 千絵氏（小阪産病院）
- ・資格審査委員兼議事運営委員任命：
高田常務理事（委員長）、荒木常務理事
会員 3 名は渉外部より選出… 1 人は津田 喜裕氏（大阪府立中河内救命救急センター）、あと 2 人は後日 選出する。
- ・議案審議：1) 第 1 号議案 平成 23 年度各部事業報告に関する件
2) 第 2 号議案 平成 23 年度決算に関する件
会計監査報告
3) 第 3 号議案 その他

2. 東大阪市衛生検査所精度管理委員の推薦について（運天会長）

大阪医科大学附属病院の池本 敏行氏を推薦することに決まった。

3. 日臨技関西支部学術協力委員の選出について（運天会長）

高田常務理事を学術協力委員に推薦することとした。

4. 救急検査技師認定制度委員会から広報・後援の依頼について（運天会長）

久保田理事より文書に沿って説明があった。

昨年、日本臨床救急医学会より要請があり、準備委員会を立ち上げ救急検査技師の認定制度に向けて動いている状態。指定講習会・認定試験等の広報および後援の協力をお願いしたいとのこと。

研修会等の広報、後援は協力するが新たな認定制度立ち上げについては、日臨議認定部会や日本臨床検査医学会、日本臨床検査同学院との兼ね合いがあるので回答は保留とした。

5. 緊急検査部会および内視鏡検査部会について（運天会長）

標記部会等について、下記の通り組織編制した。

- ・緊急検査部会…学術部に位置づける
- ・内視鏡検査部会…チーム医療部門に位置づける
- ・データ標準化推進委員会…理事会直下に位置づける

6. 「近畿心血管治療ジョイントライブ（KCJL）2012」の後援依頼について（運天会長）

当事業（開催日4月19日・20日）への後援依頼は吉本副会長に依頼書類等を監査してもらい、後援を承認した。

7. その他

1) 日臨技の会長候補選挙…宮島 喜文氏に決定した。（運天会長）

- ・宮島 喜文氏…16,278 票
- ・高田 欽也氏…5,963 票

2) 平成24年度日臨技関西支部医学検査学会（第52回）について（吉本副会長）

- ・日程：平成24年9月29日（土）～30日（日）
- ・場所：和歌山県西牟婁郡白浜町
- ・チラシが届いたので、大臨技ニュース5月号と同送する。

3) 大臨技会員受付システム概要について（別紙参照）（吉本副会長）

1. 行事登録…JAMTISでの行事登録後に、「行事コード」発生。

2. 行事当日の参加登録および参加情報の登録

日臨技会員と大臨技（近臨技）のみの会員とで方法が異なる。

- ・日臨技会員…日臨技会員証からバーコード読取による参加受付
手書きリストによる参加受付

- ・大臨技会員…手書きリストによる参加受付

3. 登録データの準備…JAMTISの「生涯教育情報」より該当する行事の生涯教育情報をダウンロードする。

4. 登録データの大臨技事務所への送信…ダウンロードした生涯教育情報と、手入力したExcelファイルをメール添付により送信。

5. 送信された登録データの処理…大臨技事務所で事務員が行う。

4) 後援依頼について（吉本副会長）

日本未病システム学会第5回近畿地方会（8月4日開催）より後援名義使用の依頼があり、承認された。

5) 理事会新役員全員の顔写真を撮影し、大臨技ニュース6月号に挨拶文とともに掲載することとした。

6) 平成24年度部会事業費の前払支出により基本財産の500万円取り崩しを審議し、理事会にて承認された。

平成 24 年度第 2 回（5 月）理事会議事録

- ◇ 日 時： 平成 24 年 5 月 10 日（木）午後 6 時 30 分～8 時 20 分
- ◇ 会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、荒木、田畑、清水、井戸田、出野、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、
増田、久保田、後藤、栗本監事、事務（岩崎）
- ◇ 欠席者： 高田、山田、山中監事
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

I. 行動報告（4 月分）

- 4 月 7 日 大阪医療専門学校校章授与式
竹浦
- 10 日 学術部会
高田、宮野
- 12 日 理事会
運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、清水、井戸田、栗本、山田、宮野、酒井、山西、増田、
出野、杉山、久保田、栗本監事
- 14 日 近畿臨床検査技師会 会議
運天、高田、荒木
- 14 日 2012 年子宮頸がん検診啓発活動、献血推進活動
吉本、清水
- 17 日 公益法人申請の打ち合わせ
運天
- 17 日 渉外部会
清水、杉山、増田
- 18 日 総務・会計部会
吉本、栗本、荒木、久保田
- 19 日 情報組織部会
竹浦、井戸田、杉山、酒井、山西、久保田
- 19 日 地区事業部会
竹浦、田畑、出野、栗本、後藤
- 21 日 救急検査技師認定制度についての打ち合わせ
運天
- 25 日 会計監査
荒木、栗本監事、山中監事
- 25 日 常務理事会
運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑

- 25日 会計打合せ（情報組織部）
井戸田
- 26日 データ標準化専門部会
運天、竹浦、山西
- 27日 一般検査部門 定期講習会
宮野

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・ 宮島会長候補推薦枠 8 名（新潟県、山梨県、長野県、埼玉県、東京都 2 名、愛知県、奈良県）が決定した。
- ・ 4 月 15 日臨時理事会を開催し、5 月 26 日の総会議案について検討した。
- ・ 平成 24 年度議決権行使書を会員個人宛に郵送、未送付者リストを各支部に送り催促する事とした。
- ・ 米坂副会長を参議院議員候補推薦者に理事会で決定した。

2. 近臨技

4 月 14 日（土）15：00～17：30 近臨技会議を開催した。

- ・ 宮島新体制に向けて近畿から提案および要望を挙げて行く。
- ・ 日臨技関西支部学会（和歌山）は 3 団体同時開催と決まった。
- ・ 京臨技と和臨技は 4 月 1 日を以って一般社団法人に移行した。
- ・ 兵臨技と滋臨技は 4 月 1 日を以って公益社団法人に移行した。

3. 事務局

〈総務部〉4 月 18 日（水）に部会を開催した。

- ・ 平成 24 年度の総務・会計部会の体制について検討した。
- ・ 平成 24 年度第 1 回定期総会について検討した。
- ・ 賛助会員への対応について検討した。
- ・ 会員受付システムについて検討した。
- ・ 新・日臨技会員証への対応について検討した。
- ・ 大臨技ニュース 4 月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉4 月 18 日（水）に部会を開催した。

- ・ 3 月度収支決算書を作成した。
- ・ 事務員 4 月分給与および 24 年度事業費を送金した。
- ・ 23 年度各部決算書の確認を行った。

〈渉外部〉4 月 17 日（火）に部会を開催した。

- ・ 2012 年子宮頸がん検診啓発活動（4 月 14 日 14：00～17：00）の報告をした。
- ・ 今年度の事業および体制について検討した。
- ・ 看護フェスタおおさか 2012 について検討した。

- ・ 大放技・大臨技合同フォーラム（平成 25 年 1 月 19 日（土）開催予定）の準備および第 1 回合同委員会（6 月 5 日（火）開催予定）について検討した。
- ・ 総会について検討した。

4. 事業局

〈情報組織部〉4 月 19 日（木）に部会を開催した。

- ・ 新入会員研修会（8 月 4 日（土）開催予定）について具体的な内容を検討した。
- ・ 他職種合同研修会（9 月 15 日（土）開催予定）について講師の選定をした。

〈地区事業部〉4 月 19 日（木）に部会を開催した。

- ・ 各支部担当理事を決めた（北支部：出野、中央支部：田畑、南支部：後藤）。
- ・ マタニティカーニバル 2012（7 月 7 日（土）・8 日、大阪南港 ATC ホールにて開催）について大臨技ニュース 6 月号にボランティア募集案内を掲載すると共にチラシを同封することとした。
- ・ 北支部自由集会（5 月 26 日（土）、大阪医大にて開催予定、会費：500 円（会員）、1000 円（非会員）について、内容を「画像診断の基礎」とし、放射線技師に話をしてもらう予定とし、タイトルは「白黒つけましょう」とした。

〈学術部〉4 月 10 日（火）に部会を開催した。

- ・ 第 7 回学術部講演会（10 月 20 日開催予定）について検討した。テーマは「呼吸器」とした。
- ・ 各部門事業に関して検討した。
- ・ 総会での質問について検討した。
- ・ 会計会議を開催し、要望・修正点を提示した。

III 他、報告

1. プロモーションコードについて（竹浦副会長）

透明性に関する指針について報告した。

- ①会員会社の姿勢（企業方針等）
- ②公開方法（決算等）
- ③公開時期（2012 年度分を 2013 年度から）
- ④公開対象
 - ・ 研究費開発費等（臨床試験、新薬開発・治験等費用）
 - ・ 学術研究助成費（奨学寄付金、一般寄付金、学会寄付金、学会共催費等）
 - ・ 原稿執筆料等（講演、執筆、コンサルティング等費用）
 - ・ 情報提供関連費（講演会、説明会等の費用）
 - ・ その他の費用（接待費等）

2. 東大阪市衛生検査所精度管理委員について（運天会長）

4 月理事会で大阪医科大学の池本氏を推薦することに決定したが、現当委員の大倉氏の任期が平成 25 年 3 月 31 日満了であるため、平成 25 年度 4 月 1 日からの次期委員に池本氏を推薦することとした。

3. 吹田市健康展の委員推薦について（田畑常務理事）

平成 24 年度吹田市「みんなの健康展」開催に伴う実行委員に前田富士子氏（ガラシア病院）、松

本典久氏（市立吹田市民病院）を推薦した。

4. 研修会受付時のトラブルについて（運天会長）

今年度大臨技行事に参加した近畿他府県会員および技師会から会員証（近畿ロゴマーク入）不携帯時の対応についての問い合わせや要望（今年度日臨技会員証での対応希望等）があったため、近畿他府県の技師会事務局宛に、「所属技師会発行の会員証もしくはこれに代わるもの」の提示が無い場合、非会員扱いとする書面でのお願い状を送信し、会員への広報をお願いした。

5. 看護の日について（竹浦副会長）

- ・ 看護フェスタおおさか 2012（5月12日（土））の参加者は12：30に集合する。
- ・ 参加予定者は理事3名、糖尿病療養指導士部会から3名、エコー検査担当4名、尿検査担当2名である。

6. 公益法人申請の進捗状況について（運天会長）

- ・ 5月14日に主務官庁に書類ベースで申請し、6月に電子申請を行う予定。

7. その他

- ・ データ標準化委員会（理事会直下事業）に会長が関与していくことを伝えた。

4月26日にデータ標準化委員会が開催された。

- ①平成24年度の評価対象項目は全項目実施とする。
- ②評価試料は、5月12日に日臨技で開催される会議後、プロジェクトチームで検討する。
- ③サーベイの実施日は10月29日とした。

5月12日に日臨技で都道府県精度管理システム説明会と平成24年度臨床検査データ標準化全国代表者会議が開催されるので会長も出席する。

- ・ 賛助会員の関西アイエヌエスサービスよりアフラック保険広告の依頼があり、大臨技ニュース7月号に同封することとした。広告費用は50,000円とした。
- ・ 各部の新世話人へ「個人情報保護法に関する誓約書」の提出をお願いした。
また、世話人委嘱状が必要な場合は、公文書として提出をすることにした。
- ・ 荒木会計部長より平成23年度決算報告の説明を行った。
各部会に会計処理の方法を伝えた。

IV. 議 題

1. 平成24年度第1回定期総会（平成23年度決算総会）および新旧役員交流会について（吉本副会長）

- ・ 資格審査委員は、総務部の岡部氏ならびに三上氏をお願いした。
- ・ 新役員の久保田理事ならびに後藤理事に、総会終了後の就任挨拶をお願いした。
- ・ 退任役員に感謝状授与および退任挨拶をお願いした。
- ・ 総会終了後、新旧役員交流会を開催する。

2. 新・日臨技会員証への対応について（吉本副会長）

大臨技行事での参加受付時に、今年度日臨技会員証バーコードが携帯端末で読み取り不能となったため、その対応について検討した。

- ・ 現行の「大臨技行事参加者リスト」を現状況に合ったリスト（新リスト）に変更する。
- ・ 新リストへの記入による参加受付を行うとともに、日臨技生涯研修登録については、会員自身で

実施してもらうこととする。

- ・ 会員自身による日臨技生涯研修登録は期限を定め、一定期限後、該当行事担当者が JAMTIS 上に登録された、該当行事の参加者情報と新リストに記入された参加者情報を照合することとした。
- ・ 「新リスト」および「会員自身による日臨技生涯研修登録処理に関するマニュアル（大臨技世話人用・会員用）」を早急に作成し、大臨技ホームページに掲載するとともに広報することとした。
- ・ 大臨技担当の日臨技関西支部学会開催に合わせ参加者受付用に、機器（パソコン、バーコードリーダー）を購入することとした。

3. その他

1) 名誉会員について

今井前会長を名誉会員とすることについて提案があり、承認された。

2) 救急検査技師認定制度について

4月21日大臨技事務所にて、救急検査技師の資格認定制度について会長と緊急検査部会担当者の打合せを行った。

3) 日臨技平成24年度定期総会議決権行使書について

- ・ 日臨技平成24年度定期総会議決権行使書は、出欠に関わらず必ず返送する。
- ・ 「出席する」にマークしたにもかかわらず書面表決をした場合は、書面表決が優先される。
- ・ 署名欄には必ず自筆で氏名を記入する。
- ・ 全ての議案および第四号議案については全ての候補者にマークをつける。
- ・ 出席者を含め50%に満たない場合は、流会となるため必ず返送する。

平成 24 年度第 3 回（6 月）理事会議事録

- ◇ 日 時： 平成 24 年 6 月 14 日（木）午後 18 時 30 分～20 時 00 分
- ◇ 会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、井戸田、出野、宮野、栗本、清水、増田、山西
杉山、山田、久保田、後藤、栗本監事、事務（出口）
- ◇ 欠席者： 酒井、山中幹事
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

1. 行動報告（5 月分）

- 5 月 8 日 学術部会
竹浦、高田、宮野、山西
- 10 日 理事会
運天、竹浦、吉本、荒木、田畑、清水、井戸田、出野、宮野、酒井、栗本、
山西、杉山、増田、久保田、後藤、栗本監事
- 12 日 日臨技データ標準化報告・担当者会議
運天
- 12 日 看護フェスタおおさか 2012
竹浦、吉本、荒木、出野、山田、宮野、杉山
- 14 日 大阪府庁 公益法人申請の打ち合わせ
運天
- 15 日 渉外部会
吉本、清水、杉山、増田
- 16 日 総務・会計部会
吉本、栗本、荒木、山田、久保田
- 16 日 一般検査部会 基礎講習会
山西
- 17 日 情報組織部会
竹浦、井戸田、杉山、酒井、山西、久保田
- 17 日 地区事業部会
田畑、後藤
- 17 日 浅田会計事務所訪問
荒木
- 22 日 マタニティ・コパル 2012 実行委員会
田畑、出野、栗本
- 23 日 常務理事会
運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑

- 24日 平成24年度第1回定期総会
運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、清水、井戸田、出野、山田、宮野、酒井、栗本、山西、増田、久保田、栗本監事、山中監事
- 24日 大臨技新旧役員交流会
運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、清水、井戸田、出野、山田、宮野、酒井、栗本、山西、増田、久保田、栗本監事、山中監事
- 26日 日臨技平成24年度第1回定時総会
運天
- 26日 北支部自由集会
竹浦、田畑、出野
- 27日 兵庫県臨床検査技師会60周年・公益法人設立式典
運天

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・ 5月26日 午前10時より、平成24年度定時総会が開催された。
1号議案の平成23年度事業報告、2号議案の平成23年度決算報告、3号議案の平成23年度監査報告および4号議案の平成24・25年度役員選任は、全て承認された。
- ・ 総会終了後、新役員による臨時理事会を開催した。
会長に宮島喜文氏、副会長に松本祐之氏、常務理事に下田勝二氏、執行理事に山本慶和氏、萩原三千男氏、坂西清氏、津田総一郎氏、丸重美幸氏、上原昭造氏が選任された。
また、業務執行の為に執行理事会議を開催する。執行理事会は会長、副会長、専務理事、常務理事で構成する。

3. 近臨技

- ・ 6月16日（土）に近臨技会議を開催する。
平成23年度の決算、24年度予算、役員について討議予定。
近臨技主催の研修についても討議する予定。
- ・ 6月16日（土）に関西支部会も開催する。

3. 事務局

〈総務部〉5月16日（水）に部会を開催した。

- ・ 平成24年度第1回定期総会について検討した。
- ・ 賛助会員への対応について検討した。
- ・ Web版大臨技会報の作成について検討した。
- ・ 大臨技会員証の再発行について検討した。
- ・ 大臨技ホームページについて検討した。
- ・ 日臨技会員受付方法の運用と周知徹底について検討した。
- ・ 受付端末機材の購入について検討した。
- ・ 大臨技ニュース5月号を発行した。

- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉5月16日（水）に部会を開催した。

- ・ 4月度収支決算書を作成した。
- ・ 5月分事務員給料および事務所管理費を送金した。
- ・ 平成23年度決算書について会計事務所と確認を行った。

〈渉外部〉5月15日（火）に部会を開催した。

- ・ 看護フェスタおおさか2012について検討した。
- ・ 第1回大放技・大臨技合同フォーラム委員会（6月5日開催）について検討した。
- ・ 第38回献血推進活動（8月25日開催交渉中）について検討した。

4. 事業局

〈情報組織部〉5月17日（木）に部会を開催した。

- ・ 新入会員研修会について内容の再確認と詳細事項を検討した。
- ・ 多職種合同研修会について内容の再確認を行った。

〈地区事業部〉5月17日（木）に部会を開催した。

- ・ マタニティーカーニバル2012（平成24年7月7日（土）～7月8日（日）、大阪南港ATCホールにて開催）について話し合った。

内容：ユニフォームの作製・ボランティア募集について。

- ・ 北支部自由集会（5月26日開催、テーマ：画像診断の基礎）の参加人数は222名であった。

〈学術部〉5月8日（火）に部会を開催した。

- ・ 第7回学術部講演会について検討した。
- ・ 参加登録に関して検討した。
- ・ 生涯教育推進研修会助成金について説明した。
- ・ プロモーションコードの扱いについて検討した。

III. 他、報告

4. 日臨技報告について（運天会長）

1) 日臨技総会について

現在の日臨技会員は47,514名で、委任状を含め出席率は60%以上であったため、総会開催は成立し、すべての議案が承認された。

今回は書面議決としたため全国的にも提出率が低かったが、その中でも大阪は47都道府県中、最下位だったのが残念である。

2) 臨時理事会について

執行理事会のメンバーが全員決定した。

運天会長は、総合情報委員会と医療安全委員会を担当することとなった。

近臨技の富永会長は、未来構想委員会に選任された。

森嶋顧問は、チーム医療の委員に選任された。

5. 叙勲について（吉本副会長）

平成25年春の叙勲・褒章候補者（衛生分野）の推薦について、5月18日に大阪府健康医療部保

健医療室地域保健感染症課より依頼があったが、推薦依頼書類の提出期限が6月4日と切迫しており、次回理事会での検討にも間に合わなかったため、今回は推薦をしないこととした。

今後、平成25年度秋の叙勲・褒章について1名を推薦する予定である。

6. 大臨技行事受付および登録について（栗本理事）（別紙参照）

大臨技行事受付および日臨技生涯教育履修登録についての会員等からの質問事項に関する対応を検討するとともに、「行事登録マニュアル」および「大臨技行事参加者記入リスト」を作成し、大臨技ホームページに掲載した。

①日臨技のみの会員は、大臨技非会員扱いとなる（非会員欄にチェックする）。

②大臨技行事参加者リストは、現行の大臨技ホームページに掲載している「大臨技行事参加者記入リスト」を使用する。

③シリーズ化されている講習会に関しても、その都度「大臨技行事参加者記入リスト」を使用して受付を行う。

④記入後「大臨技行事参加者記入リスト」は、7日以内に大臨技事務所にファックス送信する。

ファックス送信された「大臨技行事参加者記入リスト」は参加者の把握および将来のシステム管理用として事務所で保管しておく。

4. 大臨技会員証の再発行について（吉本副会長）

大臨技会員証の再発行についてホームページに掲載する内容について説明があった。

再発行申請書を掲載し、再発行希望者は申請書に必要事項を記入の上、大臨技事務所に送付もしくはファックス送信するとともに、再発行費用（手数料）500円を郵便振込してもらう。事務所で確認後、会員証の発行スケジュールに基づき再発行する。

尚、郵便振込時の取扱手数料について不明点があるため、再度、総務・会計部で調査することとした。

5. その他

（運天会長より）

・第52回日臨技関西支部医学検査学会の演題数不足により、演題締切日が6月20日から6月27日に延長になったのでご協力要請する。

・日臨技総研について、総合研究所検討委員会が凍結された。

・大阪市衛生検査所精度管理専門委員会について、今年度より橋下市長体制となり変更があった。

当件について、6月14日（木）に担当の大阪市保健医療対策課・堂園氏が大臨技事務所に来所し、運天会長に変更箇所について説明をされた。

・任期が1期2年2期までから1期1年3期までとなった。

・報酬が大阪府委員報酬に合わせ16,500円から10,400円となり、交通費支給も無くなった。

（吉本副会長より）

・日臨技より、冊子「社団法人日本臨床検査技師会60年の記録」が事務所に20冊届いた。

（増田理事より）

・大臨技・大放技合同フォーラムについて

日時：2013年1月19日（土）

場所：大阪府医師協同組合会館

テーマ：「循環器系の疾患」主に心筋梗塞および狭心症

教育講演と特別講演の2部構成とし、大臨技からは、心電図および心エコーを内容とした講演を行い、それに伴う講師も考慮中である。

・府民フォーラムについて

10月28日（日）12時より開催。講演会は13時から予定。

場所：大阪YMCA国際文化センター

テーマ：「肝臓を大切にしていますか？脂肪肝と言われたら」

薬剤師会・検査技師会・栄養士会の各会から基調講演を行う、講演者については検討中である。

IV. 議 題

8. データ標準化委員会について（運天会長）

データ標準化事業の報告会に参加して、全国の標準化事業はデザインどおりに出来上がりつつあると受け止めた。基幹病院を中心に進めているデータ標準化だけでなく、基準範囲の設定についても概ね出来ている状況にある。参加施設も増えており、全国の認証施設486については新聞にデータ標準化認証施設として施設名が掲載された。日臨技としては認証施設をさらに増やして、認証を受けている施設が診療報酬上、評価されるように検討している。それを踏まえて大阪府でも認証施設を増やしていきたいと考えている。認証を得るに当たって、参加項目をかなり広げた形で進めていく必要がある。については、資料作成に要する費用について検討をした。検討の結果、試料をまとめて作られている九州の篠原先生に依頼することも視野に入れて進めていくことになった。予算については72万円の費用を負担する形で進めていくこと。参加費1,000円については当面は現状どおりとするか委員会で検討してもらうことで理事会承認を得た。

データ標準化委員会委員長の山西理事より、先日のデータ標準化委員会について報告があった。日臨技に承認施設として承認される為に項目を増やすことで先日の委員会で承認された。

今までのプール血清だけでは追いつかないので、リノール等5種類くらいのサンプルをサーベイの対象にする必要がある。購入するものもあるので予算が増える事も考えられる。

ボランティアの正常の新生プール血清も必要なので、通常通り募集してプール血清を作成する。

サーベイ実施日程は10月29日（月）だが、今年は初めてのCBCが入っているのでプレサーベイを実施する必要があると考えている。8月の大臨技ニュースにはサーベイのアナウンスを載せて、9月号ニュースで詳細な案内を載せる。費用に関して、篠原先生のプール血清は1セット380円、HbA1cのコントロールは1セット2,000円位するので、値段の交渉をしていく必要がある。

サーベイの集計業務を今までは手作りで行っていたが、今年度は日臨技のサーベイ用のシステムを無償で使えることになった。

9. 事業費について（荒木理事）

大臨技事業費における会議費等について統一を図るために再検討した。

- ・部会出席の各委員（理事および世話人）には、交通費および会議費として500円を支払う。
- ・研修会等出席の各委員には、交通費および日当として1,000円を支払う。
- ・研修会等の参加費は、各委員からも徴収する。

上記事項等のまとめを「学術部および各部門会計マニュアル」として大臨技ホームページの会員

専用ページに掲載することとした。

10. 公益向けの HP について（運天会長）

大阪府の主務官庁より、大臨技ホームページの内容について会員向け内容が主で公益向け内容が弱いとの指摘を受けたため、ホームページのレイアウト変更等を行い、現行の府民公開講座や府民向け情報の掲載をトップページから閲覧できるよう工夫をして行くこととした。

11. 理事会開催時間の変更について（運天会長）

理事会開催時間について、勤務終了時間や遠方からの出席者のことを考慮して現行の 18 時 30 分開始から、19 時開始・20 時終了にしたいとの提案があり、承認された。

これを受け、7 月理事会から適用することとした。

5. その他

・平成 24 年度事業計画書（井戸田理事）

7 月 16 日（月）糖尿病療養指導士講演会について、日本イーライリリー(株)と共催事業とし、3 人分の講師謝礼金の負担を依頼していることについて、理事会承認とした。

・学術部の血液検査部門より、会員からの要望に応え血液形態講演会を 1 回から 3 回に追加開催することについて理事会承認とした。（高田理事）

・8 月 11 日（土）大阪市地域医療推進協議会に、運天会長、竹浦副会長、吉本副会長が出席する。

平成 24 年度第 4 回（7 月）理事会議事録

- ◇ 日 時： 平成 24 年 7 月 12 日（木）午後 7 時 00 分～8 時 40 分
- ◇ 会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、荒木、田畑、井戸田、出野、山田、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、
久保田、後藤、栗本監事、事務（岩崎）
- ◇ 欠席者： 高田、清水、増田、山中監事
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

1. 行動報告（6 月分）

- 6 月 5 日 大放技・大臨技合同フォーラム会議
運天、吉本、高田、清水、増田
- 8 日 日臨技理事会
運天
- 8 日 データ標準化委員会
竹浦
- 9 日 第 61 回 日本医学検査学会
運天、井戸田
- 10 日 第 61 回 日本医学検査学会
運天、井戸田
- 12 日 学術部会
高田、宮野、山西
- 14 日 大阪市保健医療対策課 堂園副主幹と面談
運天
- 14 日 理事会
運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、清水、井戸田、出野、山田、宮野、
栗本、山西、杉山、増田、久保田、後藤、栗本監事、
- 16 日 日臨技関西支部幹事会
運天、清水
- 20 日 総務・会計部会
吉本、栗本、荒木、山田、久保田
- 21 日 大阪府看護協会公益社団法人設立記念祝賀会
運天
- 21 日 情報組織部会
竹浦、井戸田、杉山、酒井、山西、久保田
- 21 日 地区事業部会
竹浦、田畑、出野、栗本

- 22日 病理細胞部門定期講習会
清水
- 23日 緊急検査部会
久保田
- 26日 マテイク-コバル 2012 実行委員会
田畑、出野、栗本
- 26日 渉外部会
吉本、清水、杉山、増田
- 27日 常務理事会
運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑

II. 経過報告

1. 日臨技

第4回理事会報告（6月8日開催）

- ・ 役員を第50回大韓臨床病理学会（2012年6月27日～30日）へ派遣した。
- ・ 支部企画学術研修会10万円×7分野 伝達・実技講習予算内であれば支部企画の追加を認める。
- ・ 平成24年度日臨技臨床検査精度管理調査の参加申込みは、3712件・3680施設であった。
- ・ 平成24年度日臨技データ標準化事業の基幹施設は、165施設となった。
- ・ 日臨技臨床検査制度管理調査システム使用申請が、13技師会からあり承認した。
- ・ 理事会の開催は原則第4土曜日とし、今年度は9月22日、12月22日、3月23日に開催予定。
執行理事会の開催は原則第2土曜日に毎月開催。
会長専従に伴う住宅費用は日臨技が負担し、その他生活にかかる光熱費は個人負担とする。

2. 近臨技

第1回近臨技会議報告（6月16日開催）

- ・ 決算報告があった。
- ・ 近臨技役員として、会長に富永氏、副会長に玉置氏と谷口氏、監事に宗川氏、他1名、事務局に真田氏、チーム医療に荻野氏、学術に今田氏、会計に荒木氏が承認された。
- ・ 日臨技支部に対する要望事項を検討した。

3. 事務局

〈総務部〉6月20日（水）に部会を開催した。

- ・ 会計マニュアルについて検討した。
- ・ 賛助会員への対応について検討した。（ホームページの賛助会員名簿を平成24年版に更新することとした。）
- ・ Web版大臨技会報の作成について検討した。
- ・ 大臨技ホームページについて検討した。（公益法人対応のホームページ作りを目指すこととした。）
- ・ 研修会等での受付確認について検討した。（マニュアルの日臨技生涯教育履修登録部分について追加した。）

- ・ 大臨技会員証の再発行について再度検討した。
- ・ 賛助会員の参加受付対応について検討した。
- ・ 大臨技ニュース 6月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉 6月20日（水）に部会を開催した。

- ・ 5月度収支決算書を作成した。
- ・ 事務員6月分給与および夏期賞与を送金した。

〈渉外部〉 6月26日（火）に部会を開催した。

- ・ 第1回大臨技・大放技合同フォーラム委員会の報告を行った。
（第2回委員会は7月4日開催予定。）
- ・ 府民フォーラム（10月28日開催）委員会の報告を行った。
- ・ 第38回献血推進活動（8月25日開催）について検討した。
- ・ 日臨技公益委託事業について説明を行った。
第3回ガン検診推進フォーラム「子宮頸がん健診 早期発見の決め手」をテーマに10月13日に大阪府医師協同組合会議室にて開催する。当事業の企画書を日臨技に提出することとした。
- ・ 大放技府民公開講座について説明を行った。

4. 事業局

〈情報組織部〉 6月21日（木）に部会を開催した。

- ・ 新入会員研修会について広報の方法を検討した。
- ・ 多職種合同チーム医療研修会について内容の再確認を行った。

〈地区事業部〉 6月21日（木）に部会を開催した。

- ・ マタニティカーニバル2012（7月7日（土）・8日（日）大阪南港 ATC ホールにて開催）について、最終打合せを行い集合時間や当日の担当を決定した。
マタニティカーニバルに参加したボランティア数69名、参加人数は21,708名だった。
- ・ 会員交流会について検討した。（10月6日（土）14:00から堺「とれとれ市」にて開催で決定した。）

〈学術部〉 6月12日（火）に部会を開催した。

- ・ 第7回学術部講演会について検討した。
- ・ 参加登録に関して検討した。

III 他、報告

1. データ標準化について（竹浦副会長）

- ・ 今年から、篠原克幸氏（福岡大学筑紫病院臨床検査部）作成のプール血清を使用することとし、150本を購入予約した。
- ・ HbA1cについては、シスメックス社製コントロールの使用を検討中である。
- ・ CBCについては、プレサーベイの状況を確認しながら進める。
- ・ 8月理事会で進捗状況を報告する。

2. 日臨技生涯教育履修について（栗本理事）

日臨技生涯教育研修対象行事の参加登録が、行事開催後1ヵ月以内に登録することとなったことに伴い、「2012年度からの日臨技・大臨技行事登録・受付マニュアル」を変更した。

3. 大臨技ホームページについて（栗本理事）

- ・ 公益法人申請に伴い大臨技ホームページのトップページを変更し、一般向けとして「府民公開講座」を掲載し、他職種関係者向けとして「他職種公開講座」を掲載した。
- ・ 今後は、一般向けに日臨技発行冊子「検査のはなし」の内容等の掲載も行ってゆく。
- ・ 「他職種公開講座」の広報のため、他団体ホームページとの相互リンクについても検討する。

4. 計画停電について（吉本副会長）

- ・ 関西電力より今夏（7/2～9/7）の計画停電予定スケジュールが発表され、大臨技事務所所在地もその中に含まれる（4-Bグループ）ため、大臨技ホームページにその旨を広報するとともに計画停電スケジュールを掲載した。
- ・ 対策として、関西電力の計画停電お知らせメールサービスに大臨技事務局を登録しており、万が一停電が実施される場合、前日18時および2時間前にメール配信があるため、配信があり次第大臨技役員メーリングリストにより連絡するとともに対応をとることとした。

5. その他

- ・ 大臨技臨床検査技師賠償責任保険の開始日について、平成24年度は4月と6月の2回であったが、他府県から新卒者の加入にも対応してほしいとの要望に担当保険会社に対応したため、8月開始分（申込み期限7月20日）も設定するとともに大臨技ホームページで広報した。

IV. 議 題

1. 近臨技と日臨技関西支部について（運天会長）

- ・ 日臨技関西支部とは別に近臨技を2年間存続させ、その後一体化して行く。
- ・ 近臨技の拠出金については、2年間無しとする。
- ・ 開催する事業については、日臨技関西支部が主催し近臨技は共催とする。
- ・ 今後の**検討**課題として、一体化した2年度以降に開催される日臨技関西支部主催事業において、日臨技会員以外は非会員扱いになる事について、近臨技のバックアップ体制を考えて行かなければならない。

2. 各部の業務について（運天会長）

大臨技各部の事業を遂行するに当たり、業務負担が偏らないようにするとともに代行可能な体制を考慮しながら進めて行くこととした。

3. 地域医療推進協議会について（運天会長）

8月11日に開催される平成24年度第1回大阪府地域医療推進協議会において、当会からの大阪府ならびに大阪市への平成25年度予算編成に対する新規要望事項および平成24年度要望事項の削除事項はなしとした。

4. 業務運用マニュアルについて（吉本副会長）

「会計マニュアル」の簡易版として総務・会計部において作成した「業務運用マニュアル」について討議し、一部文言を変更するとともに研修会等における謝礼の内容について見直すこととし、次回理事会で継続審議することとなった。

5. 大臨技会員証の再発行について（吉本副会長）

大臨技会員証の再発行における再発行費 500 円の払い込みについては、郵便局の「払込取扱票（白地に青枠の用紙）」で払い込み、郵便払込み手数料は各自負担することとし、当内容を大臨技ホームページで広報することとした。

6. 賛助会員の参加受付対応について（吉本副会長）

「大臨技事業における参加費等の取り決め（平成 24 年度から）」における賛助会員の定義を、「大臨技賛助会員施設の職員およびそれらの近畿地区支店・営業所職員」とし、証明については、「所属施設の名刺もしくは所属を証明するもの（社員証等）による」こととし、大臨技ホームページ掲載中の当内容を「平成 24 年 7 月 12 日一部変更版」として更新することとした。

7. その他

- ・ 第 23 回生物試料分析科学会年次学術集会（平成 25 年 2 月 10 日・11 日開催）および第 65 回日本臨床化学会近畿支部例会（平成 24 年 10 月 20 日開催）から後援申請があり、承認した。
- ・ 大阪府健康医療部より当会へ「平成 24 年度公衆衛生事業功労者」における表彰対象者の推薦依頼があったが、推薦期限（8 月 17 日必着）が迫っており申請書類を揃えるのが無理との判断で、今回は辞退とすることとした。
- ・ 大阪府健康医療部より当会へ「第 41 回医療功労賞（国内部門）」候補者の推薦依頼があったため、該当者があれば 7 月末までに吉本副会長に連絡することとした。
- ・ 平成 24 年 5 月 19 日に「日本救急検査技師認定機構」が発足したことが情報誌に掲載された。紙面では大臨技の緊急検査部会報告が同時掲載されており、「日本救急検査技師認定機構」の構成団体及び役員が大阪府臨床検査技師会、役員と誤解されやすい。臨床検査技師を対象にした認定であるならば構成団体及び役員は日本臨床衛生検査技師会であるべきで、日臨技認定センター経由で日臨技理事会に大阪から議案提議することとした。また、大臨技の今後の方向性を明確にするため緊急検査技師認定制度責任者と面談する予定である。

平成 24 年度第 5 回（8 月）理事会議事録

- ◇ 日 時： 平成 24 年 8 月 9 日（木）午後 19 時 00 分～20 時 00 分
- ◇ 会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、吉本、竹浦、高田、荒木、田畑、宮野、栗本、清水、増田、山西、杉山、山田、久保田、後藤、栗本監事、事務（出口）
- ◇ 欠席者： 出野、井戸田、酒井、山中幹事
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

1. 行動報告（7 月分）

- 7 月 4 日 支部長会
竹浦、田畑、出野、後藤
- 4 日 大放技・大臨技合同フォーラム会議
運天、吉本、高田、清水、増田
- 6 日 マタニティカニバル 2012 前日設営
田畑、出野、栗本
- 6 日 細胞検査士会大阪府支部
清水
- 7 日 マタニティカニバル 2012
竹浦、吉本、田畑、出野、栗本、後藤
- 7 日 細胞検査士会大阪府支部
清水
- 8 日 マタニティカニバル 2012
田畑、出野、栗本、山田、後藤
- 9 日 大阪府公益法人申請についての打ち合わせ
運天
- 10 日 学術部会
高田、宮野
- 12 日 理事会
運天、竹浦、吉本、荒木、田畑、井戸田、出野、山田、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、久保田、後藤、栗本監事
- 15 日 地区事業部会
田畑、出野、栗本
- 16 日 日臨技関西支部・近臨技合同会議
清水
- 16 日 糖尿病療養指導士講演会
運天

- 17日 日本救急検査技師認定機構責任者と面談
運天
- 17日 渉外部会
清水、杉山
- 18日 総務・会計部会
吉本、栗本、荒木、山田
- 19日 情報組織部会
竹浦、井戸田、酒井、杉山、山西
- 20日 大臨技標準化Pチーム委員会
竹浦、山西、杉山
- 21日 第7回教育セミナー
運天、竹浦、吉本、高田、井戸田、宮野
- 24日 公益申請書修正の打ち合わせ
運天
- 25日 常務理事会
運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑
- 27日 中央支部自由集会
田畑、出野

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・ 7月16日（月）近臨技と日臨技関西支部の合同会議を開催した。
 - ①学術部研究班を設置する。
 - ②支部学会については、合同開催は反対だが同時開催はOK。
 - ③近畿支部への名称変更はOK。

4. 近臨技

- ・ 7月16日（月）日臨技関西支部と近臨技の合同会議を開催した。
 - ①バーコードリーダー、PC端末の不足分を日臨技に要望する。
 - ②関西支部開催事業に近臨技は協賛する。
 - ③関西支部研修会の運営方針は前年度までの近臨技手順（担当順番、申請次期等）を踏襲し、日臨技手順書に合わせる。
 - ④一般、血液、臨床化学、微生物、チーム医療3つは関西支部で開催する。

3. 事務局

〈総務部〉7月18日（水）に部会を開催した。

- ・ Web版大臨技会報の作成について検討した。
- ・ 公益法人向け大臨技ホームページへの更新について検討した。
- ・ 研修会等での受付対応について検討した。
- ・ 各部の業務について検討した。

- ・ 大臨技ニュース 7月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉 7月 18日（水）に部会を開催した。

- ・ 6月度収支決算書を作成した。
- ・ 7月分事務員給料を送金した。

〈渉外部〉 7月 17日（火）に部会を開催した。

- ・ 第 38 回献血推進活動（8月 25 日開催）について検討した。
- ・ 第 2 回大臨技・大放技合同フォーラム委員会の報告を行った。
- ・ 府民健康フォーラム（10月 28 日開催）の進捗状況について説明を行った。
- ・ がん検診推進フォーラム（日臨技公益委託事業）について説明を行った。

4. 事業局

〈情報組織部〉 7月 19日（木）に部会を開催した。

- ・ 新入会員研修会について役割分担を決定した。
- ・ 多職種合同チーム医療研修会について内容の最終決定を行った。

〈地区事業部〉 7月 15日（日）に部会を開催した。

- ・ マタニティーカーニバル 2012（平成 24 年 7月 7日（土）～7月 8日（日）、大阪南港 ATC ホールにて開催）の反省会を行った。

〈学部部〉 7月 10日（火）に部会を開催した。

- ・ 第 7 回学部部講演会について検討した。
- ・ 世話人の参加費について検討した。
- ・ 後援と共催の違いについて検討した。

III. 他、報告

7. 近臨技と日臨技関西支部合同会議について（清水理事）

- ・ 日臨技関西支部主催の研修会において、日臨技会員でない関西支部会員の参加費差額分については、近臨技が協賛し負担することが承認された。
- ・ 日臨技関西支部研修会における日臨技生涯教育履修登録は、日臨技会員証からバーコードリーダーおよび PC 端末使用により登録することとなった。
大臨技のバーコードリーダーおよび PC 端末不足分 14 組を日臨技に要望することとした。

8. 救急認定技師認定機構について（運天会長）

- ・ 大臨技から日臨技理事会に緊急検査技師認定の対応について議題に上げてもらう。そのために「日本救急検査技師認定機構」から資料を提出してもらい、日臨技認定センター経由で 9 月の日臨技理事会に提議する予定である。

9. 公益法人申請の進捗状況について（運天会長）

- ・ 順調に進めている。

10. Web 版大臨技会報について（吉本副会長）

- ・ 総務・会計部で Web 版大臨技会報の作成を進めているが、各部における掲載用原稿作成の協力要請があった。

11. ホームページのリニューアルについて（吉本副会長）

- ・大臨技ホームページのトップページから各府民公開講座・公益事業および各他職種公開講座についての詳細が見られるようにした。
- ・大臨技ホームページのトップページにリンク集ボタンを配置した。
- ・大阪府薬剤師会および大阪府栄養士会に対し正式に相互リンクの依頼をしたところ、大阪府薬剤師会より了承を得たため対応した。

6. その他

（清水理事より）

- ・免疫血清検査部門担当の府民公開講座（テーマ：乳がん、10月27日開催）の広報を、新聞社等を通して行う予定である。
- ・がん予防検診フォーラム（10月13日開催）について、
 - ①大阪対がん協会ホームページでの広報を予定している。
 - ②講師の1名が、大阪がん循環器病予防センターの田路氏に決定した。
- ・平成24年度第1回献血推進活動（8月25日開催）への協力要請を行った。
- ・来年2月の献血推進活動に向けて学術部（輸血検査部門）との協議を予定している。

（竹浦副会長より）

- ・データ標準化の進捗について報告があった。
 - ①8月19日（日）CBCのみについてプレサーベいの準備をする。
 - ②篠原氏作成プール血清を150セット購入した。

IV. 議 題

12. 日臨技連盟と職域拡大について（運天会長）

- ・日臨技は宮島会長体制になってから、職域拡大に力を入れている。
- ・チーム医療を推進するとともに、国に対し、検体採取、血圧測定、嗅覚検査、電気味覚検査も臨床検査技師の仕事として追加して欲しいとの要望を出す。
- ・臨床検査技師が検査の説明・相談を出来るように育成する事業を平成25年～27年の間に推進して行きたい。そのための事業費の半分を国に出してもらおうよう要望する。
- ・職域拡大するための手段として日臨技連盟の強化は必須であるため、加入者を増やす必要がある。
- ・大臨技として、加入者の増加促進のため、ホームページや大臨技ニュースで広報して行くこととした。

13. 事業運用マニュアルについて（荒木理事）

- ・前回理事会で提出された「事業運用マニュアル」の改訂版について審議し承認された。当改訂版を大臨技ホームページの会員専用ページにアップすることとした。

3. 配布資料について（田畑常務理事）

研修会において実際の参加者数が把握できないため、準備した配布資料に過不足が生じるところがある。そのための対策を検討し、以下の意見があった。

- ①講師の了承があれば、研修会終了後期限付きで大臨技ホームページにPDF化した配布資料をアップする。

- ②会場により決まる定員数までは配布資料を準備するが、定員数以上は準備しない旨をあらかじめ広報しておく。
- ③作成に時間がかかる配布資料が必要な研修会については、事前申込制にしてする。
- ④配布資料が足りなくなり配布出来なかった非会員の参加者に対しては、資料代は徴収しない。

4. その他

- ・井戸田理事を通じ、情報組織部チーム医療部門糖尿病療養指導部会担当の、第 22 回糖尿病療養指導士講演会（平成 25 年 2 月 10 日開催）について、サノフィ・アベンティス(株)と共催開催の申請があり、承認された。
- ・日臨技の会員のみ参加可能なセミナー等について大臨技ニュース等で広報する場合は、大臨技のみの会員は参加不可であることを広報する必要があるため、そのための対策を総務部で検討することとした。

平成 24 年度第 6 回（9 月）理事会議事録

- ◇ 日 時： 平成 24 年 9 月 13 日（木） 午後 7 時 00 分～8 時 00 分
- ◇ 会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、高田、清水、田畑、井戸田、出野、山田、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、増田、久保田、栗本監事、山中監事、事務（岩崎）
- ◇ 欠席者： 荒木、後藤
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

1. 行動報告（8 月分）

- 8 月 2 日 大阪府庁 公益申請手続
運天
- 4 日 新入会員研修会
運天、竹浦、井戸田、酒井、杉山、山西、久保田
- 9 日 理事会
運天、吉本、竹浦、高田、荒木、田畑、清水、宮野、山田、栗本、杉山、山西、増田、久保田、後藤、栗本監事
- 11 日 日臨技政治連盟
運天
- 11 日 大阪府地域医療推進協議会
運天、吉本、高田、荒木
- 15 日 総務・会計部会
吉本、栗本、荒木、山田、久保田
- 15 日 豊中市精度管理委員会
清水
- 16 日 情報組織部会
竹浦、井戸田、酒井、杉山
- 19 日 大臨技データ標準化プレサーベイ試料作製と発送
杉山
- 21 日 公益申請会議
運天
- 21 日 堺市精度管理委員会
田畑、酒井
- 22 日 常務理事会
運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑
- 23 日 地区事業部会
田畑、出野、栗本、後藤

- 25日 第38回（平成24年度第1回）献血推進活動
運天、吉本、荒木、清水、増田
- 26日 日臨技関西支部会議
運天、清水

II. 経過報告

1. 日臨技・近臨技

8月26日に日臨技関西支部幹事会を開催した。

- ・ 本年度より近臨技研修会は日臨技関西支部研修会として実施する。
- ・ 日臨技研修会の参加費は非会員の場合、プラス1万円必要であるが、近畿各府県のみ会員の会員については、今年度は日臨技会員と同額とする。差額は近臨技からの寄付金（10万円）で補う。
- ・ 関西支部研修会、細菌検査伝達・実技講習会の開催について、京臨技での開催が困難であるため他府県と調整する。
- ・ 日臨技学術組織再構築検討委員として各支部から1名、全国公募若干名を推薦する。
- ・ 関西支部学会の開催担当府県の順を、平成25年度:福井県、平成26年度:兵庫県、平成27年度:大阪府、平成28年度:京都府、平成29年度:奈良県、平成30年度:滋賀県、平成31年度:和歌山県とする。

2. 事務局

〈総務部〉8月15日（水）に部会を開催した。

- ・ Web版大臨技会報の作成について検討した。
- ・ 日臨技連盟の広報について検討した。
- ・ 日臨技会員のみ対象の行事の広報について検討した。
- ・ 大臨技ニュース8月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉8月15日（水）に部会を開催した。

- ・ 7月度収支決算書を作成した。
- ・ 事務員8月分給与を送金した。

〈渉外部〉8月21日（火）に部会を開催した。

- ・ 第38回献血推進活動（8月25日開催）の準備を行った。
開催後報告：受付数182名、採血数143名。
- ・ 大臨技・大放技合同フォーラムの進捗状況について説明した。
- ・ 府民健康フォーラム（10月28日開催）の進捗状況について説明した。
- ・ がん検診フォーラム（日臨技公益委託事業）について進捗状況について説明した。
- ・ 学術部免疫血清部門府民公開講座の広報について説明した。

3. 事業局

〈情報組織部〉8月16日（木）に部会を開催した。

- ・ 新入会員研修会の反省を行った。
- ・ 多職種合同チーム医療研修会について役割分担を行った。

- ・ 研修会等開催報告
 - ①新入会員研修会(8月4日 大臨技事務所)
 - 参加者 39名(内訳：新入会員 25名、講師他関係者 14名)
 - ②第19回糖尿病療養指導士講演会(7月16日 大阪大学中之島センター)
 - 参加者 110名(内訳：臨床検査技師 64名、看護師 13名、薬剤師会 7名、栄養士会 8名、その他 2名、講師 4名、世話人 12名)
- 〈地区事業部〉8月23日(木)に部会を開催した。
 - ・ 会員交流会(10月6日(土) 堺とれとれ市 13:30~16:00頃)について検討した。
 - 会費：会員 2,000円(大放技参加者は 4,000円)
 - 内容：クルージング、マグロの解体ショー、バーベキュー等
 - ・ 健康展について検討した。
 - 吹田市健康展：9月8日・9日、摂津市民健康まつり：11月11日
- 〈学部部〉部会開催なし

III 他、報告

1. 「学術組織再構築に関する検討委員会」委員の推薦について(運天会長)

日臨技から学術体制の再構築を行うため、臨時委員会として「学術組織再構築に関する検討委員会」を設置し、今後の学術体制を構築するにあたり多くの会員から意見を求めるため、支部推薦委員ならびに全国の正会員から委員の公募依頼があった。

これを受け、大臨技から高田常務理事を関西支部推薦委員として推薦した結果、関西支部から推薦することとなった。

2. データ標準化プレサーベイの進捗状況について(竹浦副会長)

生化学項目のプレサーベイが順調に終わり、引き続き、今回から過去に実績のない血球項目として血算およびヘモグロビンA1cのプレサーベイを行った。結果は、白血球数について1施設のみ他施設の平均値より低値が見られたが、これは、検体搬送時に保冷材が接触したことが原因であると思われるため、検体搬送時の温度管理について今後の検討課題とする。ヘモグロビンA1cについては良好であった。

当プレサーベイの結果を踏まえ9月21日に会議を開催し、サーベイ実施前の最終の詰めを行うこととした。

3. 大臨技研修会における参加者受付について(吉本副会長)

日臨技生涯教育履修登録用に使用するバーコードリーダーおよびPC端末不足分14組の支給を関西支部を通じて日臨技へ要望したが、日臨技から予算上の問題により支給できない旨の連絡があるとともに、会員自身による履修登録について了解を得た。このため、大臨技としては、現行通り基本的に会員自身による履修登録を続行することとなった。

また、会員自身による履修登録の有効期限(1ヶ月)以降の登録対応については、次回の総務・会計部会で検討することとした。

4. 近畿臨床検査技師会の発展的解消通知について(運天会長)

標記について、近畿臨床検査技師会の富永会長より近畿臨床検査技師会会員に向けての文書が発

行された。当文書について一部修正後、その内容を大臨技会員に広報することとした。

5. その他

- Web版大臨技会報（第198号）の最終校正を19日の総務・会計部会で行い、校正後、大臨技ホームページに掲載する。
- 府民公開講座で日臨技委託事業の平成24年度がん検診フォーラム（子宮頸がん検診）の進捗状況について、資料に沿って説明があった。
開催日時：平成24年10月13日(土) 14:00~17:00
開催場所：大阪府医師協同組合会館8階大ホール
広報については、チラシ配布および一般新聞への開催案内の掲載依頼を行う予定である。
- 大阪府への公益法人申請の進捗状況については、主務官庁から法務課に申請書類が提出され、法務課で確認中。今後、問題なく11月中に申請認可が下りれば年内に公益法人に移行するが、来年認可の場合は、平成25年4月に公益法人移行となる予定である。
- 北支部の前田富士子氏が所属施設変更のため中央支部に変更となったことに伴い、摂津市健康展の責任者を松本氏に変更した。
- 大阪府より平成24年度公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰対象者の推薦依頼があったが、推薦締め切りが間近であったため、今回は対象者なしと返答した。次回から推薦する対象者がいた場合、事前に吉本副会長に一報することとした。
- 当会の久保田理事が人命救助をしたことにより感謝状を授与された記事が新聞に掲載された。当新聞記事内容を大臨技ニュースに掲載することとした。

IV. 議 題

1. 日臨技と日臨技連盟のあり方について（運天会長）

臨床検査の業務拡大推進を目的とした日臨技連盟への加入促進のため、大臨技ニュースならびに大臨技ホームページへ「大臨技から報告とお願い」（別紙資料）を掲載することについて検討した。

検討の結果、掲載文を一部修正後、日臨技目的と共に大臨技ニュースならびに大臨技ホームページへ掲載することとした。

また、日臨技連盟加入者が自身で加入の有無を確認できるよう、日臨技連盟から大阪府の加入者名簿を受け取り、加入者に対し掲載諾否の確認後、大臨技ホームページに大阪府の加入者名簿を掲載することとした。

2. 関西支部学会ポケット版プログラム配布の問題について（吉本副会長）

平成24年度日臨技関西支部医学検査学会（9月29・30開催）のポケット版プログラムを大臨技会員に送付後、日臨技のみの会員から届いていないとの報告を受けたため、今後の配布方法等について検討した。

大臨技における日臨技のみの会員の把握については、前年度会費未納者への対応時期と当プログラム送付対象の把握時期が重なり、送付時に日臨技のみの会員の把握が不可能であったことが原因であり、他の近畿各府県事務局においても把握ができなかったことの報告があった。

このことを受け、当学会事務局はホームページ上にポケット版プログラム配布の案内を表示し、PDFで閲覧できるように対応した。

大臨技における今後の対応として、以下の意見が上がった。

- ・前年度までの日臨技定款における日臨技会員条件である、日臨技会員は地臨技会員が前提である条件を、復活してもらうように日臨技に働きかける。
- ・日臨技および大臨技会費の納入方法として、口座引き落としによる方法も検討して行く。

3. その他

1) 大臨技の共催事業における参加者名簿の取り扱いについて

大臨技の共催事業において、共催する団体から参加者名簿の提出希望があったため、その対応について検討した。

検討の結果、個人情報流出防止のため、参加者名簿は参加者数の把握のみに限定して使用する旨の誓約書を大臨技側で作成し、共催団体からの当誓約書提出により参加者名簿を提出することとした。

平成24年度 第7回（10月）理事会議事録

- ◇ 日 時： 平成24年10月11日（木）午後19時00分～20時10分
- ◇ 会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、吉本、高田、荒木、田畑、井戸田、出野、宮野、酒井、栗本、清水、山西、杉山、
山田、後藤、栗本監事、事務（出口）
- ◇ 欠席者： 竹浦、増田、久保田、山中幹事
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

1. 行動報告（9月分）

- 9月2日 大阪府支部細胞検査士会との打ち合わせ
清水
- 9月5日 公益法人申請にかかる打ち合わせ
運天
- 9月8日 岡山県技師会「生物化学部門講習会」
山西
- 9月9日 岡山県技師会「生物化学部門講習会」
山西
- 9月11日 大阪府主務官庁訪問 公益法人申請について面談
運天
- 9月11日 学術部会
高田、宮野、山西、竹浦
- 9月13日 理事会
運天、竹浦、吉本、高田、清水、田畑、井戸田、出野、山田、宮野、
酒井、栗本、山西、杉山、増田、久保田、栗本監事、山中監事
- 9月15日 多職種合同チーム医療研修会
運天、竹浦、井戸田、山田、杉山、山西、久保田
- 9月18日 渉外部会
清水、杉山、増田、吉本
- 9月19日 総務・会計部会
荒木、山田、吉本
- 9月20日 情報組織部会
井戸田、酒井、杉山、山西
- 9月20日 地区事業部
田畑、出野、栗本
- 9月21日 標準化プロジェクトチーム会議
山西

- 9月22日 日臨技理事会
運天
- 9月24日 大阪府医師協同組合会館借用打ち合わせ
清水
- 9月26日 常務理事会
運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑
- 9月29日 大阪医療技術学園 病院実習報告会
田畑
- 9月29日 日臨技関西支部幹事会・近臨技理事会
運天、清水、荒木、高田
- 9月29日 第52回日臨技関西支部医学検査学会
運天、清水、荒木、高田、竹浦、山西、井戸田、久保田
- 9月30日 第52回日臨技関西支部医学検査学会
運天、清水、荒木、高田、竹浦、井戸田

II. 経過報告

1. 日臨技&近臨技 9月22日(月) 第5回日臨技理事会を開催した。
 - ・国際臨床検査技師会(IFBLS)2013~2014年会長に当会・小松理事が就任。2016年IFBLS学会を日本で開催する。
 - ・日臨技16年間の公益目的財産額(1,082,096,955円)が確定した。
 - ・臨床検査振興会の入会およびチーム医療推進協議会に参画する。
 - ・関連団体委員会委員推薦依頼を受け対応することとした。
 - ・日臨技キャッチフレーズを「臨床検査は健康へのナビゲーター」、「私達は良質な検査を365日、24時間提供しています。」とした。
 - ・臨床検査技師連盟の常任委員に下田氏、津田氏、斎藤氏、直井氏、運天氏、佐藤氏の各理事6名を推薦することとした。
 - ・平成26年度日本医学検査学会の担当技師会として佐賀県臨床検査技師会が承認された。
 - ・IFBLS学会立候補地は、12月21日の委員会、22日の理事会で決定する。
 - ・来年度支部学会の参加費は、非会員はプラス1万円(現行)の規程に準ずることとする。
 - ・米坂氏の参議院立候補については、日臨技技師連盟で対応する。
2. 事務局
 - 〈総務部〉9月19日(水)に部会を開催した。
 - ・Web版大臨技会報の最終校正を行った。
 - ・日臨技連盟の広報について検討した。
 - ・大臨技研修会における参加者受付について検討した。
 - ・研修会等における参加者名簿の取り扱いについて検討した。
 - ・大臨技ニュース9月号を発行した。
 - ・大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉9月19日（水）に部会を開催した。

- ・8月度収支決算書を作成した。
- ・9月分事務員給料を送金した。
- ・事務所管理費を送金した。

〈渉外部〉9月18日（火）に部会を開催した。

- ・第38回献血推進活動（8月25日開催）の報告を行った。
- ・がん検診推進フォーラム（日臨技公益委託事業）について進捗状況の説明を行った。
- ・府民健康フォーラム（10月28日開催）の進捗状況について説明を行った。
- ・大臨技・大放技合同フォーラムの進捗状況について説明を行った。
- ・学術部免疫血清部門府民公開講座の広報について説明を行った。

4. 事業局

〈情報組織部〉9月20日（木）に部会を開催した。

- ・多職種合同チーム医療研修会の反省を行った。
- ・技師長会（平成25年2月23日（土）開催予定）について内容の検討をした。

（開催後報告）

- ・多職種合同チーム医療研修会を開催した。（9月15日 大阪府医師協同組合会館8階大ホール）
参加者49名（内訳：大臨技29名、他職種11名、賛助会員4名、その他5名）
- ・糖尿病療養指導部会第31回定例勉強会を開催した。（9月12日 大阪鉄道病院3階講堂）
参加者37名（講師2名含む）

〈地区事業部〉9月20日（木）に部会を開催した。

- ・会員交流会に関して、役割分担、イベント内容等の最終打合せを行った。

開催日時・場所：平成24年10月6日（土）13：30～16：00 ころまで・堺とれとれ市

〈学術部〉9月11日（火）に部会を開催した。

- ・第8回学術部講演会の各講演者による要旨の発表があり、その内容について検討した。

III. 他、報告

12. 日臨技連盟のHPリンクについて（吉本副会長）

- ・大臨技ホームページ・トップページのコンテンツ・メニューに「日本臨床検査技師連盟」のリンクボタンを作り、日臨技連盟への加入依頼文書「大臨技からの報告とお願い」を掲載した。
- ・今後、日臨技連盟加入者名簿を掲載するため、掲載諾否を問う文書を当ホームページおよび大臨技ニュース11月号に掲載し、11月26日以降に当ホームページに日臨技連盟加入者名簿を掲載することとした。また、当名簿の掲載項目は、「受付 No」および「会員氏名」のみにすることとした。

13. チーム医療に係わる業務認証拡大について（運天会長）

- ・標記について、出野理事から要望のあった下記3点を臨床検査技師に関わる法改正案として日臨技に要望した。

- ①緊急時の口腔内吸引が出来るように認めて欲しい。
- ②点滴ルート調整および検査に伴う薬液の注入が出来るように認めて欲しい。

③直腸肛門内圧検査が出来るように認めて欲しい。

14. 研修会等における参加者名簿の取り扱いについて（吉本副会長）

・共催事業において、共催企業等から研修会の参加者名簿の請求があった場合に対応するため、「研修会等における参加者名簿の取り扱いに関する誓約書」を作成した。

今後、参加者名簿の請求には、請求者より当誓約書を提出してもらうこととした。

4. 日臨技レッドリボン・ピンクリボンクリアファイルについて（吉本副会長）

・日臨技より啓発活動用の配布物として下記の内容のクリアファイルが送られてきた。

①エイズ・HIV 予防啓発活動用クリアファイル 400 枚

②乳がん予防啓発活動用クリアファイル 400 枚

当クリアファイルを各研修会等で参加者に配布するようにとの要請があった。

また、当クリアファイルは大臨技事務所で在庫管理を行うので、使用する場合は事務所へ連絡をすることとした。

15. 日臨技理事会報告（運天会長）

1) 国際学会（IFBLS）について

・2016年（平成28年）に国際学会（IFBLS）が日本で開催される。

2013～2014年の学会長に小松理事が就任した。

・国際学会の開催場所を国際空港から約1時間位の場所で開催して欲しいとの要望があり、12月22日（土）の日臨技理事会で開催地を決定する予定である。

・兵庫県臨床検査技師会が開催の立候補をしている。

2) その他

・日臨技は臨床検査振興会に入会およびチーム医療推進協議会に参画する。

・日臨技16年間の公益目的財産額（1,082,096,955円）が確定したので、今後16年間で支出していく。

・平成26年度日本医学検査学会は佐賀県に決定した。

・関西支部学会について（清水理事）

関西支部学会の参加費について、今年度は移行期であるため会員非会員に関わらず5,000円としたが、来年度からは非会員は15,000円となる。

6. その他

1) 日臨技関西支部医学検査学会について（運天会長）

・第52回は平成24年9月29日（土）～30日（日）に和歌山で開催された。

・第53回は平成25年10月19日（土）～20日（日）に福井県で開催される。

・第54回は平成26年に兵庫県で、第55回は平成27年に大阪府で開催予定。

2) 日本医学検査学会について（運天会長）

・第61回は平成24年6月9日（土）～10日（日）に三重県で開催された。

・第62回は平成25年5月18日（土）～19日（日）に香川県で、平成26年度は佐賀県で開催される。

3) 滋慶医療科学大学院大学公開セミナーについて（運天会長）

・平成24年12月1日（土）に滋慶医療科学大学院大学公開セミナー開催され、当会の山西理事が

講師を務める。

4) 日臨技公益委託事業について (清水理事)

①HIV (エイズ) 予防啓発事業

平成 25 年 1 月 26 日 (土)、主に近畿医療技術専門学校を学生を対象に開催する予定である。

②がん検診フォーラムのポスターを、大臨技事務所近くの掲示板に貼らせていただいた。

5) 平成 24 年度大臨技会報 web 版を大臨技ホームページに掲載した。(吉本副会長)

IV. 議 題

14. 大臨技外部精度管理について (運天会長)

昨年度に引き続き、大阪府医師会より「平成 24 年度 (通算 40 回目) 臨床検査精度管理調査」実施案内の「大臨技ニュース」掲載依頼があり、掲載することとした。

また、当会として今後の大阪府外部精度管理事業への関わり方について理事会で検討した。当面は、現状どおりとすることとした。

2. その他 (運天会長)

第 62 回日本医学検査学会 (香川県開催) 事務局より、一般演題の座長候補推薦を 11 月 6 日 (火) までに 9 名選出の依頼があった。選出については、高田常務理事に一任することとした。

平成 24 年度 第 8 回 (11 月) 理事会議事録

- ◇ 日 時： 平成 24 年 11 月 8 日 (木) 午後 7 時 00 分～8 時 00 分
- ◇ 会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、荒木、田畑、井戸田、出野、山田、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、
増田、久保田、栗本監事、事務 (岩崎)
- ◇ 欠席者： 高田、清水、後藤、山中監事
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

I. 行動報告 (10 月分)

- 10 月 5 日 公益法人移行申請打ち合わせ
運天
- 10 月 5 日 大阪市衛生検査所精度管理調査
久保田
- 10 月 6 日 大臨技会員交流会
運天、竹浦、荒木、田畑、出野、栗本、後藤
- 10 月 9 日 学術部会
竹浦、高田、宮野、山西
- 10 月 11 日 理事会
運天、吉本、高田、荒木、田畑、井戸田、清水、出野、山田、宮野、
酒井、栗本、山西、杉山、後藤、栗本監事
- 10 月 11 日 大阪府主務官庁 公益法人移行申請相談
運天
- 10 月 12 日 大阪市衛生検査所精度管理調査
山西
- 10 月 13 日 平成 24 年度 がん検診推進フォーラム
運天、吉本、清水
- 10 月 16 日 渉外部会
清水、杉山
- 10 月 16 日 緊急検査部会
久保田
- 10 月 17 日 総務・会計部会
吉本、荒木
- 10 月 18 日 情報組織部会
竹浦、井戸田、酒井、杉山、山西、久保田
- 10 月 18 日 地区事業部会
田畑、出野、後藤

- 10月18日 堺市衛生検査所精度管理調査
酒井
- 10月19日 堺市衛生検査所精度管理調査
田畑
- 10月20日 第8回学術部講演会
竹浦、高田、山田、宮野、山西、久保田
- 10月22日 堺市衛生検査所精度管理調査
田畑
- 10月22日 中央支部会
田畑
- 10月23日 堺市衛生検査所精度管理調査
吉本
- 10月23日 豊中市衛生検査所精度管理委員会
竹浦、高田、清水
- 10月24日 常務理事会
運天、竹浦、吉本、荒木、高田、田畑
- 10月25日 堺市衛生検査所精度管理調査
酒井
- 10月27日 免疫血清検査部門 平成24年度府民公開講座
運天、清水
- 10月28日 第8回府民健康フォーラム
運天、吉本、高田、清水、山田、宮野、増田
- 10月28日 大臨技標準化サーベイサンプル調整
竹浦、杉山、山西

II. 経過報告

1. 日臨技・近臨技

- ・ 認定検査技師制度認定試験実施状況および予定
10月8日 一般検査技師認定試験 日本青年館で実施済み 受験者99名
11月11日 心電検査技師認定試験 日本教育会館で実施予定 受付188名
11月11日 染色体遺伝子検査認定試験 日臨技会館で実施予定 受付9名
- ・ 8月時点の日臨技会員数は50,579名
- ・ 会紙「医学検査」の印刷業者入札を行い選定の結果、(株)東広社に決定した。
- ・ 平成25年1月1日から施行される復興所得税について課税率の変更を周知する事とした。

2. 事務局

〈総務部〉10月17日(水)に部会を開催した。

- ・ 平成25年度からの会費納入方法変更に伴う対応について検討した。
- ・ 大臨技ホームページのレイアウトについて検討した。

- ・ 平成 25 年度大臨技会員証の作成について検討した。
- ・ 大臨技ニュース 10 月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉 10 月 17 日（水）に部会を開催した。

- ・ 9 月度収支決算書を作成した。
- ・ 事務員 10 月分給与を送金した。

〈渉外部〉 10 月 16 日（火）に部会を開催した。

- ・ がん検診推進フォーラム（日臨技公益委託事業）について報告した。
参加者 30 名（内 府民 6 名）
- ・ 府民健康フォーラム（10 月 28 日開催）の進捗状況について説明を行った。
- ・ 大臨技・大放技合同フォーラムの進捗状況について説明を行った。
- ・ 日臨技公益委託事業案（HIV 対策）について説明を行った。

3. 事業局

〈情報組織部〉 10 月 18 日（木）に部会を開催した。

- ・ 技師長会について内容の検討をし、テーマを「卒前教育・卒後教育」に決定した。

〈地区事業部〉 10 月 18 日（木）に部会を開催した。

- ・ 会員交流会（10 月 6 日（土）、堺とれとれ市）について反省会を行った。
参加者：正会員 24 名、正会員以外 11 名
- ・ 施設連絡者会について検討した。
開催日：平成 25 年 3 月 16 日（土）、場所：大阪産業創造館 6 階会議室（114 名収容可）
企画担当：後藤理事

〈学術部〉 10 月 9 日

- ・ 第 8 回学術部講演会の各講演者による発表があり、最終打合せを行った。
参加者：85 名
- ・ 大阪府主催の近畿支部研修会の事務的対応について説明した。

III 他、報告

1. 都道府県技師会で実施している精度管理調査について（竹浦副会長）

日臨技から平成 24 年度精度管理調査委員会立ち上げに伴い、各都道府県で実施している精度管理調査について、調査依頼があったので対応する。

2. 「医学検査」投稿論文募集について（運天会長）

「医学検査」第 62 巻 1 号における「各都道府県技師会推薦論文特集」企画のため、日臨技から各都道府県技師会誌掲載した中から優秀論文を推薦してほしい旨の依頼があったが、現在、当会会誌で論文掲載の企画が無いため、推薦不可とした。

3. 医行為分類（案）に関する意見の提出について（運天会長）

日臨技より渉法問題対策委員会にて会員からの意見をまとめ、「医行為分類(案)に関する意見」を 10 月 5 日に厚生労働省に提出したとの報告があった。

「医行為分類(案)に関する意見」の主内容は、「チーム医療」を推進するための基本の一つとして、

① 各医療スタッフの専門性の向上、② 各医療スタッフ間の連携・補完の推進が重要であると考え
るため、臨床検査技師が関わる行為において、敢えて「看護師の実施可能な行為の拡大」の範疇に入
れることは、チーム医療推進の主旨から逸脱するものであるとの意見である。

4. 医療安全推進週間の広報について（運天会長）

厚生労働省より医療安全推進週間（毎年度 11 月 15 日を含む 1 週間）についての広報依頼が日臨
技を通じてあった。これを受け、大臨技ホームページにおいて当件の広報をした。

5. 平成 24 年度日臨技全国医療安全管理者研修会について（運天会長）

上記「医療安全推進週間」に合わせ 11 月 10 日に、日臨技事業として「全国医療安全管理者研修
会」が開催されるため、大臨技ホームページで広報した。

6. 復興特別所得税適用に伴う講師料等の課税率変更について（荒木常務理事）

平成 25 年 1 月 1 日より復興特別所得税が適用されることに伴い講師料等の課税率が 10.21%に変
更されることとなった。講師料領収書記載金額は、講師料÷0.8979 で計算する。

7. 感謝状表彰について（吉本副会長）

平成 24 年度感謝状表彰候補者の推薦について、推薦状を 12 月 12 日までに吉本副会長宛にメー
ルで送信することとした。

候補者の推薦があった場合、平成 24 年度第 10 回（1 月）理事会修了後、表彰委員会を開催し審
査することとした。

8 その他

1) 平成 25 年度憲法記念日知事表彰候補者の推薦について

大阪府健康医療部より平成 24 年 12 月 14 日期限で標記候補者の推薦依頼があり、当会より選
考基準を満たしている役員を候補者として推薦することとした。

2) 平成 24 年度「日臨技精度保証施設認証制度」の申請等について

標記について、都道府県申請受付期間が平成 24 年 11 月 1 日（木）～11 月 10 日（土）必着
であり、現在、大阪府下の 8 施設より申請がある。これを受け、11 月 16 日（金）15 時から精度
認証委員会を開催し日臨技申請（受付期間：平成 24 年 12 月 11 日（火）～12 月 21 日（金）必
着）に向け審査する。

また、データ標準化については、10 月 28 日にサーベイ用サンプルを作成し配布を行い、現在、
施設からの測定データの解析・集計中である。集計データについて、11 月 16 日（金）19 時から
データ標準化 P チーム会議を開催し検討する。

3) ヘモグロビン A1c 検査結果の通知について

厚生労働省より、平成 25 年度以降に実施される特定健康診査等において、ヘモグロビン A1c
検査結果の受診者への結果通知は、NGSP 値で行う旨の通知があった。

4) 大阪市こども医療費助成制度について

平成 24 年 11 月診療分から、大阪市在住の 15 歳（中学校修了まで）まで通院医療費個人負担
が、1 医療機関ごと 1 日当たり最大 500 円（月 2 日限度）となる。

IV. 議 題

1. 平成 25 年度からの会費納入方法の変更について（吉本副会長）

平成25年度から大臨技の会費の納入方法について、日臨技および大臨技に入会している会員は、別納方式から日臨技に登録の振替口座から合算して引き落としすることとした。また、大臨技のみに入会している会員は、郵便局に備え付けの「払込取扱票」（白地に青枠の用紙）に必要事項を記入し、振込手数料を自己負担し、大臨技年会費を振り込んでもらうこととした。

これに伴い、以下留意点を、大臨技ニュース12月号、お知らせ文書および大臨技ホームページ等で会員に広報することとした。

1) 日臨技および大臨技に入会している会員へ

① 予め振替口座の残高確認をお願いする。

② 会費振替口座未登録者については、平成25年1月10日（木）までに、日臨技を通じて会費振替口座の登録をお願いする。

③ 平成24年度退会希望者は、平成25年1月10日（木）までに、退会処理をお願いする。

2) 大臨技のみに入会している会員へ

① 「払込取扱票」の記入方法等をお知らせする。

② 「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」の案内をする。

2. 日臨技関西支部医学検査学会準備委員会の立ち上げについて（竹浦副会長）

平成27年に大臨技担当で開催される日臨技関西支部医学検査学会の準備委員会を立ち上げることにした。

3. 日臨技定款変更後の大臨技定款変更について（運天会長）

現日臨技定款における会員の定義について、「日臨技の会員は、都道府県技師会の会員であること」と変更された場合、大臨技定款においても同等の文言を追加することとした。

4. 大臨技研修会等における参加費・資料代について

他職種公開講座の資料代について、他職種の参加者等から無料にすべきであるとの意見があったため、次回理事会で検討することとした。

平成24年度第9回(12月)理事会議事録

- ◇ 日 時： 平成24年12月13日(木)午後19時00分～19時45分
- ◇ 会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、井戸田、出野、酒井、栗本、清水、杉山、増田、
山田、久保田、後藤、栗本監事、事務(出口)
- ◇ 欠席者： 宮野、山西、山中幹事
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

I. 行動報告(11月分)

- 11月1日 支部長会
田畑、出野、後藤
- 11月6日 大放技・大臨技合同フォーラム会議
運天、吉本、清水、増田
- 11月8日 理事会
運天、竹浦、吉本、荒木、田畑、井戸田、出野
山田、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、増田
久保田、栗本監事
- 11月12日 日衛協式典
運天、荒木
- 11月13日 学術部
高田、宮野
- 11月15日 医療関連サービスマーク制度調査指導
運天、栗本監事
- 11月15日 地区事業部会
田畑、出野、後藤
- 11月16日 日臨技精度保証施設制度申請書類審査
竹浦、増田、井戸田、杉山、山西
- 11月16日 大臨技データ標準化プロジェクト委員会
竹浦、杉山、山西
- 11月17日 緊急検査部会
久保田
- 11月20日 渉外部会
吉本、清水、増田
- 11月21日 総務・会計部会
吉本、荒木、栗本、山田、久保田
- 11月22日 大阪市衛生検査所精度管理調査

- 久保田
- 11月22日 大阪府衛生検査所精度管理審議会委員会
井戸田
- 11月22日 情報組織部会
竹浦、井戸田、酒井、山西
- 11月23日 日臨技連盟常任委員会
運天
- 11月28日 常務理事会
運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑
- 11月29日 医療関連サービスマーク制度調査指導
運天、栗本監事、荒木

II. 経過報告

1. 日臨技・近臨技

- ・平成24年度関西支部医学検査学会（第52回）終了報告
一般演題166題、特別企画67題、参加者数969名
- ・日臨技総合監理検査技師制度 認定監理検査技師コース第1回「運営管理の基礎」のカリキュラム
12月15日(土) ①運営・管理を考えるにあたって
②医療保険の仕組み
③病院の会計方針
④病院経営・運営方針の考え方
12月16日(日) ①検査室の危機管理
②最近の医療事故について
- ・12月15日(土)に、関西支部幹事会・近畿臨床検査技師会会議開催予定。

2. 事務局

〈総務部〉11月21日（水）に部会を開催した。

- ・平成25年度からの会費納入方法変更に伴う対応について検討した。
- ・平成25年度大臨技臨床検査賠償責任保険について検討した。
- ・平成24年度大臨技会長賞について検討した。
- ・WebのCMS化について検討した。
- ・大臨技ニュース11月号を発行した。
- ・大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉11月21日（水）に部会を開催した。

- ・10月度収支決算書を作成した。
- ・11月分事務員給料を送金した。

〈渉外部〉11月20日（火）に部会を開催した。

- ・府民健康フォーラム（10月28日開催）について報告した。

参加者：246名（内 薬剤師会146名、臨床検査技師会26名、栄養士会62名、一般市民30名）

名)

- ・大臨技・大放技合同フォーラム（1月19日開催）の進捗状況について説明した。
- ・日臨技公益委託事業案（HIV対策）（1月16日17:30~19:30、近畿医療にて開催）について説明した。
- ・手話講演会（2月2日 15:00~16:45、近畿医療にて開催予定）の進捗状況について説明した。
- ・献血推進活動の進捗状況について説明した。

4. 事業局

〈情報組織部〉11月22日（木）に部会を開催した。

- ・第29回技師長会について内容の最終決定をした。

日 時：平成25年2月23日（土）14:00~17:00

開 場：関西医科大学附属滝井病院 南館2階臨床講堂

テーマ：「卒前・卒後教育」

〈地区事業部〉11月15日（木）に部会を開催した。

- ・施設連絡者会について話し合った。

日 時：平成25年3月16日（土）

場 所：大阪産業創造館6階会議室（114名収容）

テーマ：当直・夜間帯における検査対応について

〈学部部〉11月13日（火）に部会を開催した。

- ・第8回学部部講演会について検討した。
- ・平成25年度の事業計画および予算書の提出期限を決めた。

III. 他、報告

16. 平成25年度からの会費納入方法変更に伴う対応について（吉本副会長）

標記について、会員向け案内文、大臨技ニュース12月号の表紙および大臨技ニュース1月号の事務局便りに掲載し広報した。

2. 技師会会費の領収書について（吉本副会長）

日臨技および大臨技入会の会員については、日臨技ホームページから自身により日臨技および大臨技会費の領収内容が1枚の領収書として印字可能である。現在、地臨技のみの領収書を分離して出力できる機能がないため、日臨技への要望として挙げた。

3. 平成24年度大臨技会長賞の候補者推薦について（吉本副会長）

大阪府下の臨床検査技師教育施設（下記3校）に対し、平成24年度の卒業見込みで、成績優秀・品行方正・当会の事業への貢献が顕著な学生1名の推薦を12月1日付の依頼状により依頼した。

①大阪医療技術学園専門学校

②近畿医療技術専門学校

③日本医療学院専門学校

4. 平成24年度感謝状表彰について（吉本副会長）

標記について、現在、推薦された4名の候補者がいるので、1月の理事会終了後に審査委員会を開催して決定する。

5. 平成 25 年度憲法記念日知事表彰候補者の推薦について（吉本副会長）
標記候補者として、高田常務理事と清水理事を推薦した。
6. 大臨技データ標準化の進捗状況について（竹浦副会長）
12 月 6 日に会議を開催し、評価項目数の増加に伴う評価方法について検討し、増加項目についても同条件で評価することとした。また、報告書の送付は、確実性を優先しメールではなく郵送とした。
7. その他
 - ・平成 25 年度秋の叙勲・褒章候補者（衛生分野）として、阿波島 清氏を推薦するための申請手続きをしている。（吉本副会長）
 - ・各部の来年度予算申請書を今月中に提出すること。（荒木常務理事）
 - ・2013 年 1 月 19 日(土)に開催の大臨技・大放技合同フォーラムおよび同懇親会の出欠連絡を依頼した。（増田理事）。
 - ・公益社団法人申請に関する進捗説明があった。（運天会長）

IV. 議 題

15. 国際学会について（運天会長）
平成 28 年に開催される国際学会(IFBLS)を兵庫臨県床検査技師会が担当することについて、理事会で承認された。
2. 日臨技関西支部学会準備委員会の立ち上げについて（運天会長）
平成 27 年に開催される日臨技関西支部学会の準備委員会について、清水関西支部幹事をリーダーとして運天会長、竹浦副会長、吉本副会長を中心として立ち上げて行くこととした。
会場は、国際交流センターが候補地として上がっているが他の会場も検討して行く。
3. 日臨技連盟連絡責任者について（運天会長）
日臨技連盟連絡責任者として運天会長より竹浦副会長が推薦され、承認された。
4. 大臨技研修会等における参加費・資料代について（運天会長）
平成 25 年 1 月より、チーム医療に関わる多職種公開講座の参加者から資料代は徴収しないこととした。
5. 企業からの後援依頼について（高田常務理事）
企業主催の研修会を近臨技が後援してきた経緯があるが、今後、日臨技関西支部として承認できなくなることについて検討した結果、大阪で開催の研修会については、今後は企業から後援依頼を提出してもらうこととした。
これに伴い、平成 25 年 3 月 9 日(土)開催の第 11 回近畿 SMBG・糖尿病セミナーにおいても企業主催で大臨技後援とすることとし、企業からの後援依頼提出を依頼することとした。
6. その他
 - 1) 第 23 回生物試料分析科学会年次学術集会について（増田理事）
標記会（日時：2013 年 2 月 10 日(日)～11 日(月・祝)、場所：新梅田研修センター）について、会員への広報依頼があり、承認された。

平成 24 年度第 10 回（1 月）理事会議事録

- ◇ 日 時： 平成 25 年 1 月 10 日（木）午後 7 時 00 分～8 時 00 分
- ◇ 会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、清水、出野、山田、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、増田、久保田、後藤、栗本監事、事務（岩崎）
- ◇ 欠席者： 井戸田、山中監事
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

I. 行動報告（12 月分）

- 12 月 2 日 日本臨床検査医学会学術会議
山西
- 12 月 6 日 データ標準化プロジェクト会議
竹浦、杉山、山西
- 12 月 7 日 公益申請の打ち合わせ
運天
- 12 月 7 日 大阪市衛生検査所精度管理調査
吉本
- 12 月 8 日 医療関連実地調査
荒木
- 12 月 9 日 近臨技チーム医療会議
竹浦
- 12 月 11 日 大阪府衛生検査所精度管理調査
井戸田
- 12 月 11 日 学術部会
竹浦、高田、宮野、山西
- 12 月 13 日 理事会
運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、井戸田、出野、酒井、栗本、清水、杉山、増田、山田、久保田、後藤、栗本監事
- 12 月 15 日 日臨技関西支部・近臨技合同会議
運天、荒木、清水
- 12 月 15 日 情報組織部会
竹浦、井戸田、杉山、山西、久保田
- 12 月 18 日 渉外部会
吉本、清水、杉山
- 12 月 19 日 総務・会計部会
吉本、荒木、栗本、山田、久保田

- 12月20日 地区事業部会
田畑、出野、後藤、栗本
- 12月21日 日臨技医療安全委員会
運天
- 12月22日 日臨技理事会
運天
- 12月26日 豊中市衛生検査所精度管理調査
竹浦、高田、清水
- 12月26日 大阪府地域医療推進協議会
運天
- 12月26日 常務理事会
運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑

II. 経過報告

1. 日臨技・近臨技

- ・ 日臨技会員は地臨技会員とする定款変更については、再検討する。
- ・ 関西支部を近畿支部へと改称することについては、継続審議中。
- ・ 全国幹事会を1月26日に開催する。
- ・ 共催、協賛、後援に関する内規を検討中。
- ・ 利益相反委員会を設置し、厚生労働科学研究費補助金を申請した。
- ・ 医療安全対策委員会を常設する方向で検討。
- ・ 大阪府・兵庫県・京都府・石川県会費の自動引き落としを承認した。
- ・ 認定制度の見直しを検討する。

2. 事務局

〈総務部〉12月19日（水）に部会を開催した。

- ・ 平成25年度からの会費納入方法変更に伴う対応について検討した。
- ・ 平成24年度第2回定期総会について検討した。
- ・ 平成25年度大臨技会員証の作成について検討した。
- ・ 教育施設への入会案内について検討した。
- ・ 大臨技ニュース12月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉12月19日（水）に部会を開催した。

- ・ 11月度収支決算書を作成した。
- ・ 事務員12月分給与および賞与を送金した。

〈渉外部〉12月18日（火）に部会を開催した。

- ・ 大臨技・大放技合同フォーラム（1月19日開催）の進捗状況について説明を行った。
- ・ 日臨技公益委託事業（HIV対策）（1月16日17：30～19：30近畿医療にて開催予定）案について説明を行った。

- ・ 手話講演会（2月2日 15:00～16:45 近畿医療にて開催予定）の進捗状況について説明を行った。
- ・ 献血推進活動（日程調整中）の進捗状況について説明を行った。
- ・ 平成25年度事業計画について討議を行った。

3. 事業局

〈情報組織部〉12月15日（木）に部会を開催した。

- ・ 第29回技師長会（平成25年2月23日開催予定）の演題名について確認した。
- ・ 平成25年度事業内容について議論した。

〈地区事業部〉12月20日（木）に部会を開催した。

- ・ 施設連絡者会におけるアンケート様式および講師依頼について検討した。
開催日：平成25年3月16日（土）、場所：大阪産業創造館6階会議室
テーマ：当直・夜間帯における検査対応について

〈学部部〉12月11日

- ・ 第8回学部講演会の内容を検討した。
- ・ 平成25年度の事業計画および予算書について検討した。

III 他、報告

1. 小島三郎記念技術賞および福見秀雄賞候補者について（吉本副会長）
標記賞について、今回、候補者は無かった。
2. 日臨技理事会報告について（運天会長）
経過報告1参照。
3. 医療関連サービス振興会調査指導員について（運天会長）
医療関連サービス振興会調査指導員として、荒木常務理事と田畑常務理事を日臨技に推薦した。
4. 第20回日本健康体力栄養学会の後援申請について（竹浦副会長）
標記学会の後援について承認された。日時等は下記のとおり。
日時：平成25年3月16日（土）10:00～18:30
会場：大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス 学術交流会館
5. その他
 - ・ 1月25日（金）に日臨技連盟責任者会議が開催されるので、要望等があれば竹浦副会長にメール送信するよう伝えた。
 - ・ 広報部より大臨技ニュースに掲載される大臨技主催研修会等の参加費について、再確認した。

IV. 議 題

1. 平成24年度第2回定期総会について（吉本副会長）
 - ・ 日時：平成25年3月28日（木）19:00～20:30
 - ・ 会場：大臨技事務所
 - ・ 役員は、18:30までに会場に集合する。
 - ・ 受付は、総務部より岡本美由紀氏（新生病院）、上遠野明氏（南大阪病院）に依頼した。

- ・ 感謝状表彰の対象者については、本日の理事会終了後、審査委員会で決定される。
 - ・ 永年会員表彰の対象者 75 名の中から代表者を抜粋するとともに、対象者 75 名全員に総会出席依頼を郵送する。
 - ・ 第 1 議長に地区事業部より松倉嘉士氏（大阪血清微生物研究所）、第 2 議長に渉外部より夏秋知佳氏（自宅会員）を選出した。
 - ・ 資格審査委員兼議事運営委員に役員より、荒木常務理事と田畑常務、会員よりから渉外部の北川富貴子氏（浅香山病院）と他 2 名を選出する。両委員会の委員長は荒木常務理事とする。
 - ・ 書記は大臨技事務局の岩崎和子氏、出口由紀子氏が担当する。
 - ・ 議事録署名人に渉外部より川井和久氏（茨木保健所）、北川篤氏（多根総合病院）を選出した。両氏には、印鑑証明書の提出を依頼した。
 - ・ 会員への広報として、「平成 24 年度第 2 回定期総会の開催案内」、「委任状」、「施設連絡者向け委任状の取扱依頼状」、「委任状返信用封筒」を大臨技ニュース 2 月号に同封する。
 - ・ 委任状は 3 月 7 日必着とする。
 - ・ 総会時、役員は大臨技のバッジをつけること。
2. 平成 25 年度大臨技会員証および大臨技ニュースについて（荒木常務理事）
- ・ 新規検討中の印刷会社に対し、平成 25 年度大臨技会員証および大臨技ニュースのサンプル作成を依頼中である。
3. その他
- ・ 公益法人移行後に大臨技各規程および委員会の見直しを行う予定。
 - ・ 近臨技と日臨技関西支部を統一するために規則等の整備を行う。
 - ・ 荒木会計部長より大臨技平成 25 年度予算案の説明があった。
日臨技補助金収入の減による支出 1・2 の削減について、資料に基づき説明があった。
 - ・ 清水理事より日臨技全国幹事会（1 月 26 日開催）において関西支部からの要望事項（下記）の説明があった。
 - ① 会員割による地臨技への負担金を抛出しもらいたい。
 - ② 地臨技の次年度予算編成に間に合うように日臨技の予定を立ててもらいたい。
 - ③ 支部学会での会員一人あたりの日臨技負担金を増額してもらいたい（現在の 500 円から 1,000 円に増額）。
 - ④ 支部学会での、収支の清算において赤字が出た場合を想定した支部学会運営規定を設置してもらいたい。
 - ⑤ 支部活動費を増額してもらいたい。
 - ⑥ 日臨技公益委託事業（がん撲滅、STI・HIV 予防啓発）について、今後も継続してもらいたい。
 - ⑦ 日臨技会員は日臨技+地臨技会員（地臨技会員であること）に定款を変更してもらいたい。
 - ⑧ 事務手続きを簡素化してもらいたい。
 - ⑨ 日臨技と地臨技が連携できる体制をつくってもらいたい（全国会長会議などの復活）。
 - ・ 平成 25 年度からの会費納入方法の変更に伴う会員への広報について、再度、総務・会計部会で検討することとした。

平成 24 年度第 11 回（2 月）理事会議事録

- ◇ 日 時： 平成 25 年 2 月 18 日（月）午後 19 時 00 分～20 時 15 分
- ◇ 会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、荒木、田畑、井戸田、出野、酒井、栗本、清水、杉山、増田、宮野、山西、山田、久保田、後藤、栗本監事、事務（出口）
- ◇ 欠席者： 高田、山中幹事
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

I. 行動報告（1 月分）

- 1 月 4 日 大阪府・大阪市、在阪経済三団体新年互礼会
運天
- 1 月 4 日 元大臨技役員（高橋氏）通夜
竹浦、吉本、清水、宮野
- 1 月 5 日 大阪府医師会 新年互礼会
運天
- 1 月 5 日 大阪府鍼灸師会 新年互礼会
運天
- 1 月 6 日 大阪府薬剤師会 新年互礼会
運天
- 1 月 7 日 元大臨技役員（田島氏）告別式
運天
- 1 月 8 日 学術部会
竹浦、高田、宮野、山西
- 1 月 9 日 豊中市衛生検査所立入検査
竹浦、清水
- 1 月 10 日 理事会
運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、清水、出野、山田、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、増田、久保田、後藤、栗本監事
- 1 月 11 日 大阪府看護協会 新年互礼会
運天
- 1 月 11 日 大阪府理学療法士会 新年互礼会
竹浦
- 1 月 12 日 大阪府放射線技師会 新年互礼会
吉本
- 1 月 13 日 大阪府鍼灸マッサージ師会 新年互礼会
運天

- 1月13日 大阪府歯科技工士会 新年互礼会
運天
- 1月13日 大阪府柔道整復士会 新年互礼会
竹浦
- 1月15日 渉外部会
清水、杉山、増田
- 1月16日 総務・会計部会
吉本、荒木、栗本、山田、久保田
- 1月17日 地区事業部会
竹浦、田畑、出野、後藤、栗本
- 1月17日 情報組織部会
竹浦、井戸田、杉山、酒井、山西
- 1月19日 大放技・大臨技合同フォーラム
運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、清水、出野、山田、宮野、酒井、杉山、増田
- 1月23日 常務理事会
運天、竹浦、吉本、荒木、高田、田畑
- 1月24日 データ標準化プロジェクトチーム会議
竹浦、山西
- 1月25日 日臨技情報交換会
運天、竹浦、清水
- 1月25日 日臨技連盟連絡責任者会議
運天、竹浦
- 1月26日 日臨技支部幹事会
運天、清水
- 1月26日 厚労省チーム医療推進シンポジウム（東京）
運天
- 1月26日 免疫血清部門 特別講演会
山西
- 1月26日 北支部自由集会
田畑、出野
- 1月26日 日臨技公益委託事業（HIV対策）
吉本
- 1月30日 大阪府庁（米村・海部氏）面談
運天
- 1月31日 大阪医療卒業研究発表会
運天

II. 経過報告

1. 日臨技&近臨技

- ・1月25日（金）日臨技情勢報告会が開催された。
- ・1月25日（金）日臨技連盟責任者会議が開催された。
- ・1月25日（金）日臨技賀詞交換会が開催された。
- ・1月26日（土）日臨技全国幹事会が開催され、会長思案として平成25年度事業計画・予算が報告された。また、7支部からの質問・要望事項について討議した。

2. 事務局

〈総務部〉1月16日（水）に部会を開催した。

- ・大臨技のみの会員の会費納入について検討した。
- ・平成24年度第2回定期総会について検討した。
- ・大臨技会員証および大臨技ニュース制作業者について検討した。
- ・教育施設卒業予定者に対する会長賞選出について検討した。
- ・教育施設への入会案内について検討した。
- ・CMS化対応予算案について検討した。
- ・賛助会員への対応について検討した。
- ・大臨技ニュース1月号を発行した。
- ・大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉1月16日（水）に部会を開催した。

- ・12月度収支決算書を作成した。
- ・1月分事務員給料および事務経費を送金した。
- ・平成25年度事業予算案を作成した。

〈渉外部〉1月15日（火）に部会を開催した。

- ・大臨技・大放技合同フォーラム（1月19日開催）の進捗状況について説明を行った。
- ・日臨技公益委託事業案（HIV対策）（1月26日17:30~19:30 近畿医療にて開催予定）案について説明を行った。
- ・手話講演会（2月2日15:00~16:45、近畿医療にて開催予定）の進捗状況について説明を行った。
- ・献血推進活動（日程調整中）の進捗状況について説明を行った。
- ・平成25年度事業計画について討議を行った。

4. 事業局

〈情報組織部〉1月17日（木）に部会を開催した。

- ・第29回技師長会（平成25年2月23日開催予定）の運営について討議した。
- ・来年度事業の開催日程について検討した。

〈地区事業部〉1月17日（木）に部会を開催した。

- ・施設連絡者会（平成25年3月16日（土）、大阪産業創造館6階会議室にて開催予定）について以下のとおり決定した。
テーマは、「当直・夜間帯における検査対応について」とする。

アンケートは Web 上で行うこととした。

- ・「マタニティカーニバル 2013」の開催日が平成 25 年 7 月 6 日・7 日に決定した。

〈学術部〉1 月 8 日（火）に部会を開催した。

- ・第 8 回学術部講演会の内容について検討した。
- ・平成 25 年度の事業計画および予算書について最終確認をした。

III. 他、報告

17. 看護の日実行委員会について（運天会長）

- ・3 月 12 日（火）に委員会が開催される予定である。
- ・杉山理事が当委員会の担当者となる。
- ・協力金は前回と同じで 50,000 円である。

18. 平成 25 年度予算案について（荒木常務理事）

- ・予算の振分けについて説明があった。

3. 叙勲について（吉本副会長）

- ・平成 25 年秋の叙勲受賞候補者として、元大臨技副会長の阿波島 清氏を推薦したが、残念ながら候補対象から漏れた。

4. 臨時総会議事録の誤記について（吉本副会長）

- ・大臨技ホームページ掲載の「平成 23 年度臨時総会議事録」において、公益法人化に伴う定款変更議案への質疑に対する回答の記載部分に行ずれが生じていたため異なる内容となっていた。訂正するとともにホームページで広報した。

5. 公益法人移行申請の進捗状況について（運天会長）

- ・公益認定委員会に 1 月に申請を行い、結果待ちの状態である。

6. 平成 25 年度大臨技年会費納入に関する広報について（栗本理事）

- ・平成 25 年度大臨技年会費納入について、3 月末時点で会費入金状況を確認し、未納者に対して個別に対応する予定である。

7. 企業主催研修会の後援依頼について（井戸田理事）

- ・ニプロ㈱から「第 11 回近畿 SMBG・糖尿用セミナー」（3 月 9 日開催）の後援依頼があり、承認された。これに伴い、ニプロ㈱に対し賛助会員への入会依頼もすることとした。

8. その他

1) その他の後援等依頼について

- ・大阪滋慶学園から「就職フェア 2013」（5 月 13 日開催）の後援依頼があり、承認された。
- ・「マタニティカーニバル 2013」（7 月 6 日・7 日開催）の後援依頼があり、承認された。
- ・情報組織部チーム医療部門「多職種公開講座第 10 回内視鏡検査部会」（2 月 25 日開催）について、大臨技と味の素製薬との共催依頼があり、承認された。（出野理事）

2) 1 月 26 日(土) 日臨技の全国幹事会が開催された。（清水理事）

- ・平成 25 年度事業計画・予算が報告され、7 支部からの質問・要望事項について討議された。

3) 衛生検査所精度管理専門委員の推薦について（運天会長）

- ・堺市については、田畑常務理事と酒井理事が留任という形で推薦する。

- ・東大阪市については、北野病院の田畑氏と芦屋病院の上田氏が留任という形で推薦する。
 - 関西医科大学附属枚方病院の大倉氏を、大阪医科大学の池本氏と交代という形で推薦する。
- 4) データ標準化について（竹浦副会長）
- ・2月2日（土）にデータ標準化推進事業の報告会が開催され活発な討議がなされた。
 - ・参加施設は増加傾向にある。

IV. 議 題

16. 平成 24 年度第 2 回定期総会について（吉本副会長）
- ・平成 24 年度第 2 回定期総会（平成 25 年度予算総会）タイムスケジュール（案）に沿って説明があり、検討した。
2. 平成 25 年度大臨技会員証および大臨技ニュースについて（荒木常務理事）
- ・印刷業者の選考については、総務・会計部会に一任することとした。
3. その他
- 1) 組織運営規程の変更について（運天会長）
- ・大臨技組織運営規程について一部文言の削除（役員、常務理事会等）および変更した大臨技組織運営規程案が提出され、討議の結果、承認された。
- 2) 日臨技連盟について（運天会長）
- ・1月25日に日臨技連盟執行委員会が開催された。
 - ・新年度役員として、日臨技の宮島会長が日臨技連盟の代表として承認され、その他の常任執行委員についても承認された。
 - ・米坂知昭氏の参議院選に出馬については、日臨技連盟が支援をすることとなった。大臨技も推薦することとした。
 - ・日臨技連盟の加入者名簿を日臨技ホームページで公表することとした。

平成 24 年度第 12 回（3 月）理事会議事録

- ◇ 日 時：平成 25 年 3 月 14 日（木）午後 7 時 00 分～8 時 00 分
- ◇ 会 場：社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者：運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、清水、井戸田、出野、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、増田、久保田、後藤、栗本監事、事務（岩崎）
- ◇ 欠席者：山田、山中監事
- ◇ 議 長：運天

【 討議内容 】

1. 行動報告（2 月分）

- 2 月 1 日 大臨技データ標準化専門部会・プロジェクトチーム合同会議
竹浦、井戸田、山西、増田、杉山
- 2 月 2 日 平成 24 年度大臨技データ標準化事業報告会
運天、竹浦、井戸田、山西、杉山
- 2 月 2 日 手話講演会
清水
- 2 月 8 日 公益申請の打ち合わせ
運天
- 2 月 9 日 第 11 回病理・細胞セミナー
清水
- 2 月 10 日 糖尿病定期勉強会
竹浦
- 2 月 11 日 生物試料分析科学会年次総会
山西
- 2 月 12 日 学術部会
高田、宮野、山西
- 2 月 14 日 日臨技連盟常任執行委員会
運天
- 2 月 16 日 大阪府医師会主催 公開討論会
運天
- 2 月 16 日 ISO15189 研究会
竹浦、清水、井戸田
- 2 月 16 日 第 2 回南支部地域オープンセミナー
田畑、後藤
- 2 月 18 日 理事会
運天、竹浦、吉本、荒木、田畑、清水、井戸田、出野、酒井、栗本、杉山、増田、宮野、山西、山田、久保田、後藤、栗本監事

- 2月19日 渉外部会
清水、杉山
- 2月20日 総務・会計部会
吉本、荒木、栗本、山田
- 2月21日 コンプライアンス委員会
運天
- 2月21日 情報組織部会
竹浦、井戸田、酒井、杉山、山西、久保田
- 2月22日 地区事業部会
竹浦、田畑、出野、後藤、栗本
- 2月23日 第29回技師長会
運天、竹浦、高田、田畑、井戸田、清水、酒井、杉山、山西、久保田、後藤
- 2月24日 臨床化学会近畿支部例会
山西
- 2月26日 常務理事会
運天、竹浦、吉本、荒木

II. 経過報告

1. 日臨技・近臨技

- ・ 第7回日臨技理事会が、3月23日に開催される。
支部から提議している懸案事項(支部名の変更、定款の会員条件変更)を検討予定。
- ・ 関西支部会が、3月30日に開催される予定である。

2. 事務局

〈総務部〉2月20日(水)に部会を開催した。

- ・ 平成24年度第2回定期総会について検討した。
- ・ 平成25年度第1回定期総会について検討した。
- ・ 大臨技会員証および大臨技ニュース制作業者について検討した。
- ・ 教育施設卒業予定者に対する会長賞選出について検討した。
- ・ CMS化対応予算案について検討した。
- ・ 大臨技ニュース2月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉2月20日(水)に部会を開催した。

- ・ 1月度収支決算書を作成した。
- ・ 事務員2月分給与を送金した。

〈渉外部〉2月19日(火)に部会を開催した。

- ・ 大臨技・大放技合同フォーラムの開催後報告を行った。
- ・ HIV予防啓発講演会の開催後報告を行った。
- ・ 手話講演会開催後報告を行った。

- ・ 献血推進活動（日程調整中）の進捗状況について説明を行った。
- ・ 府民健康フォーラム委員会の報告を行った。
- ・ 平成 25 年度事業計画について討議した。

3. 事業局

〈情報組織部〉 2 月 21 日（木）に部会を開催した。

- ・ 第 29 回技師長会（2 月 23 日開催予定）の役割・進行内容について最終確認を行った。
- ・ 第 29 回技師長会での配布資料の作成を行った。

〈地区事業部〉 2 月 21 日（木）に部会を開催した。

- ・ 施設連絡者会(平成 25 年 3 月 16 日(土)、大阪産業創造館 6 階会議室)の当日役割分担および設営について討議した。

〈学部部〉 2 月 12 日

- ・ 第 8 回学部部講演会について打ち合わせを行った。
- ・ 平成 25 年度予算について検討した。

III 他、報告

1. コンプライアンス委員会について（運天会長）

プロモーション委員会を解散してコンプライアンス委員会として活動を引き継ぐこととなった。

2. 「第 8 回南大阪睡眠呼吸障害研究会」の後援依頼について(吉本副会長)

標記会は、第 1 回目から当会が後援している研究会で開催日程間近での申請であったため、承認後の報告とした。

3. 日臨技関西支部学会について(運天会長)

当会担当により 2 年後に開催される平成 27 年度日臨技関西支部学会に対応するため、4 月から準備委員会を発足することとなった。

4. 平成 25 年度憲法記念日知事表彰について(吉本副会長)

大臨技より推薦した高田常務理事と清水理事が大阪府知事表彰に内定した。

5. その他

- ・ 3 月 12 日(火)大阪府庁にて看護の日実行委員会の打合せがあった。
 - ・ 日程：平成 25 年 5 月 11 日（土） 13：00～16：00
 - ・ 場所：大阪府看護協会 桃谷センター
 - ・ 大臨技は、頸動脈エコーと血糖測定担当とする。
 - ・ 大臨技の協力金は、50,000 円とする。
 - ・ 協力員には、弁当が準備される。
- ・ 3 月 27 日（水）19：00 から大臨技事務所にて、臨床検査教育施設懇談会が行われる。第 8 回大臨技教育セミナーの打合せ等に関しては、次回の理事会で報告する。
- ・ 平成 25 年夏の参議院選挙（全国区）候補者である米坂知昭氏（前日臨技副会長）が、来月理事会終了後、挨拶に来られる予定である。
- ・ 第 23 回糖尿病療養指導士講演会（平成 25 年 7 月 28 日開催）における共催申請を承認した。
- ・ 平成 24 年度第 2 回献血推進活動（3 月 9 日(土)開催）について、
 - 難波グリーンガーデンでの受付者は 78 名、採血者が 69 名、まいどなんば献血ルームでの受付

者は 112 名、採血者は 96 名であった。

当活動に参加した学生には、ボランティア証明書を発行する。

IV. 議 題

1. 平成 24 年度第 2 回定期総会について（吉本副会長）

第 1 議長候補者の松倉氏および第 2 議長候補者の夏秋氏が同席し、スケジュールに沿って説明した。

2. 平成 25 年度第 1 回定期総会について（吉本副会長）

- ・ 標記総会における議案、会員への開催案内および委任状案について承認された。
- ・ 公益法人認定について、当総会開催までに認定された場合、第 3 号議案の議案とする。

3. 組織運営規程について

大臨技組織運営規程について、再度見直すこととした。

4. 平成 25 年度大臨技会員証について

- ・ 平成 25 年度から会費納入方法の変更に伴い、大臨技会員証の作成が大幅に遅れるため「平成 24 年度大臨技会員証」は、有効期限が 3 月 31 日までと記載されているが、「平成 25 年度会員証」が届くまで有効とすることとした。
- ・ 「平成 25 年度会員証」の送付形態は、従来の葉書から封書となる。
- ・ 日臨技で同時引き落としされた会費の過納金については、大臨技から会員に対して返金を行うこととする。

5. その他

1) 学術部参加費について

- ・ 学術部長より事業費軽減の為、世話人の参加費についての見直案があった。
- ・ 参加費はそのままで、事業内容及び事業費内訳検討を行い対処することとした。

以上

賛助会員名簿

アイウエオ順

	会社名		住所	電話
ア	アークレイマーケティング (株) 大阪セールス&サービスオフィス	〒530-0054	大阪市北区南森町 1-4-19 (サウスホレストビル 4F)	050-5533-5585
	アボットジャパン (株) 大阪支店	〒541-0051	大阪市中央区備後町 1-1-6 3F	06-6228-8630
	アリーアメディカル (株) 大阪オフィス	〒541-0046	大阪市中央区平野町 2-2-13 (マルイト堺筋ビル 4F)	06-6228-9882
	アルフレッサ (株)	〒571-0044	門真市松生町 4-6	06-6909-7284
	アルフレッサファーマ (株) 大阪事業所	〒540-8575	大阪市中央区石町 2-2-9	06-6941-2806
イ	(株) 医学生物学研究所	〒532-0011	大阪市淀川区西中島 3-3-4 (S Pビル 5F)	06-6305-2039
	(株) イムコア	〒564-0051	吹田市豊津町 8-10 (アドバンス江坂ビル 404 号室)	06-6338-4183
エ	株式会社エイアンドティー 関西支社	〒560-0082	豊中市新千里東町 1-4-2 (千里ライフサイエンスセンタービル 17F)	06-4863-7737
	栄研化学 (株)	〒541-0052	大阪市中央区安土町 3-3-9 (田村駒ビル 3F)	06-6264-5312
	エーディア (株) 関西エリア	〒101-0032	東京都千代田区岩本町 1-10-6	03-3863-3274
	(株) エスアールエル 大阪北営業所	〒560-0083	豊中市新千里西町 1-1-8 (第一火災千里中央ビル 9F)	06-6833-4019
オ	(株) 大阪血清微生物研究所	〒533-0024	大阪市東淀川区柴島 2-2-20	06-6322-4531
	オーソ・クリニカル・ ダイアグノスティックス(株)	〒532-0003	大阪市淀川区宮原 3-5-36 (新大阪 MT II ・ 7F)	06-6350-2250
	大塚製薬 (株)	〒530-0005	大阪市北区中之島 6-2-40 (中之島インテス 15F)	06-6441-6531
カ	(株) カイノス 大阪営業所	〒533-0031	大阪市東淀川区西淡路 1-1-32 (新大阪アーズビル 9F)	06-6370-1131
	関西アイエヌエスサービス (株)	〒604-8162	京都市中京区烏丸通六角下七観 音町 626 (烏丸小泉ビル 7F)	075-251-7373
	関東化学 (株) 大阪支店	〒541-0048	大阪市中央区瓦町 2-5-1	06-6222-3709

キ	(株) 関薬	〒591-8033	堺市北区百舌鳥西之町 3-673	072-279-3355
	(株) 木村製作所	〒530-0043	大阪市北区天満 3-2-2	06-6351-1396
	協和メデックス (株) 大阪第一営業所	〒541-0053	大阪市中央区本町 2-3-8 (三甲大阪本町ビル 5F)	06-4964-9900
	極東製薬工業 (株) 大阪営業所	〒532-0011	大阪市淀川区西中島 2-14-6 (新大阪第2ドイビル 3F)	06-6304-5446
ケ	(株) ケーエスケー	〒571-0044	門真市松生町 2-1	06-6909-6632
コ	小西医療器 (株)	〒540-0038	大阪市中央区内淡路町 2-1-5	06-6941-1358
サ	サクラファインテックジャパン (株)	〒135-0007	東京都江東区新大橋 1-8-2 (新大橋リバーサイドビル 101)	03-5638-1335
	(株) 三和化学研究所 大阪支店	〒532-0003	大阪市淀川区宮原 4-1-6 (アクロス新大阪 5階)	06-6394-3831
シ	シーメンスヘルスケア・ ダイアグノスティクス (株)	〒141-8673	東京都品川区大崎 1-11-1 (ゲートシティ大崎ウエストタワー 5F)	03-3493-9556
	塩野義製薬 (株)	〒566-0062	摂津市三島 2-5-1 (シオノギ製薬 診断薬事業部 508-4F)	06-6381-7301
	シスメックス (株) 大阪支店	〒564-0053	吹田市江の木町 17-1 (コンパーノビル 5F)	06-6337-8300
	(株) シノテスト 大阪第一支店	〒564-0051	吹田市豊津町 30-5	06-6378-3171
ス	白井松器械(株)	〒540-0003	大阪市中央区森ノ宮中央 1-19-16	06-6942-4842
	(株) スズケン	〒562-0035	箕面市船場東 3-17-3	072-730-0264
	積水メディカル (株) 西日本第一営業所	〒532-0003	大阪市淀川区宮原 3-3-31 (上村ニッセイビル 16F)	06-6350-6581
タ	竹内化学 (株)	〒598-0002	泉佐野市中庄 809-18	072-461-0052
チ	チェスト (株) 大阪営業所	〒530-0043	大阪市北区天満 4-6-6	06-6351-7251
	(株) 中央微生物検査所	〒536-0008	大阪市城東区関目 5-22-23	06-6939-1041
テ	(株) テイエフビー 近畿・中四国営業グループ	〒532-0033	大阪市淀川区新高 3-9-14 (ピカソ三国ビル 4F)	06-6396-1024
	(株) テクノメディカ 大阪支店	〒532-0003	大阪市淀川区宮原 4-1-6 (アクロス新大阪 11F)	06-6393-3800

	テルモ (株) 大阪統轄支店	〒534-0025	大阪市都島区片町 1-5-13 (大手前センチュリービル 3F)	0120-12-8195
	デンカ生研 (株) 大阪支店	〒532-0011	大阪市淀川区西中島 4-7-18 (まるみやビル)	06-6307-7061
ト	東芝メディカルシステムズ(株) 関西支社	〒531-6106	大阪市北区大淀中 1 丁目 1 番 30 号 (梅田スカイビル タワーウエスト 6F)	06-7177-1140
	東洋羽毛関西販売(株)	〒564-0062	吹田市垂水町 3-8-12	06-6386-5961
	東洋紡 (株)	〒530-8230	大阪市北区堂島浜 2-2-8	06-6348-3335
ニ	日水製薬 (株)	〒560-0022	豊中市北桜塚 3-10-18	06-6842-7604
	ニッポーボーメディカル (株)	〒541-0043	大阪市中央区高麗橋 4-3-10 (日生伏見町ビル新館)	06-6208-4957
	ニプロ株式会社 阪奈支店	〒531-0072	大阪市北区豊崎 3-3-13	06-6373-0555
	(株) 日本医化器械製作所	〒550-0002	大阪市西区江戸堀 1-22-38	06-6443-0712
	日本医学 (株)	〒597-0081	貝塚市麻生中 907-1	072-426-3616
	(株) 日本医学臨床検査研究所 堺支所	〒593-8328	堺市西区鳳北町 7-7	072-265-4145
	日本光電関西 (株) 北大阪支社	〒564-0053	吹田市江の木町 20-27	06-6386-1424
	日本電子 (株) 大阪支店	〒532-0011	大阪市淀川区西中島 5-14-5 (ニッセイ新大阪南口ビル)	06-6304-3944
ハ	バイオ・ラッド ラボラトリーズ (株)	〒532-0025	大阪市淀川区新北野 1-14-11 (大阪新北野第一ビル)	03-6361-7070
	一般財団法人 阪大微生物病研究会	〒565-0871	吹田市山田丘 3-1	06-6877-4801
ヒ	(株) ビー・エム・エル 大阪第 3 営業所	〒567-0034	茨木市中穂積 3-15-24	072-621-8811
	日立アロカメディカル (株) 大阪支店	〒564-0051	吹田市豊津町 41-35	06-4861-4877
	(株) 日立ハイテクノロジーズ 関西支店	〒532-0003	大阪市淀川区宮原 3-3-31 (上村ニッセイビル)	050-3139-4878
フ	(株) ファルマ	〒532-0003	大阪市淀川区宮原 5-1-3 (新大阪生島ビル 10F)	06-6397-2411
	フクダ電子近畿販売 (株)	〒564-0063	吹田市江坂町 1-12-28 (大昇ビル 3F)	06-6190-3100

	不二化学薬品 (株) 尼崎営業所	〒661-0962	尼崎市額田町 3-1	06-6499-0008
	富士フイルムメディカル (株) 関西四国地区営業本部	〒532-0004	大阪市淀川区西宮原 1-3-5	06-6396-5124
	富士レビオ (株) 大阪支店	〒532-0033	大阪市淀川区新高 3-9-14 (ピカソ三国ビル 4F)	06-6150-5520
へ	ベックマン・コールター (株) ダイアグノスティックス事業本部	〒560-0082	豊中市新千里東町 1-5-3 (千里朝日阪急ビル 16F)	06-4863-1678
マ	松浪硝子工業 (株)	〒596-0049	岸和田市八阪町 2-1-10	072-433-1162
ミ	(株) ミズホメディー	〒553-0003	大阪市福島区福島 5-3-7 (エステ西梅田ビル 302)	06-6458-5711
	三菱化学メディエンス (株)	〒561-0804	豊中市曾根南町 3-7-12	06-6862-0005
	ミナト医科学 (株) 販売推進センター	〒532-0025	大阪市淀川区新北野 3-13-11	06-6303-7161
ム	武藤化学 (株) 大阪営業所	〒531-0076	大阪市北区大淀中 3-5-25	06-6453-0007
メ	(株) メディセオ	〒531-0071	大阪市北区中津 6-9-47	06-6455-8540
	(株) メディック	〒590-0974	堺市堺区大浜北町 3-8-4	072-221-0999
ヤ	八洲薬品 (株)	〒567-0085	茨木市彩都あさぎ 7-7-18 (彩都バイオヒルズセンター)	072-640-1260
ラ	ラジオメーター (株) 大阪営業所	〒532-0003	大阪市淀川区宮原 3-5-36	06-6350-2000
ロ	ロシュ・ダイアグノスティックス (株) IMD 事業本部 営業部門 大阪支店	〒560-0082	豊中市新千里東町 1-5-3 (千里朝日阪急ビル)	06-4863-7621
ワ	和光純薬工業 (株) 臨薬 大阪営業所	〒540-8605	大阪市中央区道修町 3-1-2	06-6203-2031

編集後記

皆さんは「終活」という言葉を聞かれことはないでしょうか？
初めて聞いた時は「就活」かと思ってしまいましたが・・・
今では「断捨離のすすめ」という本やエンディングノートなどを
書店で見かけることがあります。身内の方がいらっしゃる方もお
ひとり様もいつかは必ず訪れる「死」それはある程度の時期が予
測できる場合もあれば突然訪れることもあります。
病院に勤務していると「死」を身近に感じてしまう時があります。
それだけにふと、身内や自分に置き換えた時、対応できるのだろ
うかと思うこともあります。自分の日常のひとつひとつなんてい
くら身内でも把握しているとは限らないでしょう。
連絡してもらいたい人がいることや、さまざまな手続きなど、事
前に何も知らされてなければ確かに周りもたいへんなことでは
う。死んでしまった本人が身辺整理できる訳もないのだから、や
はり「終活」なるもの頭の片隅に置いておく事も人生のけじめな
のでしょうか。

(三上 英子 記)

社団法人 大阪府臨床検査技師会 会報
第199号 (平成25年10月7日)

編集委員

吉本 勝美 栗本 幸司 荒木 年夫 山田 真規子 久保田 芽里 三上 英子
真鍋 史郎 岡部 文雄 岡本 美由紀 伊東 千絵 上遠野 明

発行所：社団法人大阪府臨床検査技師会

〒543-0018 大阪市天王寺区空清町8-33 (大阪府医師協同組合東館4階)

TEL 06-6763-5652

<http://www.osaka-amt.or.jp>

発行者 運天 政五郎 制作担当 栗本 幸司

アーキテクト®・BNP-JP



BNP検査は心不全の診断と病態把握に有用です

BNP測定のメリット

生理活性をもつBNPは心不全の診断・モニタリングにおいて、鋭敏に心機能を反映します。
BNP値とNYHA分類には相関性がみられ、患者さんの層別化をより確実に行うことが可能です。
血中のBNP濃度を測定することで、心臓のストレス状態を知ることができます。



アーキテクト®は
迅速なBNP検査を可能にします。



ARCHITECT アナライザー® i2000SR

製造販売届出番号 12B1X00001000004




ARCHITECT アナライザー® i1000SR

製造販売届出番号 12B1X00001000005



提携先

 シオノギ製薬

 **Abbott**
A Promise for Life

日立ハイテック

HITACHI

検査の未来に向けて。

質の高い検査データをより速く。

それがずっと変わらない私たちの使命。

日立ハイテックは多彩なラインアップにより、

検査室のさまざまなニーズにお応えしていきます。

日立自動分析装置 LABOSPECT 008

製造販売届出番号：
08B2X10005000001
「一般」「特管」「設置」



日立自動分析装置 LABOSPECT 006

製造販売届出番号：
08B2X10005000038
「一般」「特管」「設置」



日立自動分析装置 LABOSPECT 003

製造販売届出番号：
08B2X10005001007
「一般」「特管」「設置」



日立自動分析装置 7700シリーズ

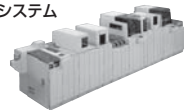
製造販売届出番号：
08B2X10005000003
「一般」「特管」「設置」



日立検体検査自動化システム LABOSPECT TS



日立検体検査前処理システム 2100P/2200P シリーズ



日立自動分析装置 7180形

製造販売届出番号：
08B2X10005001001
「一般」「特管」「設置」



日立自動分析装置 7020形

製造販売届出番号：
08B2X10005001003
「一般」「特管」「設置」



日立臨床検査用分光光度計 7012形

製造販売届出番号：
08B2X10005001008
「一般」「特管」



日立臨床検査用分析機器

◎ 株式会社日立ハイテクノロジーズ
www.hitachi-hitec.com/science/

科学・医用システム事業統括本部 お客様サポートセンタ (03) 3504-7211
本 社 〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号

北海道 (札幌) (050) 3139-4994 東 北 (仙台) (050) 3139-4985 中部 (名古屋) (050) 3139-4567
関 西 (大阪) (050) 3139-4878 九 州 (福岡) (050) 3139-4151